ペンシルベニア州
運転マニュアル

SPEED LIMIT
35

STOP

BIKE ROUTE

INTERSTATE
80

NO PASSING ZONE
車と自動二輪車の交通ルール

自動二輪車は皆さんの家族や友人をはじめ、多くの人々に利用されています。交通規則に基づく権利と安全の責任は、一般車両にも自動二輪車にも同様です。相手の自動二輪車に先行権があるときはこれを尊重し、危険接触を回避するようにしてください。

ペンシルベニア州では自動二輪車の事故が年間約4,000件も発生しており、その半数は自動車と自動二輪車との接触事故です。原因の3分の2は自動二輪車ではなく自動車側の過失となっています。

自動二輪車の接近に注意。
つい見逃しやすい自動二輪車には要注意。他の車よりも小さいため、自動二輪車の接近速度と安全距離の判断を誤ることがよくあります。

接近してきた自動二輪車の動きは、早めに予測してください。一般車には些細な路上の凹凸でも、自動二輪車にとっては危険な場合があります。

車間距離は大きくある。
自動二輪車の後ろを走行するときは、とっさの小回りや急停止にそなえて前方に3〜4秒の間隔を取っておいてください。路面が乾いているときは車よりも自動二輪車の方が素早くストップできます。

進路変更を合図する。
車線変更時や合流時には、自動二輪車が周囲の流れに応じて安全移動できるよう、進行方向を合図してあげてください。

衝突しやすい危険な状況

左折
自動二輪車の衝突事故の半数は、一般車との衝突です。その40%が自動二輪車の手前で車が左折する際に生じています。

一般車両の死角
小さな自動二輪車は、一般車両の死角に入って見えないことがよくあります。車線変更や交差点ではミラーを見て、さらに振り返りながら死角を確認してください。

路面の凸凹
走行中の自動二輪車が、路面の凹凸や砂利・濡れ・滑り・舗装接合部・踏脚・舗装のひび割れなどに反応して、急に位置ずれることがあります。

天候状況
濡れた路面や凍結路面では、自動二輪車のブレーキや操作性の低下を予期しておいてください。

強い風
自動二輪車は、強風で車線の幅いっぱいにあおられることがあります。となり車線の大型トラックの乱気流は特に危険です。

大型車両
付近を走行中のバンやトラックなどの大型車両に視界を遮られると、見えていなかった自動二輪車が突然現れることがあります。

自動二輪車を見逃さない。
自動二輪車の通行権は一般車両と全く同じです。自動二輪車には全幅の車線をゆずります。自動二輪車と一般車両は並行できるような広幅の車線でも、自動二輪車が安全に動けるだけの余地を確保してください。同一車線の共有は禁止されています。

NHTSA’s Share the Road プログラムより引用
はじめに

安全運転の手引きとして作成された本書には、ペンシルベニア州の道路交通法が多く盛り込まれています。本書は法律の概要を示すガイドの役割を果たしていますが、正規のペンシルベニア州道路交通法であるPennsylvania Vehicle Code の代用とはなりません。本書の内容は予告なく変更されることがあります。あしからずご了承ください。

本書は、ペンシルベニア州運転免許取得の試験準備のための情報提供を目的としています。本書に提示する交通法と運転原則は、ペンシルベニア州法で道路通行に認められる3種の車両、すなわち自転車、馬車、自動車に適用されます。例えば赤信号で止まるという規則は自動車のほか自転車にも適用されます。

本書には運転免許の取得希望者が試験に合格するための全ての情報が掲載されています。ペンシルベニア運転免許を取得済みの場合でも、免許取得後に制定・変更のあった法律の確認、忘れがちな法律の復習として本書をご利用ください。

重要

知識試験を受ける前に、普通自動車仮免許申請の手続きを（DL-180︓Commercial Learner's Permit Application）で行ってください。18歳未満は、保護者同意書（DL-180TD︓Guardian Consent Form）が必要です。

様式はwww.dmv.pa.govウェブサイトの上部にあるForms and Publicationsリンクからダウンロードできます。

車の運転免許は誰にでも与えられる当然の権利ではありません。義務を果たすことのできる人にだけ許されるものです。特に酒を飲んだり車を運転しない義務は重要です。

もよりのDriver License Center（運転免許センター）の開館時間、各種申込書のダウンロード、実技試験の予約申込などのPennDOTオンライン情報サービスはwww.dmv.pa.govからご利用ください。

本書をよく読み、道路交通法を学び、安全運転技術を習得して美しき州ペンシルベニアでの自動車運転をお楽しみください。

本書は非売品です
目次

第 1 章 – 普通自動車
運転仮免許 .................................................................1
仮免許の申請 .............................................................1
説明書付与者マーク ....................................................2
退役軍人マーク ........................................................2
ソーシャル・セキュリティー番号 ......................................3
ベンシルペニア州の運転検査 .........................................3
ベンシルペニア運転免許が必要となるとき ........................3
若年者の仮免許 ........................................................3
ジュニア運転免許 ....................................................3
運転免許クラスの選び方 ............................................4
クラス別の運転免許 ................................................4
運行試験 .................................................................5
知識試験 .................................................................5
実技試験 .................................................................5
第 2 章 – 信号・標識・路面標示 .........................................7
信号機 .................................................................7
赤黄青の信号と矢印 .................................................7
信号の点滅 ............................................................8
信号機が故障中のとき ...............................................8
ランプ進入規制信号 ................................................8
車線用の信号 ........................................................8
歩行者用の信号 .....................................................9
スクールゾーンの信号 ...............................................9
線路踏切の信号 .....................................................9
標識 .................................................................10
規制標識 ............................................................10
警戒標識 ............................................................13
案内標識 ............................................................19
路面標示 ..............................................................22
第 2 章の復習 ........................................................23
第 2 章の回答 ........................................................31
第 3 章 – 車の運転 ....................................................32
安全優先の判断 ....................................................32
車の点検と運転の準備 ............................................32
安全の基本要素 ....................................................33
不注意 .................................................................33
健康状態 .............................................................34
酒気運転 .............................................................34
薬物と運転 ..........................................................35
運転の基本 ..........................................................36
車間距離 .............................................................36
スピードの調整 .......................................................39
道路変更、合流、追い越し ......................................45
交差点でゆっくりとき ...............................................48
カーブを曲がるとき ...............................................52
高速道路やインターチェンジの走行 ................................53
駐車 .................................................................53
横続駐車 .............................................................54
特殊な状況と緊急事態 ...............................................55
工事区域 .............................................................55

第 4 章 – 運転記録
ベンシルペニアのポイントシステム ..................................81
警察の取り締まりを受けたとき .....................................82
衝突事故 .............................................................83
警察取調への回避、ひき逃げ ......................................83
アルコールまたは麻薬等運転 ......................................83
未成年の飲酒 .....................................................86
運転免許の州間協定（DLC） .....................................86
第 4 章の復習 ........................................................87
第 4 章の回答 ........................................................89
第 5 章 – 法律関連事項 .................................................90
通知の義務 ........................................................90
氏名と住所 ........................................................90
u .................................................................90
u .................................................................91
δ g e i l + ° e e δ k ......................................................92
δ i l + ° e .............................................................92
X e (g n ADA) .........................................................92
障害者の専用の駐車スペース ......................................93
ポリ席禁止の法律 ................................................93
車の安全検査、排ガス点検 ..........................................93
安全な追い越し（自転車） .........................................93
テキスト送受信 .....................................................94
危険警戒時の交通規制遵守法 ......................................94
第 6 章 – 参考情報 ....................................................95
運転実技試験と点検試験の予約方法 ................................95
普通運転免許の民間認定試験プログラム ..........................95
各種申込書と案内資料 .............................................95
州マップ・郡マップ .................................................95
追加情報 ...........................................................95
511PA ...............................................................95
一酸化炭素中毒 .....................................................96
第1章 - 普通自動車仮免許

この章ではペンシルベニア州における運転仮免許の取得について説明します。さらに以下の項目について説明します。

- 仮免許の申請
- 試験

運転仮免許の申請

ペンシルベニア州では、車の運転は仮免許の取得後に許されます。運転免許は視力検査、知識試験、実技試験を受けて合格すれば取得できます。

普通自動車仮免許の申請書（DL-180）は、健康診断日から1年間有効です。ただし満16歳の誕生日より6か月以上前の健康診断は受け付けられません。

満16歳の誕生日を過ぎたら以下の手順で普通自動車仮免許を取得してください。16歳未満は仮免許の申請はできません。

1. 普通自動車仮免許申請書（DL-180）は、www.dmv.pa.govウェブサイトのページ上にあるForms and Publicationsリンクからダウンロードできます。

2. 普通自動車仮免許申請書（DL-180）の裏面は医療提供者（health care provider）による記入が必要です。申請書の記載は満16歳誕生日の6か月前になってから行ってください。全項目に記入してください。

3. 健康診断の内容により、普通自動車仮免許申請書（DL-180）の基準を満たさないと運転免許試験官が判断した場合には、仮免許の発行が遅れる場合があります。追加の健康診断を求められる場合もあります。特に運転能力に影響するような身体障害があるときは、認定インストラクターが同乗する助手席操作仮免許を取得するように指示される場合もあります。

4. 18歳未満は、保護者もしくは法人の後見人または18歳以上の配偶者による保護者同意書（DL-180TD）が必要です。www.dmv.pa.govウェブサイトのページ上にあるForms and Publicationsリンクからダウンロードできます。保護者、法人の後見人または18歳以上の配偶者が同伴できない場合には、公証人の立ち合いのもとで保護者、法人の後見人または18歳以上の配偶者によるDL-180TDの署名を得てください。公的機関発行の身分証明書の提出が必要となります。姓（ラストネーム）が異なる場合には、本人との関係の証明が必要です。18歳以上の申請者は現住所を確認するための文書2通が必要です。

- 公共料金請求書（水道・ガス・電気・ケーブルなど）
- 税金申告書
- 賃貸リース契約書
- 公共料金請求書
- W-2源泉徴収票
- 有効な銃器類所持許可証（合衆国市民のみ）
- 住宅ローン請求書

本書を学習して上記の手続きを完了したら、運転免許センターまで以下のものを持参して知識試験を受けてください。

- 記入済みの普通自動車仮免許申請書（DL-180）。
- 郵送はできません。18歳未満は記入済みの保護者同意書（DL-180TD）を提出してください。
- 出生日を確認できる身分証明書。原本を呈示してください。（複製コピーは不可。）
- ソーシャル・セキュリティカード。
- 申請料金。（注：支払い方法については本書裏面をご参照ください。）

参考：出生日確認用の身分証明書のリストと料金詳細は、普通自動車仮免許申請書（DL-180）の裏面に記載されています。

医療提供者（HCP）または眼科の視力検査を受けていないときは、運転免許センターで視力検査を行います。メガネまたはコンタクトを着用する場合は、当日持参してください。続いて知識試験を行います。
本書に示された交通標識や法律、運転規則、安全に関する設問に回答します。知識試験に合格したら、試験官が仮免許を発行します。有効期間は1年間です。この仮免許を取得ことができた上で、路上で運転の練習ができるようになります。PennDOTでは、この時点で若者を対象とする実技テストの予約を受け付けています。仮免許に記載された日付以降に予約を入れてください。

18歳未満者は、運転実技試験を受ける前に夜間運転の練習を10時間以上、さらに悪天候での運転練習を5時間以上を含む計65時間以上の運転練習の終了を認める証明書を取得したら、運転実技試験を受けることができるようになります。仮免許の期限が切れたため、運転実技試験に3回不合格となったときは、Non-Commercial Learner's Permit Application to Add/Extend/Replace/Change/Correct（DL-31）で普通自動車仮免許の追加/延長/交換/変更/修正を申請できます。

仮免許でペンシルベニア州外に出るときは、あらかじめ自動車保険が有効かどうか、また目的地の州でも仮免許が有効かどうかについて確認しておいてください。

仮免許の記載内容に間違いがあるときは、正しい情報を確認できる証明書を運転免許センター持参して試験官に提示してください。知識試験で不合格となった場合には、試験官から本人に普通自動車仮免許申請書（DL-180）と保護者同意書（DL-180TD）が返却されます。知識試験はどの試験場でも1日に1度だけしか受験できません。別の日に出直す場合に備えて、申請書はなくさないように大切に保管しておいてください。

臓器寄付者マーク
ペンシルベニア州では、運転免許の更新のたびに免許証に"ORGAN DONOR"（臓器寄付者）と記載するかどうかを本人に確認します。免許証写真センターに出かける前に、その判断をご検討ください。免許証写真センターで口頭で"Yes"と返答すると、臓器移植の寄付者となり、免許証に"ORGAN DONOR"の文字が記載されます。

18歳未満でも臓器寄付者になることができますが、その場合には保護者、法的後見人、または18歳以上の配偶者が書面で同意する必要があります。保護者同意書（DL-180TD）の該当欄にチェックを入れることで同意が成立します。臓器組織の寄付に関する情報は1-877-DONOR-PAまでお電話ください。

www.dmv.pa.govウェブサイトの運転記録のページに"ORGAN DONOR"として臓器寄付の意思を表明することもできます。このサイトには免許証とともに携帯するカードを印刷するサービスも利用可能です。

臓器寄付支援信託基金（ODTF）
ロバートP.ケーシー州知事記念臓器組織寄付支援信託基金に対する寄付金も受け付けています。この信託基金は州内各地における各種臓器寄付プログラムの支援を通じて、これらのプログラムへの意識の向上を図る広報活動を行っています。同基金に寄付するときは、運転免許申請書の該当欄をチェックしてください。寄付金は免許発行料金に加算されますので、PennaDOTに申請書を郵送する際に同封してください。

退役軍人マーク
運転免許証には、アメリカ合衆国軍隊における貢献を示す退役軍人マークの付記を希望することもできます。予備役・州軍を含む合衆国軍隊での軍役経験を有し、名誉のうちに軍役を解除された退役軍人にマーク申請の資格があります。

退役軍人信託基金（VTF）
VTFに寄付することもできます。この寄付金は税控除の対象です。ペンシルベニア州の退役軍人とその家族を支援するプログラムやプロジェクトの資金となります。任意の寄付金のため、金額は規定の申請料金に加算してください。寄付金が正しく処理されるよう、申請書の該当欄にチェックを入れてください。
ソーシャル・セキュリティー番号
ペンシルベニア州道路交通法の第1510（a）章および第1609（a）（4）章により、免許申請者のソーシャル・セキュリティー番号と身長と目の色を記録することが省当局に義務付けられています。この情報は運転免許の詐欺を防止するための本人識別情報となります。運転記録でソーシャル・セキュリティー番号が公開されることはありません。州の免許担当公務員によるソーシャル・セキュリティー番号を用いた本人識別は連邦法で認められています。ソーシャル・セキュリティー番号は仮免許や運転免許に記載されることはありません。

ペンシルベニア州で規定する運転視力
片目の視力が弱くても運転免許を取得することは可能です。ただしメガネまたはコンタクトレンズを着用する。日没後の運転は不可、車にサイドミラー装着を命じられるなどの制約が加わる可能性があります。
視力が基準を満たさなかった場合には、試験官がReport of Eye Examination Form（DL-102：視力報告書）を発行します。この報告書は検眼士、眼科医、または主治医に記入してもらうください。記入済みの報告書は運転免許センターに持参して、免許試験の手続きを進めてください。

ペンシルベニア州の運転免許が必要となるとき
• 外国で有効な運転免許は、アメリカ合衆国への入国日から1年間、またはそれ以前に当初の有効期限が切れる場合はその日まで、ペンシルベニア州内で有効です。国際運転免許の取得は推奨されていますが、義務付けられてはいません。フランス、ドイツ、韓国、台湾の普通自動車運転免許には、有効である限り実技試験や知識試験を受けず免許切り替えが可能な国家間条約が取り合わされています。ただし視力検査は必須です。（プエルトリコ、フランス、ドイツの運転免許の切り替えは同日中ではありません。）
• 16歳以上のペンシルベニア州の住民が自動車を運転するとき。
• ペンシルベニア州への転居者、ペンシルベニア州に移住する人は、他州またはカナダ運転免許が有効であったとしても、ペンシルベニア州移住後60日以内にはペンシルベニア州運転免許を取り得、他州の運転免許を返還しなければなりません。
• 合衆国軍隊の軍人は、ペンシルベニア州駐屯中の予備軍の軍人も含め、法的居住がペンシルベニアにある限り、普通車を運転するためには州の運転免許を取得する必要があります。

若年者の仮免許
仮免許は印刷されている発行日から1年間有効です。この期間中、18歳未満の運転には制限があります。その制限とは：
• 必ず運転免許を有する21歳以上の者、あるいは保護者、法的後見人、または運転免許を有する18歳以上の配偶者の同伴指導がなければ運転できません。この運転指導者は助手席に座らなければならない。
• 乗車定員は運転中の車のシートベルト数です。

ジュニア運転免許
仮免許の制限と同様に、ジュニア免許にも制限があります。その制限とは：
• 午後11時〜午前5時の時間帯は、必ず運転免許を有する21歳以上の者、あるいは保護者、法的後見人、または運転免許を有する18歳以上の配偶者の同伴指導がなければ運転できません。
• 乗車定員は運転中の車のシートベルト数です。
家族以外の18歳未満の未成年を1名以上乗せることはできません。ただし運転免許を有する21歳以上の者、あるいは保護者、法的後見人、または運転免許を有する18歳以上の配偶者の同伴指導があれば例外が認められます。ただし上記の増員は、本人の一部または全部過失で衝突事故が生じた場合や、交通違反で有罪となった場合には適用されません。

違反ポイントの合計が6点以上、または26マイル以上の制限速度違反で有罪となった場合には、90日間の運転停止を命じられます。

運転免許はジュニア免許を1年間効力に保つ。以下の条件を満たした場合に発行されます。
- ベンシルベニア州教育省認可の運転教習コースを修了した。
- 1年間、一部または全部の本人過失による衝突事故を生じさせなかった。
- 1年間、ペンシルベニア州道路交通法の違反で有罪判決を受けなかった。
- 保護者、法的後見人、または運転免許を有する18歳以上の配偶者の同意を得た。

上記の条件を満たした場合には、一般運転免許を取得するためのジュニア免許から普通自動車免許への切り替え申請書（DL-59：Application for Change from a Junior Driver’s License to a Regular Non-Commercial Driver’s License）を提出することができます。ジュニア免許は満18歳の誕生日に自動的に一般運転免許となります。

運転免許クラスの選び方
ペンシルベニア州の運転免許は、運転する車種とクラスに応じて発行されます。このため、運転する車両のクラスに応じた運転免許を取得する必要があります。ペンシルベニア州においては、そのほとんどが一般乗用車、小型トラック、またはバンの運転免許となります。本書では上記にあたる普通自動車クラスC車の運転免許に関する情報を提供しています。

クラス別運転免許
- クラスA（18歳以上に適用）: 被牽引車両の重量が10,000ポンド（4536Kg）以上、牽引荷重26,001ポンド（11794Kg）以上の車両を運転するための免許です。例：キャンピングカーを牵引する車両の耐荷重が11,000ポンド（4990Kg）あり、キャンピングカーの耐荷重が15,500ポンド（7031Kg）のとき（総重量の合計26,500ポンド（12020Kg））
- クラスB（18歳以上に適用）: 耐荷重26,000ポンド（11793Kg）以上の単独車両を運転するための免許です。例：26,001ポンド以上の自走式キャンピングカー
- クラスC（16歳以上に適用）: クラスC運転免許は、クラスAまたはクラスBに該当しない16歳以上の者の対象でおり、クラスM以外の車両を運転するための免許です。クラスC免許を有する消防隊員や救援隊員、非常救助隊員は、消防長または救援隊責任者の許可証を所持する限り、当該消防署・救命隊・救助隊もしくは自治体に属する消防車もしくは救急車を運転することができます。クラスC免許保持者は、シリンダー容量50cc以下の自動トランスミッション式オートバイ、または保護ボディを有する自動三輪車の運転もできます。
- クラスM（16歳以上に適用）: 16歳以上を対象とするクラスMは、自動二輪車、オートバイ、原動機付の自転車を運転するための免許です。クラスM運転免許では自動二輪車や原動機付の自転車のみの運転が許可されています。原動機付の自転車で運転した場合は限定文字「F」が記載されます。これはオートバイを運転できないという制限マークです。三輪以上のオートバイで運転した場合は、限定文字「9」が記載されます。これは自動二輪車運転できないという制限マークです。ペンシルベニア州自動二輪車運転マニュアル（PUB 147）もしくはPennDOTのDriver and Vehicles ServicesウェブサイトのMotorcycle Information Centerからモペッド・原付二輪車・オートバイの解説ページをご覧ください。
第1章 - 普通自動車仮免許

業務用のクラス A, B, C: 業務用車両の運転免許は、ペンシルベニア業務用車運転マニュアル（PUB 223）で試験に備えてください。このマニュアルは PennDOT の Driver and Vehicle Services ウェブサイトの Commercial Driver Information Center に掲載されています。

試験について

知識試験
知識試験では道路標識やペンシルベニア州交通法と安全運転に関する知識を問われます。この知識試験は文面形式または音声形式で受けることができます。スペイン語、アラビア語、中国語（官話）、フランス語、ヒンズー語、韓国語、ロシア語、ウクライナ語、英語、ビルマ語、ギリシャ語、イタリア語、日本語、ネパール語、ポーランド語、ソマリア語、ウルドゥー語の各語による受験も可能です。詳しくは州内各地の運転免許センターでお尋ねください。知識試験に不合格となった場合、再試験は翌営業日に受けることができます。この試験に合格しなければ仮免許は取得できません。

運転実技試験
18歳未満の実技試験は6か月前から予約を受け付けています。若年希望者は早めに予約を確認するようお勧めします。若者向けの機会を。ぜひご利用ください。

運転実技試験の開始前には、以下を試験官に提示してください：
（運転対象車に一致する有効なもののみ）

- 本人の有効仮免許
- 18歳未満は、65時間以上の運転練習を証明する保護者の証明書（DL-180C）
- 運転実技試験に用いる車の自動車登録カード（registration card）
- 自動車保険の証明書
- 運転免許センターに同行してきた21歳以上の者、あるいは保護者、法的後見人、または18歳以上の配偶者の運転免許証明書類は原本のみを提示してください。複製コピーで受験することはできません。

試験開始前に運転免許試験官が車の自動車登録カード、自動車保険、州車検ステッカー、さらに必要時は排ガス検査ステッカーの有効状態を確認します。次に車のライト、ホーン、ブレーキ、ワイパー、右左折シグナル、ミラー、ドア、座席、タイヤの安全基準適合を確認します。車の安全性に不適切な点が一部でもあれば、州検査要件を満たさない場合には、運転実技試験は受けられません。シートベルトのある車は、作動を確認してベルトの汚れを掃除してください。運転実技試験中は受験者も試験官も着用が義務付けられています。
第1章 - 普通自動車仮免許

自動車が試験官の点検に合格したら、受験者の安全運転の確認を行います。

乱暴な運転、法律違反、衝突事故、試験官の指示に従わない、多数の運転ミスなどの問題が試験官に認められると不合格となります。

試験官は運転実技試験の開始前に以下の点を確認します:

- 車の操作: ホーンを鳴らす、ライト操作（駐車灯、ヘッドライトの高低切り替え、方向指示）、ワイパー操作、駐車（非常）ブレーキ作動、非常点滅灯作動、除霜デフロスター操作など。指示通りに車を操作できなかったら運転実技試験は不合格となります。

- 縦列駐車: 前後の車の間隔が24フィート（7.3m）、幅が8フィート（2.4m）あるときの路上駐車です。車が完全に入れるだけのスペースがあることを確認します。前後の車には決して触れてはいけません。路上の線をはみ出したり縁石に乗り上げてはいけません。実技のチャンスは一度限り。ハンドル操作3回以内で駐車に成功してください。

注: 自動駐車（パーキングアシスト）機能付きの車を運転実技試験で使うこともできます。ただし試験中は自動駐車機能はオフにしてください。運転実技試験中は、試験官以外の手を乗せることはできません。運転実技試験が開始したら、指示に従って車を走行・操作します。道路標識、ストップサイン、信号を守っているかどうかについて詳しく評価されます。試験官は車の操作状況、方向指示器による他車との連絡状況、その他の運転操作を評価します。

PENNDOTの運転免許センターで運転実技試験を受けて合格できたら、その場で運転免許が交付されます。

運転実技試験で不合格となる状況とは:

(運転実技試験の失敗例とその原因)

- うまく操作できない箇所があった
- 交通規則に違反した
- 安全運転にミスがあった
- 試験官の指示に従えなかった
- 衝突事故を起こした
- 方向指示の合図を出さなかった

ペンシルベニアでは、18歳未満で運転実技試験に不合格となった場合の再試験は7日後に受けられます。この間によく運転練習して再試験に臨んでください。仮免許の有効期間中、運転実技試験は3回受けることができます。3回不合格となった場合は、仮免許の期間延長を申請しなければなりません。

運転実技試験に3回失敗したり、仮免許の期限が切れたときは、普通自動車仮免許の追加/延長/交換/変更/修正申請書（DL-31: Application to Add/Extend/Replace/Change/Correct Non-Commercial Learner's Permit）を提出してください。健康診断の日付から3年以内に運転実技試験に合格せず、あるいは受験ができない場合には、再び普通自動車仮免許申請書（DL-180）を提出して知識試験を受けなおさなければならないかもしれません。
第2章
信号・標識・路面標示

この章ではペンシルベニア州の交通表示について説明します。以下の内容を学びます：

- 信号機
- 標識
- 路面標示

信号機

交通信号機は、交差点における車と歩行者の流れを規制するために設置されます。
交通信号機には縦型と横型があります。縦型の配列は赤が必ず上に、青が下になります。
横型の配列は赤が必ず左に、青が右になります。

赤・黄・青の交通信号と矢印

赤信号の灯火があるときは、交差点を渡る前に停止線または横断歩道の手前で停止しなければなりません。
線が見えないときには交差点の手前で停止します。青信号になるまで待ってから進みます。

右折は、NO TURN ON RED（赤での右折禁止）の標識で禁止されていない限り、赤信号でも可能です。必ず停止して、
まず歩行者と他車に進行をゆずってください。

一方通行の左側車線から、左向き一方通行の道に入るとときは、特に標識で禁止されていない限り、赤信号でも停止後に左折
できます。必ず停止して、まず歩行者と他車に進行をゆずってください。

黄信号の灯火があれば、もうすぐ赤に変わります。交差点に接近中に黄色になったら、停止に備えて減速します。

交差点に入った後、もしくは交差点手前で安全に停止できないときは、慎重に前進を続けます。

青信号の灯火があれば、安全を確認してから交差点を直進することができます。
特に禁止の標識がない限り、進路変更は可能です。ただし交差点内の歩行者と他車にまず進行をゆずってください。

赤矢印の灯火があれば、矢印方向には曲がられません。必ず停止してください。青矢印、または黄矢印が点滅するまで待ってから
進みます。赤矢印の灯火では、赤信号の灯火で許されている右折・左折が可能です。

黄矢印が灯火になると、まもなく赤信号に変わるため、青矢印または黄矢印点滅で始めていた進行を終えてください。

交差点の手前で完全停止できるよう減速します。交差点に入った後、もしくは交差点手前で安全に停止できないときは、
そのまま矢印方向に曲がります。

青矢印の灯火があれば、その矢印方向に曲がることができます。青矢印の灯火中に右左折を開始した場合は、
対向車が赤で停止中のため、その間は右左折が必要でない場合を除き、その方向に曲がることが
できますが、まず歩行者と対向車に進行をゆずらなければならないです。
第2章 - 信号・標識・路面標示

信号の点滅

赤信号の点滅は、止まれ（STOP）標識と意味は同じです。完全に止まらなければなりません。その後で、左右を確認して交差点が安全であれば進行できます。

黄信号の点滅は要注意。減速し、慎重に進んでください。

黄矢印点滅
矢印方向に曲がることができますが、まずは対向車と歩行者に道をゆずってください。黄矢印の点滅中に右左折を開始しても、対向車の信号は青のため、その間の右左折は保護されていません。

故障中の信号機
交通信号機の故障中は、4方向ストップサインの標識と同じ規則に従います。

ランプ進入規制信号
高速道路の進入ランプによっては、青と赤が交互に灯火する交通信号機があります。ランプ進入規制信号は、高速道路の渋滞緩和のため、通常は渋滞時間帯に作動するようになっています。必ず青信号を待ってから高速道路に進入してください。1車線しかないランプでは、青信号ごとに1台ずつしか進入できません。複数車線のランプでは、進入規制が各車線に設けられています。
青信号で進んでも高速道路合流への保護はありません。高速道路合流時は必ず安全なタイミングを見計ってください。

車線用信号
車線規制の信号が設置されている場合があります。通常は料金所付近、橋・トンネルの入口や、都市部の渋滞緩和、複数車線の市内出入りで各車線の方向を変更するための交通規制です。高速道路や通りの各車線の信号の意味は、以下の通りです:

下向き青矢印が灯火していれば、その車線は通行可能です。

黄色の「X」が灯火したら、その車線はまもなく逆方向になります。安全な時期で別の車線に移動してください。

赤の「X」が灯火している車線は使えない。

左の白矢印が灯火している車線は、左折のみの車線です。

両方向白矢印が灯火している車線は、左折のみ車線ですが、対向車も左折してその車線に入れてきます。
歩行者用の信号

歩行者は車両用または歩行者用の信号機に従わなければなりません。歩行者用の信号には、WALK（渡れ）と DON'T WALK（渡るな）の文字、または歩行者マーク（渡れ）と手のひら（渡るな）の信号があります。歩行者用の信号機がない交差点の横断は、車両用の赤・黄・青の信号に歩行者が従います。

ただし歩行者が車両用・歩行者用の信号機ルールを知らないこともあります。信号を無視する歩行者に注意してください。歩行者には必ず道をゆずらなければなりません。

WALK または歩行者マークが灯火したら、横断を開始します。車両は道を歩行者にゆずることになっていますが、交通違反の車が曲がってこないかよく注意してください。

DON'T WALK または手のひらマークが点滅じはじめた時は、
a. 横断中であれば渡り切ります。
b. 渡り始めていなければ、横断しないでください。

視覚障害の歩行者

早い杖または盲導犬に導かれた視覚障害の歩行者がいるときには、必ず減速して歩行者に道をゆずってから慎重に徐行を再開します。歩行者にけがをさせないよう、いつでも停止できるように注意してください。

スクールゾーンの信号

スクールゾーンの速度制限区域には、黄ランプ点滅の標識があります。黄ランプ点滅時、または標識に表示されている時間帯は、必ず時速 15 マイル以下で走行してください。スクールゾーンの速度制限違反は、罰金に加えても運転記録にも違反ポイント 3 点が加算されます。

線路踏切の信号

線路付近の道路には踏切の標識があります。踏切の横断は常に慎重に行ってください。左右を確認し、列車が接近していないか注意しながら信頼を確かめて横断します。

列車接近の信号が出ているときは、必ず停止しなければなりません。赤信号の点滅、遮断機、交通整理員の指示、列車の警笛などに従ってください。遮断機を通り抜けて、列車接近の信号を無視した進行は禁じられています。踏切に信号がないときは、列車の接近を感知したらいつでも停止できるように減速します。

踏切の横断は、警告の信号が完全に終了してから、さらに接近する列車がないことを確認した後に行います。

接近列車があるとき、警笛が鳴こえたり列車が見えても、停止してください。

ただし接近列車の有無にかかわらず、線路上では決して止まらないでください。信号やストップサインの影響で流動しても、線路からは安全な距離を置いて停止するようにしてください。

踏切の信号と遮断機に注意

道路と鉄道の交差地点の安全な横断については、第 3 章を参照してください。
標識

標識は、主に規制標識・警戒標識・補助標識の3種類に分類できます。ほとんどの標識は独自の形状と色が定められています。

規制標識

規制標識とは法律に基づいてするべきこと、してはならないことを指示する標識です。速度制限、通行方向、進路変更制限、駐車制限などに関する規制を指示するものです。規制標識に違反すると罰金が科せられるほか、違法行為として運転記録に違反ポイントが追加されます。規制標識違反は、例えばストップサインで停止しない、追い越しの危険な地点で追い越す、速度制限以上の速度で走る、一方通行を逆行するなど、本人はもちろん他の人の安全を脅かす行為です。

規制標識は、通常はSPEED LIMIT（速度制限）のような白黒の長方型の標識です。規制標識にはNO LEFT TURN（左折禁止）のように白黒赤で円に斜線の入ったものもあります。赤白のSTOP（停止）、YIELD（道をゆずれ）、DO NOT ENTER（進入禁止）、WRONG WAY（逆方向）なども規制標識です。

この標識はストップサインと併設される標識です。この標識があれば、車は停止せずに右折できます。

横断歩道や停止線（路上の白実線）があるときは、車の前部が最初の線を越える手前で停止します。対向車が見えないときは、歩行者に道をゆずったあとで、交通が見えやすい地点まで徐行します。対向車や歩行者を確認しながら、交差点が空いてから通過します。

この標識はストップサインと併設される標識です。この標識があれば、車は停止せずに右折できます。

FOUR-WAY STOP（4方向一時停止）は、その交差点にはストップサインが4本設置されていることを示します。4方向の全てが必ず一時停止します。最初に交差点に到達した車が最初に通過できます。2台が同時に交差点に到達したら、左側の車がゆずり、右側の車が先に通過できます。対向車が同時に到達したときは、相手の右左折を確認しながら双方が慎重に同時通過します。

YIELD（ゆずれ）は逆三角の標識です。必ず減速し、交通の流れを確認して歩行者や対向車に道をゆずってください。必要時にのみ停止します。交通の流れを判断しながら、安全に合流してください。STOP（一時停止）またはYIELD（ゆずれ）の標識の箇所では、車の流れに十分な間隔ができるまで待ってから進行してください。

ゆずれ標識と併設される標識です。1車線の橋や立体交差の下側道路で、対向車に先行権をゆずるよう指示する標識です。

RAILROAD CROSSBUCK（線路踏切）道路と線路が交差する地点に設置される標識です。YIELD（ゆずれ）標識と同様に、列車の接近を感知したらいつでも停止できるように減速します。踏切の安全については、第3章を参照してください。
第2章 - 信号・標識・路面標示

DO NOT ENTER（進入禁止）とWRONG WAY（逆方向）は併設されます。一方通行ランプや道路の出口には DO NOT ENTER（進入禁止）が設置されています。この標識のある道やランプには、そのまま進行方向には進めません。

WRONG WAY（逆方向）は、一方通行のやや前に設置してあります。間違って逆方向の道やランプに進入した車に警告する標識です。

ONE WAY（一方通行）は、矢印方向のみの通行路に設置しております。一方通行を逆方向に進入してしまうと、衝突事故の恐れがあります。

DIVIDED HIGHWAY（分離道路）
この先に分離道路があることを示す標識です。分離道路とは、一方通行道路が中央分離帯などで2本の道路に分かれた状態をします。最初の道は右折のみ、次の道は左折のみとなります。

トラック禁止
自転車禁止
歩行者禁止
NO TRUCKS（トラック禁止）、NO BICYCLES（自転車禁止）、NO PEDESTRIAN（歩行者禁止）は、それぞれトラック、自転車、歩行者の通行を禁止する標識です。

下記の標識のある地点では、常時その行為が禁止されています。

Uターン禁止
右折禁止
左折禁止
駐車禁止
Uターン禁止区域です。方向転換することはできません。
右折が禁止されています。この交差点で右折することはできません。
左折が禁止されています。この交差点で左折することはできません。
この標識のある区域には駐車できません。

追越禁止
同方向に走る前の車の追い越しを禁止する標識です。NO PASSING ZONE（追い越し禁止ゾーン）の黄色の三角標識と連立していることがあります。

下記は、交差点付近の車線の交通を規制するLANE USE CONTROL SIGNS（車線規制）の標識です。

左側車線は先方の交差点で必ず左折しなければなりません。その右隣りの車線は左折または直進が可能です。
CENTER LANE LEFT TURN ONLY
（中央車線は左折のみ）
対向方向からの左折専用に車線が確保しているため、その車線では直進や追い越しが禁止されています。
第2章 - 信号・標識・路面標示

車線規制の標識（続き）

<table>
<thead>
<tr>
<th>右折または左折</th>
<th>直進または右折</th>
<th>右折のみ</th>
<th>左折のみ</th>
</tr>
</thead>
</table>

上記のような標識のある車線では、矢印方向への進行が可能です。

上記のように「ONLY」と表示されている標識のある車線で交差点に差し掛けたら、必ず矢印方向に進まなければならない。レーンを間違えてその車線に入ってしまった場合でも、必ず矢印方向に曲がります。

SPEED LIMIT（制限速度）道路の状況に応じて、法律で許された最大速度を示す標識です。悪天候などの状況によっては、より低速な走行が安全な場合もあります。

このような標識のある交差点では、赤信号の間は曲がることが禁止されています。青になるのを待ってから曲がります。

青少年の交通事故
16〜17歳の運転による衝突事故の原因は、状況を無視したスピードの出しすぎ

専用駐車スペース
白黒ではありませんが、規制標識です。駐車区域を規制しています。障害者または退役障害軍人専用の駐車スペースを確保するものです。この場所に駐車するには、認定ナンバープレートもしくは認定カードを提示する必要があります。認定を受けていない違反車は、罰金およびレッカー移動費用の請求対象となります。
警戒標識
警戒標識とは、現地点から先の道路状態に関する標識です。危険をはらむ道路状態の変化などについて警告します。現状に応じた運転操作を前もって判断できるよう、その地点に差し掛かる手前に設置されています。通常はひし形で、黄色地に黒字の文字やシンボルがあります。

追い越し禁止ゾーン
唯一のペナント型の警戒標識です。この先は追い越し禁止ゾーンとなります。道路の左側、運転手側に設置されています。

進行方向
前に急カーブがあります。山形の方向に曲ります。カーブ開始の手前にはカーブ注意の警戒標識もあり、カーブが終わるまで複数の標識が進行方向に設置されています。

左方屈曲あり
前に左カーブがあります。減速し、車線の中央に位置を戻して左カーブに備えてください。

左方屈折あり
前に左屈折があります。大幅に減速し、車線の中央に位置を戻して左屈折に備えてください。安全速度を表示あるいは下に設置する屈折標識もあります。

右方屈曲あり
前に右カーブがあります。減速して、車線中央よりも右寄りになりながら、右にカーブします。

右方屈折あり
前に右屈折があります。大幅に減速し、車線中央よりも右寄りになりながら、右屈折に備えてください。屈折標識には、安全速度を表示あるいは下に設置する場合もあります。

背向屈曲あり
前方にカーブがあり、すぐその先に逆方向カーブがあります。（背向するカーブが2回あります）減速して複数のカーブに備えてください。

背向屈折あり
前に屈折があり、すぐその先に逆方向の屈折があります。減速して複数の屈折に備えてください。
つづら折りあり（複数カーブ）
前方に3回以上の複数カーブがあります。

誘導方向
前に急な屈折があります。急カーブに差し掛かる前にできるだけ減速して、交差点と同様に慎重に曲がってください。

カーブ内に交差点
前方の左カーブの右側には、小道の合流があります。特に慎重にカーブしてください。道が曲がって見えにくく、小道から入る車があなたの直前で合流する可能性があります。速度を出しすぎると、その車に衝突します。

横転注意
前方カーブで速度を出しすぎると、トラックなど横転の危険があります。

安全速度
ひし形の警戒標識に併設されることがあります。前方左屈折の安全速度は時速25マイルです。

合流交通あり
大型道路の前方車線入口ランプまたは小道からの合流があります。この標識では、右から合流してきます。合流する車は、大型道路を流れる車に道をゆずらなければなりません。

車線追加
前方の合流地点で車線が追加されます。新たに車線が加わるため、既存の車線での合流はありません。

織り込み区域
別の道路との合流があるため、入ってきた車がレーンを横切ることがあります。
第2章 - 信号・標識・路面標示

### 分離道路の始点
道路が分かれ、それぞれ一方通行になるため、前に分離帯があります。
分離帯の右側に進んでください。

### 分離道路の終点
これまで一方通行になっていた道路の分離が始まります。前方道路は二方向交通になります。中央線の右側に寄って、対向車に注意してください。

### 二方向交通
一方通行はこの先でなくなります。対向車線の流れる、二方向の道路になります。
中央線の右側の車線を取ってください。この標識は二方向道路で随時設置されています。

### 車線減少
複数車線の道路の前方で、これまでの車線が1本となります。この例では、右車線の車が左車線に合流します。

### 交差点の標識
以下の標識は交差点にあります。交差点の先で道がなくなる場合など、前方の道路変化を予告しています。
前方の交通変化を知らせる警告です。前方に注意しながら、交差点で減速できるように慎重に進みます。

#### 合流交通あり
T字形交差点の向こう側に設置され、必ず右折するよう知らせる標識です。
これまでの道路は、この交差点で行き止まりになります。

#### すべりやすい
濡れた路面がすべりやすくなっています。雨天時は減速して車間距離を開けてください。
急な加速や急ブレーキは禁物です。カーブや屈折では特に速度を落としてください。
シカ道
シカが道を渡り、衝突事故が起きやすいことを知らせる標識です。

高さ制限
立体交差の下側道路やトンネル・駐車場入口などに設置されています。表示を超える高さの車両は入りません。

路肩の標識
前方で路肩の段差が低い、路肩が弱い（舗装されていない）場合の注意喚起の標識です。LOW SHOULDER（路肩注意）の標識は、路肩が道路の路面から3インチ低くなっている箇所に設置されます。路肩がそれ以上大きく落ちている箇所にはSHOULDER DROP OFF（路肩落ち）の標識があります。

落ちたときは、急ブレーキをかけたり、急ハンドルで戻ろうとすると、車が暴れて危険です。道路からはみ出した時の操縦法については、第3章を参照してください。

下り急勾配あり
前方に急な下り坂があります。速度調整のブレーキかけすぎでの摩耗を防ぐため、あらかじめ減速してギアを下げるようにしてください。

信号機あり
前方の交差点に交通信号機があります。カーブや坂で見えにくくなっていることがあります。前の車の列が赤信号で（青信号に切り替えられた瞬間でも）止まっていることがあります。この標識を見たら、いつでも止まられるように減速して準備してください。

ストップサインあり
前方の交差点に一時停止の標識があります。カーブや坂、障害物で標識が見えにくいことがあります。STOPで停滞している前の車の列が見えないことがあります。この標識を見たら、停止できるように減速してください。

自転車横断帯
前方に自転車の走行があります。減速の準備をしてください。この標識の背景色は黄（イラスト）のほか、蛍光黄緑の場合もあります。

踏切あり
もうすぐ線路の踏切があります。列車が見えてこないか、聞こえてこないかに注意してください。必要時はすぐに停止できるよう、線路のかなり手前に設置されています。踏切の安全については、第3章を参照してください。
交差点から踏切あり
横道の交差点からすぐのところに踏切があります。交差点前すぐに停止できるよう、接近列車に注意しながら横道に入ってください。

自転車と車両の道路共有
道幅の狭まる地点（路肩終点、車線縮小など）では自転車に道をあけてください。

横断歩行者
横断歩道をはじめ、歩行者が横断できる場所の手前に設置されています。いつでも減速・停止できるよう準備してください。この標識の背景色は黄色（イラスト）のほか、蛍光黄緑の場合もあります。

学校
唯一の五角形の標識です。前方にスクールゾーンがあることを示します。下向き矢印があるときは、スクールゾーンの横断歩道があります。路上の子供に注意しながらいつでも停止できるよう、減速してください。この標識の背景色は、黄色（イラスト）のほか、蛍光黄緑の場合もあります。

馬車
馬車がゆっくりと走行または横断できる自動車道に設置されています。

道路わきの障害物
車が道路わきの危険な障害物に近づかないよう注意喚起する表示です。立体交差の支柱や橋梁の先端部、ガードレールなどがその例です。舗装の段差や接合部など、構造建築物ではなく道路状況に関する表示の場合もあります。縞模様が下向き方向の障害物に接近しないよう、慎重に反対側に寄ってください。
第2章 - 信号・標識・路面標示

工事中の標識（作業区域・工事現場）
工事中の標識はほとんどが警戒標識と同じひし形ですが、黄色と黒ではなく、オレンジ色に黒字の表示になります。補修工事・建設工事・公共工事などで道路付近に作業員や作業機械があることを示しています。標識があるところでは、周囲に注意しながら減速します。

工事中の標識区域は、日中でもヘッドライトを点灯した状態で通過してください。作業員がいない場合でも、工事中の標識のある区域では必ず点灯することが法律で義務付けられています。ヘッドライトをつけることにより、他の車に見えやすく、作業員に接近車が見えやすくなります。工事中の区域で交通違反の取り締まりを受けたとき、ヘッドライトの点灯がなければ、罰金$25が追徴されます。

作業中の現場区域に設置されるWORK ZONE（工事中）の標識です。作業中の現場とは、建設・補修・公共設備工事の作業員が通行中の自動車道のすぐそばの路上や路肩で作業している区域です。

この先工事中
前に工事中の区域があるため、減速するよう知らせる標識です。

車線の通行止め
表示の距離の箇所で一車線が通行止めになります。

作業中
道路のすぐそばで、人が作業をしています。この区域は特に慎重に通行してください。

冠水のため通行止め
この先は冠水で通行止めになっていまます。迂回してください。

ご存知でしたか？
工事中区域でのスピード違反などの危険な交通違反事案は、警察に通報できる通報用紙が道路工事員にはあります。通報を受けた車には告知書が交付され、罰金や違反ポイントの対象となります。

交通誘導員（工事中）
左の標識は、この先の道路は、手信号による交通誘導があることを示しています。交通誘導員は、右の図のような手信号のSTOP（停止）とSLOW（徐行）の標識を使って、止まれ・進める指示を出します。工事中の区域は、交通誘導員の指示に注意しながら慎重に通過してください。
第 2 章 - 信号・標識・路面標示
PA 運転マニュアル

電光掲示板の矢印
路上または車載型の電光掲示板の大きな矢印が点滅したら、前方に車線の閉鎖があります。矢印の方向に移動・合流します。この矢印が見えたら、早めに移動してください。右下のようなメッセージ（警告）があれば、前方に作業中の区域があることを示しています。特に慎重に通行してください。

安全コーン
工事現場の危険物に近づかないよう、車の通行を整理する
安全コーンには樽型、縦棒型、円錐型、板状のものなどがあります。

案内標識
案内標識は、前方の交差道路に関する案内のほか、道路進行方向にある都市や町、主要地点の情報を提供します。病院やガソリンスタンド、レストラン、宿泊施設などを示すこともあります。通常は長方形の標識です。

高速道路や幹線道路の案内標識
高速道路や幹線道路の案内標識は以下に 3 例示します。緑の背景に白文字です。高速道路・幹線道路の経路案内標識の表示には一貫性があります。例えば、最初の予告掲示に続いて、二度目の予告掲示があります。三度目の案内標識は出口ランプに設置されています。交通量の多い高速道路では、単独の標識を見逃しやすいため、このような重複して設置されています。複数車線では、早めに何度か車線変更しなければ出口ランプに到達できない場合もあります。

出口番号
出口番号はマイル表示数と同じです。これにより、出口間の距離を概算することができます。例えば Exit 95 と Exit 20 の距離はほぼ 75 マイルとなります。

標識に黄色の帯の EXIT ONLY（出口レーン）がある車線は、その出口を過ぎると前進できなくなる車線です。この車線は必ず高速道路を降りる出口につながります。EXIT ONLY からは、別の進行車線に変更することができます。車線変更できないときは、そのまま出口から高速道路を降りてください。

-19-
第2章 - 信号・標識・路面標示

高速出口が左右どちらかを知らせる標識:

- 左からの出口は、その出口番号が高速道路標識の左上に表示されます。
- 右からの出口は、その出口番号が高速道路標識の右上に表示されます。
- 白矢印の方向が出口の方向です。

Route 22 のExit 13 は左側に出口があります。
Route 22 のExit 7 は右側から出ます。

州間幹線道路の路線番号

州間幹線道路の盾形標識があれば、州間幹線道路です。
州間幹線道路の路線番号は、土地に不慣れな人にもわかりやすく設定されています。
東西の幹線か、南北の幹線か、またその幹線が米国の東部・中部・西部のいずれを走行しているかは幹線番号で判断できるようになっています。

州間幹線道路の路線番号の解説

州間幹線道路の盾形標識の数字から、その仕組みを理解してみましょう。主なパターンは以下の通りです。

- 1桁または2桁の偶数であれば、その州間幹線道路は東西方向です。全米で最も南のI-10（幹線道路10号線）から、最も北はI-94（幹線道路94号線）が走っています。ペンシルベニアでは、最南がI-76、最北はI-84になります。
- 1桁または2桁の奇数であれば、その州間幹線道路は南北方向です。全米では西海岸のI-5から、東海岸はI-95まであります。ペンシルベニアでは、西はI-79、東はI-95まであります。
- 3桁の州間幹線道路は、大型幹線道路につながっています。3桁の最初が偶数なら、その道路は両端が幹線道路に接続しています。例えばフィラデルフィアのI-276がその一例です。このような道路は「ループ」「ベルトウェイ」とも呼ばれています。
- 3桁の最初が奇数なら、別の幹線道路との接続は片側だけの分岐道路で、末端は都市部に終わるなどとなります。Williamsport（ウィリアムズポート）のI-180などがその一例です。

マイル数表示

マイル数表示のある高速道路の距離数は、州境が始点となります。
州境に到達しない道路であれば、その道の開始点からの距離となります。
東西道路は西が0、南北道路は南が0です。東または北へ行くほど数字が上がり、西または南へ行くほど数字が下がります。例えば西からI-80でペンシルベニア州に入るときには、マイル表示は1から始まり東に行くほど高くなります。マイル表示の仕組みを理解しておけば、現在地を知ることができ、困ったときのロードサービス（roadside assistance）でも事情を説明しやすくなります。
第2章 信号・標識・路面標示

路線標識
現在走行中の路線を知ることができる標識です。

U.S.22号線の標識です。 | キーストーン形の標識は、ペンシルベニア州道路39号線です。
---|---

JCT表示のある路線標識は、その前方にU.S.22号線への連結地点があることを示しています。 | 方向表示のある路線標識です。
U.S.22号線を西向きに走行しています。

補助矢印のあるこの標識は、この先を右折すればU.S.22号線が継続することを示しています。 | TOの補助案内板と矢印がある路線標識は、直進すればU.S.22号線に入ることを示しています。

施設案内
施設案内の標識には以下のようなものがあります。形状は正方形または長方形で、青地に白字の文字やシンボルがあり、前方の出口付近で利用できる施設を案内しています。

病院 | 電話 | 食事 | ガソリン | ディーゼル | 宿泊
---|---|---|---|---|---

観光案内
正方形または長方形で、青地または茶地に白文字です。博物館、歴史的名所、州立・国立公園などの主要地を案内する標識です。

Susquehanna Indian Museum
GETTYSBURG NATIONAL MILITARY PARK
2 MILES

-21-
ほとんどの道路には、センターラインや車線、車道外枠を示す路面標示があります。センターラインには実線と破線があります。車線の使い方も路面標示でわかります。黄色の線は対向車線を分ける線です。黄色の線は、2車線2方向道路の中央線となるほか、分離道路・一方通行路・ランプの左端にも引かれています。白の実線は同方向に流れる車線を分ける線です。白実線は道路の右端にも引かれています。

通常は、線の切れ目は越えて渡ることができます。右左折するとき以外、実線は越えることができません。路面標示の例を以下に説明します。

黄色の破線1本は、二方向2車線道路の中央線です。追い越しは、安全を確認できれば許されています。追い越しするときは、対向車線を使うことになります。

黄色の実線2本は、二方向道路の中央線を示します。NO PASSING（追い越し禁止）の標識がなくても、この道での追い越しは両方向とも禁じられています。

このような2本線は、3車線や5車線道路によく見られます。黄色の実線で囲まれた中央区域は、追い越しには使えません。黄色の破線で囲まれた中央区域は、両方向車線からの左折のみに利用できます。中央車線の安全な使い方については、第3章を参照してください。

中央分離帯のない複数車線道路の典型的な路面です。白破線は同方向の車線を分けています。追い越しは（車線が空いていれば）白実線を越えて行うことができます。中央線の黄実線2本は、越えることは禁じられています。対向する交通の流れは、黄色の中央線が分けています。

中央分離帯のある自動車専用道路の典型的な路面です。道路の右端には白実線が引かれています。各走行方向の左端には、黄実線が引かれています。各方向の車線は越えることが許されている白破線で分けてあります。

規制標識や警戒標識を補足する文字や矢印の路面標示もあります。路面の文字には、STOP（一時停止）標識のある交差点の手前のSTOP AHEAD（一時停止あり）や、対向車に先行権をゆずるよう指示するYIELD（ゆずれ）の文字もしくは複数の三角形、スクールゾーン手前のSCHOOL（学校）、踏切手前のR X R、自転車専用車線であることを示すBIKE LANE、右折のみ・左折のみ車線を示す矢印とONLYの文字、道路やランプが一方通行であることを示す矢印、などがあります。
第2章の復習

1. この標識のあるところでは、必ず：
   A. 完全に停止し、歩行者と対向車を確認する
   B. 減速するが、停止はしなくてもよい
   C. 完全に停止して、青信号になるのを待つ
   D. 減速して、交通の流れを見る

2. この色と形は______の標識です。
   A. 一時停止
   B. 逆方向
   C. ゆずれ
   D. 進入禁止

3. この標識の意味は：
   A. 一時停止
   B. Uターン禁止
   C. ゆずれ
   D. 進入禁止

4. この標識の意味は：
   A. Uターン禁止
   B. 曲がるな
   C. 左折禁止
   D. 右折禁止

5. この標識の意味は：
   A. Uターン禁止
   B. 左折禁止
   C. 右折禁止
   D. 曲がるな

6. この標識の意味は：
   A. 必ず右折または左折する
   B. この先にT字交差点あり
   C. この先の交差路は分離道路
   D. 分離道路の上に立体交差道路あり

7. 白い杖の歩行者に注意しなければならない理由は：
   A. ろうあ者だから
   B. 精神障害者だから
   C. 視覚障害者だから
   D. 足腰が弱いかから

8. 白い杖または盲導犬に導かれた視覚障害の歩行者がいるときには：
   A. いつでも停止できるように減速する
   B. 車に先行権があるので進行する
   C. 車を単に前進させる
   D. 素早く通り去る
第 2 章 - 信号・標識・路面標示

9. 線路の踏切に信号がないときは:
   A. 接近する列車があったらすぐに停止できるように減速する
   B. 急いで踏切を渡り切る
   C. 普通に踏切を渡る
   D. 減速して踏切を渡る

10. 遮断機が下りていても、踏切を渡れるか:
    A. 列車が通過したら渡れる
    B. 渡ることはできない
    C. ライトの点滅が終われば渡れる
    D. 他の車が無視して渡ったときは、続いて渡れる

11. この標識が走行車線にあったら:
    A. この車線からは、幹線道路を出ることができない
    B. この車線からは、幹線道路を出ることも、そのまま前進することもできる
    C. この車線からは、出口を過ぎても前進できる
    D. この車線からは、幹線道路を出なければならない

12. 高速道路の案内標識の色は:
    A. オレンジ地に黒字
    B. 緑地に白字
    C. 黄地に黒字
    D. 赤地に白字

13. この標識があったら:
    A. 前方に交差点あり
    B. 前方に工事区域あり
    C. 前方にカーブあり
    D. 前方車線に変更あり

14. この標識があったら:
    A. この道では曲がれない
    B. この道は先細りする
    C. この道には複数のカーブがある
    D. すべりやすい

15. この標識の意味は:
    A. 左カーブあり
    B. つづら折りのカーブあり
    C. S 字カーブあり
    D. 雨天時はすべりやすい

16. この標識は:
    A. 急坂あり
    B. トラック禁止の坂
    C. この先林道あり
    D. 坂にトラックあり
17. 黄色地に黒字のひし形の標識は:
   A. 現地点から先の道路状態に関する警告
   B. その先の都市や町への誘導
   C. 交通の法規制に関する情報
   D. 前方は工事中

18. この形状と色は__の標識。
   A. 追越越し禁止
   B. 逆方向
   C. 踏切
   D. 一時停止

19. 分離道路の終端を示す標識は?
   A. 2
   B. 4
   C. 3
   D. 1

20. この標識の警告は:
   A. 車線減少、左に合流せよ
   B. 前方にカーブあり
   C. 交差点あり
   D. 工事中

21. これは何の標識ですか?
   A. 交差点
   B. カーブ注意
   C. 右折
   D. 車線変更

22. これは何の標識ですか?
   A. 右折
   B. 交差点
   C. 車線変更
   D. カーブ注意

23. この標識があったら、最も注意するべき危険は?
   A. 車の水平が保てないので、ヘッドライトがずれる
   B. 路肩にはみ出してタイヤを損傷する
   C. 路肩が濡れているときはすべりやすい
   D. 路肩にはみ出すと、段差の影響で車がコントロールできなくなる

24. この標識の意味は?
   A. この先の信号は赤
   B. この先の信号機は故障中
   C. この先の信号は青
   D. この先に信号機あり
第2章 - 信号・標識・路面標示

25. この標識の意味は：
A. 分離道路の終端
B. 一方通行の開始
C. 一方通行の終端
D. 分離道路の開始

26. 信号機の色は上から順に：
A. 赤、黄、青
B. 赤、青、黄
C. 青、赤、黄
D. 青、黄、赤

27. 青矢印が青信号に変わったら：
A. 曲がれるが、その前に対向車にゆずらなければならない
B. 曲がれないので、直進する
C. 先行権があるので、曲がることができる
D. 矢印の方向には曲がらなくてもよい

28. 交差点での黄信号の点灯は：
A. すすめ
B. 対向車にゆずれる
C. 停止できるように減速せよ
D. 停止せよ

29. 黄矢印が点滅したら：
A. 停止して、青矢印になったら曲がる
B. 車を停止できるように減速する
C. 曲がることはできるが、まず対向車と歩行者に道をゆずる
D. 先行権があるので曲がれる

30. 黄信号が点滅したら：
A. 減速して慎重に進む
B. 前方があいているなら進む
C. 停止して、信号が青に変わってから進む
D. 停止して、前方があいている進む

31. 必ず停止しなければいけないのは：
A. 赤信号が点滅するとき
B. 黄信号が点灯するとき
C. 黄色矢印のとき
D. 黄信号が点滅するとき

32. 交差点で青信号が点灯したら：
A. 停止できるよう減速する
B. 必ず停止して、対向車を確認してから進む
C. 交差点がふさがっていないことを確認できたら進む
D. 右折できない
第2章 - 信号・標識・路面標示

33. 黄信号の点灯に続く次の信号は______。
   A. 黄信号の点滅
   B. 青信号の点灯
   C. 赤信号の点灯
   D. 赤信号の点滅

34. 黄信号のとき、慎重に前進できるのは：
   A. 緊急車両が自分の車線を横切るとき
   B. 歩行者が横断していないとき
   C. 右折するとき
   D. 既に交差点に入っているとき

35. 赤信号で左折できるのは：
   A. 接近してくる対向車がないとき
   B. 二方向道路から一方通行道路に入ると
   C. 一方通行道路から別の方通行に曲がるとき
   D. 前の車が左折したとき

36. 信号機が故障中のときは：
   A. 停止して修理が終わるのを待つ
   B. 停止して、警察官が到着するのを待つ
   C. 4方向ストップサインがあるときと同様に進む
   D. 通常通りに進む

37. 赤信号で右折できるのは：
   A. いったん停止して、対向車や歩行者がいないことを確認できたとき
   B. 右向きの赤矢印が点灯しているとき
   C. 左側レーンにいるとき
   D. 減速したあと

38. 青信号で右折するときは、必ず：
   A. 運転速度をそのまま維持する
   B. 停止して、対向車がいないか確認する
   C. 歩行者に道をゆずる
   D. 加速する

39. スクールゾーンで黄色ライトが点滅しているときの制限速度は時速______ マイル。
   A. 25
   B. 15
   C. 20
   D. 35

40. 踏切で赤信号が点滅していたら：
   A. 停止して、信号が変わってから進む
   B. 減速して、道があいていたら進む
   C. 慎重に進む
   D. 自分の車に先行権がある
41. 車線規制でこの青矢印があるときは:
A. その車線を使える
B. その車線には進入禁止
C. 自分の車に先行権がある
D. その車線に合流しなければならない

42. この標識の意味は:
A. 歩行者あり
B. 工事区域終わり
C. 学童横断あり
D. 交通誘導員あり

43. この標識の意味は:
A. 道路わきをゴミ拾い中
B. 前方工事区域の道路わきで作業員が作業中
C. 子供の遊び場あり
D. 前方に歩行者横断あり

44. 工事中を示す矢印の電光掲示板にこのメッセージが出ているときは:
A. 電球が切れている
B. 慎重に進む
C. 直ちに車線を変更する
D. ラジオの交通情報をつける

45. この道の中央車線は:
A. 通常の走行用
B. 左折のみ
C. 追い越しのみ
D. 緊急車両用のみ

46. 車線の間に____線が引いてあるときは、追い越しができる。
A. 白の破線
B. 黄の実線 2 本
C. 黄の実線
D. 白の実線

47. 同方向車線の間に引かれている線の色は____である。
A. 黄
B. 白
C. 赤
D. 黒

48. 中央の____線を越えて追い越してはならない。
A. 隣合わせの黄実線と黄破線
B. 黃破線
C. 黄の実線 2 本
D. 白の破線 1 本
第2章 - 信号・標識・路面標示

49. 白の実線を越えることができるのは:
   A. 同方向の車を追い越すとき
   B. 日中のみ
   C. いつでも
   D. 曲がるとき

50. 道路の右端に1本引かれているのは_____線。
   A. 白の破線
   B. 黄の実線
   C. 白の実線
   D. 黄の破線

51. 対向する車線を分ける線は_____色。
   A. 白
   B. 赤
   C. 黒
   D. 黄

52. 黄色と黒のこの標識があるときは:
   A. 右の道路は一方通行になる
   B. 工事中のため道に迂回する
   C. 道の屈折にそなえて減速する
   D. 右に交差点がある

53. この標識のあるときは:
   A. 路上に障害物あり
   B. 右からの車に注意
   C. 道が左に急カーブ
   D. この先に合流地点あり

54. ストップサインのある交差点で、路面の白線手前で車を停止したが、対向車の流れがよく見えない。このときは:
   A. 5秒待ってから前進する
   B. ホーンを鳴らしてから前進する
   C. 車の音が聞こえるように窓を開けて、前進する
   D. 少し前進して車の流れと歩行者を確認し、道があいたら前進する

55. 制限速度の標識は:
   A. 法律で許された最低速度
   B. その速度で走行しなければ違反告知書の対象となる
   C. 天候や道路状況が良好であれば安全な最高速度
   D. 天候や道路の状況にかかわらず、常時安全な最高速度

56. 二方向道路を示す標識は?
   A. 1
   B. 2
   C. 3
   D. 4
57. このとき中央車線からできる操作は?
A. 左折
B. Uターン
C. 追い越し
D. 上記の全て

58. 右車線を維持しなければならない標識は?
A. 2
B. 1
C. 3
D. 4
<table>
<thead>
<tr>
<th>番号</th>
<th>答え</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>1</td>
<td>A</td>
</tr>
<tr>
<td>2</td>
<td>C</td>
</tr>
<tr>
<td>3</td>
<td>D</td>
</tr>
<tr>
<td>4</td>
<td>A</td>
</tr>
<tr>
<td>5</td>
<td>C</td>
</tr>
<tr>
<td>6</td>
<td>C</td>
</tr>
<tr>
<td>7</td>
<td>C</td>
</tr>
<tr>
<td>8</td>
<td>A</td>
</tr>
<tr>
<td>9</td>
<td>A</td>
</tr>
<tr>
<td>10</td>
<td>B</td>
</tr>
<tr>
<td>11</td>
<td>D</td>
</tr>
<tr>
<td>12</td>
<td>B</td>
</tr>
<tr>
<td>13</td>
<td>C</td>
</tr>
<tr>
<td>14</td>
<td>C</td>
</tr>
<tr>
<td>15</td>
<td>D</td>
</tr>
<tr>
<td>16</td>
<td>A</td>
</tr>
<tr>
<td>17</td>
<td>A</td>
</tr>
<tr>
<td>18</td>
<td>A</td>
</tr>
<tr>
<td>19</td>
<td>A</td>
</tr>
<tr>
<td>20</td>
<td>A</td>
</tr>
<tr>
<td>21</td>
<td>A</td>
</tr>
<tr>
<td>22</td>
<td>B</td>
</tr>
<tr>
<td>23</td>
<td>D</td>
</tr>
<tr>
<td>24</td>
<td>D</td>
</tr>
<tr>
<td>25</td>
<td>D</td>
</tr>
<tr>
<td>26</td>
<td>A</td>
</tr>
<tr>
<td>27</td>
<td>A</td>
</tr>
<tr>
<td>28</td>
<td>C</td>
</tr>
<tr>
<td>29</td>
<td>C</td>
</tr>
<tr>
<td>30</td>
<td>A</td>
</tr>
<tr>
<td>31</td>
<td>A</td>
</tr>
<tr>
<td>32</td>
<td>C</td>
</tr>
<tr>
<td>33</td>
<td>C</td>
</tr>
<tr>
<td>34</td>
<td>D</td>
</tr>
<tr>
<td>35</td>
<td>C</td>
</tr>
<tr>
<td>36</td>
<td>C</td>
</tr>
<tr>
<td>37</td>
<td>A</td>
</tr>
<tr>
<td>38</td>
<td>C</td>
</tr>
<tr>
<td>39</td>
<td>B</td>
</tr>
<tr>
<td>40</td>
<td>A</td>
</tr>
<tr>
<td>41</td>
<td>A</td>
</tr>
<tr>
<td>42</td>
<td>D</td>
</tr>
<tr>
<td>43</td>
<td>B</td>
</tr>
<tr>
<td>44</td>
<td>B</td>
</tr>
<tr>
<td>45</td>
<td>B</td>
</tr>
<tr>
<td>46</td>
<td>A</td>
</tr>
<tr>
<td>47</td>
<td>B</td>
</tr>
<tr>
<td>48</td>
<td>C</td>
</tr>
<tr>
<td>49</td>
<td>D</td>
</tr>
<tr>
<td>50</td>
<td>C</td>
</tr>
<tr>
<td>51</td>
<td>D</td>
</tr>
<tr>
<td>52</td>
<td>C</td>
</tr>
<tr>
<td>53</td>
<td>C</td>
</tr>
<tr>
<td>54</td>
<td>D</td>
</tr>
<tr>
<td>55</td>
<td>C</td>
</tr>
<tr>
<td>56</td>
<td>C</td>
</tr>
<tr>
<td>57</td>
<td>A</td>
</tr>
<tr>
<td>58</td>
<td>A</td>
</tr>
<tr>
<td>59</td>
<td>A</td>
</tr>
</tbody>
</table>
第3章：車の運転
この章では安全運転について説明します。以下の内容を学びます：
- 安全優先の判断
- 運転の基本
- 安全の人的要素
- 特殊な状況と緊急事態

安全優先の判断
安全に運転するためには、様々な判断力が求められます。安全運転への判断は、エンジンをかける前から始まっています。車と身体の健康が運転に最適の状態にあることを、まず判断してください。

車の点検：運転の準備
1. タイヤの安全 – タイヤは安全運転には大変重要です。溝がすり減っていないか、空気圧は十分あるかを運転前に点検しておきましょう。乗り込む前に、運転席ドア内側の表示または車のマニュアルでタイヤの適正空気圧 psi（平方インチあたりのポンド数）を確認します。psi はエアゲージで測定します。点検は運転前または運転後 3 時間以上経過した後の常温で行います。空気圧がドア内表示の数値よりも低ければ、適正値になるまで空気を抜きます。低いときは、その数値になるまで（プロに頼むなどして）空気を注入します。

溝の深さは、1 セントコインで測定できます。月に一度、または長旅に出かける前にタイヤが傷んでいないか点検してください。1 セントコインを使った簡単なタイヤ点検法は、以下の通り。
1. 親指と人差し指で、コインのリンカーン大統領の下からリンカーンの胸部をつまみます。
2. タイヤの溝が一番すり減っていそうなところを探し、そのコインをリンカーンの頭頂から溝に差し込みます。
3. リンカーンの頭が少しでも隠れるほどの溝が深ければ、そのタイヤは大丈夫です。
それよりも溝が浅いときは、タイヤが悪天候下で路面上をつかむ能力はかなり低下します。
タイヤ交換用の車載工具は常に搭載しておいてください。スペアタイヤ、レンチ、ジャッキ、懐中電灯、発煙筒と三角表示板、車止めブロック、タイヤ修理キット、安全手袋などです。タイヤ交換の方法は、63ページを参照してください。

2. 液体点検 – エンジンオイル、ウィンドウォッシャー液、ガソリンなどを全て車のマニュアルを確認しながら点検します。

3. 運転席の調節 – ペダルなどの制御装置に届きやすいか、視界が窓から確保できるかを確認します。
各部の調整方法については、車のマニュアルを参照してください。

4. シートベルト着用 – 毎回必ず肩ベルトと腰ベルトの両方を装着します。ペンシルベニア州のシートベルト法とチャイルドシート法、エアバッグ安全情報については、第 5 章を参照してください。

5. 荷物は収納・固定して飛散を防止 – 車中の荷物は、車が衝突したとき走行速度で飛び出します。バックパック、スーツケース、工具などの重い荷物は、トラックに収納するかシートベルトで固定してください。後部リアウィンドウ窓ぎわには絶対に荷物を置かないでください。

6. バックミラーとサイドミラーを調節 – 車の周囲には死角があります。各ミラーは運転手ごとに再調整が必要です。バックミラーは直後の車が見えるように調節します。サイドミラーは左右にできるだけ自分の車の側面を少し見えるよう調節します。ミラーの調節は、座席を調節してから行います。
注：バックミラーからアクセサリーなどをぶら下げて運転すると法律違反です。前方の視界を遮ることは、決してバックミラーには付け下げないようにしてください。バックミラー用のタグや許可証、プラカードなどの装着は、車を駐車してから装着する。
第 3 章 – 車の運転

PA 運転マニュアル

7. フロントガラス – 運転中に道路の視界を遮る可能性のあるものを付着させると法律違反になります。

8. エアの調節 – 車には常に新鮮な外気が入るようにします。車内の一酸化炭素（排気ガス）中毒を防ぎ、運転中の眠気を防止します。

9. ヘッドレストの調節 – 後頭部のヘッドレストを正しく調整することで、追突事故時の首の負傷を低減できます。ヘッドレストの高さは耳の上あたりになるように調節します。調節の方法は、車のマニュアルをご覧ください。

10. メガネ・コンタクトレンズを着用 – 普段着用している人は、運転時も必ず着用してください。夜間にはサングラスや色メガネは着用しないでください。

11. ドアを施錠 – 衝突事故で車外に投げ出されないよう、ドアをロックしてシートベルトを着用します。車外放出されると、死亡率は75%悪化します。ドアをロックすることにより、交差点停止時や駐車場でのカージャックなどの暴行被害を防ぐこともできます。

安全の個人的要素

安全確保には、車の整備と同様に以下の個人的要素も大きく影響します。

不注意

注意散漫な運転や睡眠不足は、重大な事故を引き起こす原因となります。

ご存知でしたか?
警察に届けられた事故のうち 25~30%は、ながら運転や不注意で道路や交通状況に気づかなかったことが原因です。件数にして毎年 120 万件が不注意による事故となっています。

ながら運転

不注意の原因は、1）運転とは無関係な、別のことがらに注意を向ける 2）道路から目を離す 3）ハンドルから手を離す、などの運転以外の行為です。

特に以下の動作に注意を向けると、とっさの反応ができなくなります。

・ 飲食や喫煙: ハンドルから手を放し、道路から目を離すため、安全運転ができない状態になっています。
  運転中に飲食していると、車のコントロールが甘くなり、車線からはみ出し、頻繁にブレーキを踏むようになります。

・ オーディオ操作: ラジオ、カセット、CD、Ipod/Mp3 プレーヤーなど。
  注: ヘッドフォン/イヤホンは、片耳だけに、通信目的でのみ使用が許されていません。

・ 携帯通話（ハンズフリーも含む）: 携帯メッセージに関する法律については、第 5 章を参照してください。

・ 車の中のおしゃれ: 二十歳未満には特に問題の行為です。
  二十歳未満の運転統計では、独歩の運転や大人が同乗するときよりも、未成年が同乗者のときに事故を起こしやすくなっています。

・ 車中のもののさがし

・ おしゃれな着や、携帯メッセージ

・ 身だしなみ (整髪、メイクなど)

・ 事故現場や工事現場でのよそ見・わき見

・ 道路以外にあるものや人・相手を見る

睡眠不足

疲れたときは反応が遅くなります。判断力や視力が衰えて、理解力や記憶力も低下します。

ご存知でしたか?
統計によれば、相手車ミスなどの危険状況に気づかない率は、正常運転時で3%です。同じ状況でも、携帯電話をダイヤル中は気づかない率は大人の場合13%に上昇します。二十歳未満の場合は、53%が携帯電話ダイヤル中には危険を察知できていません。
疲労運転は、飲酒運転に劣らず危険です。寝ずに18時間起きていたときの運転状態は、血中アルコール濃度0.05％の状態に匹敵します。24時間連続で起きていたときの運転状態は、血中アルコール濃度0.10％の状態に匹敵します。疲れすぎると居眠りしている自覚がなくなります。運転中は、数秒の居眠りが命取りの事故につながります。睡眠時間が8時間未満の二十歳未満は、衝突事故を起こしやすくなります。疲れを感じはじめたときの最善策は、運転をやめることです。

健康状態

視力・聴力・健康状態は安全運転を左右します。

• 視力検査は1〜2年ごとに受けてください。周辺視力、遠方状況判断、暗がりでの夜間視力などは、疾患の影響や加齢でも衰えます。定期的な検査を受けていなければ視力の衰えには気づかないことがあります。メガネやコンタクトレンズは運転時には必ず着用するようにしてください。

• 聴力があれば死角で見えない車にも、音で気づくことがあります。緊急車両（警察・消防車・救急車）のサイレンや踏切での列車の接近にも聴力が役立ちます。

• 首の痛みや膝の痛みなど、ちょっとした健康状態や疾患が運転操作に大きく影響することがあります。糖尿病、心臓病、てんかん発作などの意識喪失につながる疾患は危険です。ペンシルベニア州では、運転に支障をきたす疾病の診断医が必ずPennDOT当局に通報するように法律で義務付けられています。

飲酒運転

• 全米でもペンシルベニア州でも、お酒を飲んで運転したがために死亡・負傷した人は、何千人います。交通事故死の約40％は飲酒運転が原因です。

• 最近のペンシルベニア州統計では、事故で死亡した16〜20歳運転者のうち30％が飲酒運転に関連しています。ペンシルベニア州でも、全米各地でも、21歳未満の未成年には飲酒は法律で一切禁止されているにもかかわらず、このような結果となっています。

• 21歳未満は血中アルコール濃度（BAC）0.02％以上で運転すると飲酒運転（DUI）と見なされます。

• 微量のアルコールでも集中力・認知力・判断力・記憶力に影響し、運転能力を低下させます。飲酒して安全に運転できる人はいません。

• 血中のアルコール濃度が0.04（成人21歳以上の法定限界値0.08の半分）のときでも衝突事故の確率は、飲まない人の2〜7倍に増えます。
法定基準より低い値でも、お酒は人と自分を命の危険にさらしています。
血中アルコール濃度は必ず 0 の状態で運転してください。

- アルコールの影響には個人差があります。血中アルコール濃度は、年齢・体重・性別・体調・食物の摂取量・体内の薬品にも左右します。アルコール量はドリンクの種類によっても異なります。アルコール分量の確認は、飲む前にしておきましょう。1杯分のお酒としては、80プルーフの蒸留酒であれば 1.5 oz. （43ml）、普通のビールは 12 oz. （340ml）、ワインは 5 oz. （142ml）です。

- 成人は、1時間に1杯を目安です。アルコールの体内分解時間は、平均体重で1杯に約1時間です。1杯以上飲んでいれば、おそらく法定基準の血中アルコール濃度を超えています。

- ただし1時間に1杯の目安にも個人差があります。アルコール濃度は小柄な人の方が高まりやすく、さらに身体機能の違いから、同時間内に男女が同量を摂取したとき、血中アルコールの値は女性の方が高くなります。

- 飲んでしまったら、正常に戻るまでは時間を経過するしかありません。コーヒーやカフェインを摂取しても、冷たいシャワーを浴びてもアルコール度は下がりません。

未成年の飲酒および飲酒運転の処罰については、第 4 章を参照してください。

薬物と運転

薬物の影響下での運転は危険かつ違法です。アルコールだけでなく、違法薬物ももとより処方薬や市販薬も運転能力を損ねる場合があります。死亡事故の 20％はアルコール以外の薬物が原因とされています。薬物とアルコールの併用はさらに副作用を悪化させ、事故の危険を高めます。

薬物は脳機能に影響を及ぼし、安全運転を妨げます。例えばマリファナは反射神経を鈍化させ、タイミングと距離の判断力や運動機能を低下させます。コカインやメタンフェタミンは無謀・乱暴運転となり、鎮静剤は運転中にめまいや眠気を生じさせることがあります。オピオイドは眠気をさそい反射神経を鈍らせます。睡眠薬・セリブレフィニール・鼻づまり薬などの処方薬や市販薬もそれぞれ運転能力を低下させる影響があります。運転する前に、薬の副作用の注意事項を読んでください。薬の副作用でわからないことがあるときには、運転する前に医師や薬剤師に相談してください。要注意：薬の注意書きに「Don’t operate heavy machinery（機械類の操作はしないでください）」とあるとき、車の運転も機械類の操作です！

あなたと家族の薬物依存に関する悩みは PA Get Help Now のヘルプライン 1-800-662-HELP（4357）にご相談ください。薬物治療に関する相談には 24/7 サポート体制で対応するフリーダイヤルです。

ご存知でしたか？

- NHTSA 2013-2014 交通調査によれば、運転中に悪影響とされるアルコールまたは薬物のうち少なくとも１種類が対象運転者の 4 分の 1 の体内に検出されています。

- 死亡交通事故の加害者のうち、43％の体内に薬物が検出されており、37％の体内にアルコールが検出されています。

- 処方薬も運転能力に影響を及ぼします。新たな薬を飲むときは、副作用について医師に質問するなどしてよく理解しておいてください。
この章では、ペンシルベニア州の運転初心者が知っておくべき衝突事故の原因と分類から紹介します。ここでは以下の安全運転項目について説明します。

- スペース確保
- スピード管理
- 交差点でゆずるとき
- カーブの走行
- 進路変更、合流、追越
- 高速道路やインターチェンジの走行

ほとんどの事故は運転エラーです。車の操作や道路の規則が理解できていなかったり、標識や信号機、路面標示、他車の動きを見逃す、判断を誤るなどが原因となっています。衝突事故につながりやすいのは、運転歴 5 年以下の初心者エラーです。

以下はペンシルベニアにおける 16〜17 歳運転の 2017 年事故原因トップ 10 です。

- 状況判断を誤ったスピードの出しすぎ
- 停止後の前方不注意
- 不適切な右左折
- 不適切な運転操作
- 経験不足
- 交差点でゆずるとき
- スピードの出しすぎ
- カーブの失敗
- ならか運転
- 急減速、急停止

ペンシルベニアの初心運転者 16〜17 歳の衝突事故は、以下に大別できます。

1) 静止物への衝突事故 2) 横道、私道、入口ランプ、交差点などでの衝突事故 3) 追突事故 4) 正面衝突

全衝突事故の 92%、死亡事故の 93%は、上記の 4 原因のいずれかに関連しています。

この章の内容をよく学び、安全運転を実践して衝突を回避してください。

### スペースの確保

- 近くの車の運動ミスにうまく対応するためには時間が必要です。
  - その時間を稼ぎには、周囲の車との車間距離をとることが唯一の手段です。
- 右図のように車の周囲には 6 つの確保スペースがあり、その全てをうまく管理できていなければなりません。
- 車の全周囲に十分な間隔をとることが理想です。

<table>
<thead>
<tr>
<th>進行方向</th>
<th>4</th>
<th>2</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>6</td>
<td></td>
<td>1</td>
</tr>
<tr>
<td>5</td>
<td></td>
<td>3</td>
</tr>
</tbody>
</table>

前方の車間距離をとる（4 秒ルール）

- 安全な車間距離とは？上図で 1 のスペースが 4 秒間であるならば、高速道路や危険な道路を走行しても、前方車の急停止やブレーキをかけられる限りです。
- 前車に近づきすぎると、前車の急停止・急減速したときに衝突を回避できません。
第3章 車の運転

PA運転マニュアル

- 車間距離をあけておけば、前方で発生したトラブルにもあわてず急ブレーキをかけることなく対応できるため、後ろからの追突を回避できます。
- 車間距離の判断は、前車の後バンパーが目安になります。前車バンパーが電信柱などの目印を通過したら、自分の車が同じ地点に到達するまで何秒かかるかを数えます。4秒以内で到達したら、近づすぎます。

前方のスペースは広めに必要となる場合があります。
以下のときは車間距離を余分に取るようにします。

- 路面が濡れて滑りやすいときや、路面が舗装されていないとき。タイヤの摩擦がききにくいため、停止に長い距離を要します。
- 後続車に追い越されようとするとき。前に十分なスペースがないと、追い越した車が入れなくなる。
- 前車に後ろが見えないとき。トラック、バス、バン、キャンピングカーやトレーラーを牽引した車は、後ろのあなたの車に気づかずに急減速することがあります。
- 直前に大型車があり、前方の視界がふさがれているとき。視界が確保できるまで後ろにさがってください。
- 重量貨物やトレーラーを牽引する車両の後ろを走行するとき。重量があるときはブレーキがききにくくなっています。
- 低速車や自転車に接近するとき。
- スクールバス、タクシー、公共・民間バス、危険物輸送トラックの後ろを走行するとき。こうした車両は踏切での停止を義務付けられているほか、思わぬ停止をすることがあります。
- 下り坂を走行するとき。特にスピードが出ているときはブレーキがききにくくなっています。
- 上り坂で停止するとき。前の車が前進するときに、後ろに下がる可能性があります。

側面スペースの確保

図の2と3のスペースをとってあれば、他車が急に車線に入ってきても対応できます。いざという時の逃げ場です。

このときのポイントは：
- 複数車線の道路では、隣の車と並んで走行しないようにします。なぜならその車に視界をさえぎられ、逃げ場をふさがれています。さらにあなたの車はその車の死角を走行しています。
- 車の側面のスペースは、対向車との間を広くとるようにします。
- 高速道路に合流くる車にそなえて、安全と判断できるタイミングで方向指示器を出し、内側車線に移動しておきます。
- 路上駐車中の車との距離も確保してください。急にドアが開いたり、車の間から人が出てきた、車が急に発進することがあります。
- 逃げ場を確保するためには横のスペースが必要です。足りない場合には、前の車との間の距離を余分に取るようにします。

通常は車線の中央を走行します。ただし両側に危険があって、対応が迫られる場合もあります。例えば右図のように、右側に路上駐車があり、左側が対向車線の道路です。このような場合には、対向車の流れと路上駐車の中間を減速しながら走行るようにします。
第3章 – 車の運転

後方スペースの確保
図の6のスペースは、後続車が確保するべきスペースですが、前走車も一律の速度を保ち、右左折の際に指示器を出すことにより安全を保つことができます。後続車が近づきすぎるとときには、あえて右車線に移動します。右車線がないときは、前方スペースが空きまで待ち、ブレーキを軽く踏んでやや減速し、後続車追い越しするように合図します。減速・停止するときは、あらかじめ側面に逃げ場があることを確認しておきます。

進行方向

他の車から見えるようにする
他の車に見えない死角スペースを走行しないように気を付けます。死角とは、運転者が振り向かなければ見えない位置のことです。以下に気を付けながら安全を心がけます。

- その他の車を斜め後方、右で左でなく
走行し続けないでください。その車には左も右も死角です。加速して死角の前出るか、減速して後ろに出してください。

- 追い起こすときは、前車の死角を早めに通過することにし
てください。死角にどまっている間は、両車ともに危険があります。

前方の確認

- イラスト車の車線はもうすぐなくなります。今のように車線変更をしておかないと、きりきりになって急に変更を迫られるか、または車線変更ができなくなり、次の切れ目まで停止して、待つことになります。

- 進行方向

前方トラブルを早めに察知することが、危険回避につながります。ただし単に道路の真ん中を単に眺めていればいいというものではありません。道路を常に巡視してください。
第3章 – 車の運転

PA運転マニュアル

前方巡視で注意するものは：

- 前方に見える、遅い車や横断歩行者。
- 前方で減速している、または右左折のタイミングを待つなどして停止している車。
- 前方の状況を警告する標識。
- 行き先に関する前方案内の標識。

左右の確認

交差点、私道、ショッピングセンター出入口、高速道路出入口ランプなど、交通の流れが変わる地点では左右をよく確認してください。

交差点に入ると「左・右・左」を確認します。

- まず左を確認します。左からの接近車が一番近くを走ります。
- 次に右を確認します。
- もう一度左を見てから前進します。最初に見えなかった車が接近してきていませんか。

渡り始めたら、もう一度左と右を確認します。対向車側に一時停止の標識や信号機があっても、相手車が止まってくれるとは限りません。渡ろうとする道の車の流れが建物や植木、路上駐車などで見えにくい時には、見えるところまで少し前進して確認します。

後方の確認

後ろの車もなるべく頻繁に確認します。特に車線変更やバックのときに後方確認が重要です。

以下はすべて車線変更と見なします：

- 同じ道路内で別の車線に変更するとき
- 入口ランプから高速道路に合流するとき
- 路上駐車場所・路肩から道路に入るとき

車線変更の前に方向指示器を出してください。後ろから追い越す車がないことをバックミラーとサイドミラーで確認します。ミラーもセンサーに頼らずに、左右を振り返りながら死角に車がないことを自分の目で確かめます。このチェックは素早く行います。前方道路からは1秒以上目を離さないこと。3車線以上の道路では、別の車も同じ車線に入ろうとしていないか、全部の車線を確認してから車線を変更します。

バックする：

バックするときは、必ず後ろを確認します。車に乗り込む前に確認しましょう。運転席からは見えにくい子供や置物がありませんか。バックする前に、振り返って後ろの窓から確認します。ミラーとセンサーだけに頼らないように。

スピードの調整

安全速度とは？どれくらいだと速すぎる？単純な答えはありません。なぜなら常にどこでも確実に安全な速度というものは存在しないからです。安全速度は制限速度のほか、路面の状態、視界のよしあし、交通の状況で判断します。速度を変えるときには、他の車にその意図を知らせるようにしてください。

制限速度の標識

標識の制限速度は、路面・交通・天候が良好な状況において安全とされる最高速度です。

青少年の交通事故

16〜17歳の運転による衝突事故の原因の第1位は、状況に見合わないスピードの出しすぎです。
第3章 - 車の運転

ペンシルベニア州の最大制限速度は70マイル（112Km）です。
州間幹線道路の最大制限速度は各インターチェンジを過ぎたところに設置してあります。
その他の道路では、約1/4マイル（800m）間隔で設置されています。
スクールゾーンで黄ランプ点滅時または標識に表示されている時間帯の制限速度は時速15マイルです。スクールゾーンの制限速度は他の区域よりも低速です。
路面が濡れたり滑りやすいとき、周囲や前方が見えにくいときなど、運転がしにくくなる状況があるときは制限速度よりも低速で走行してください。制限速度内で走行していても、状況によってはスピード違反の告知書を交付される場合があります。

エコ運転
安全運転は、経済的ほか大气汚染の低減にも役立ちます。車にはガソリン、メインテナンス、タイヤなどの維持費がかかります。運転者として、また車のオーナーとしてこうした経費を節約する方法はいくつかあります。

日頃の運転で気を付けること
1. 減速する。時速が60マイル以上になると、燃料消費は5マイルごとに5%増加します。
2. アクセルを踏みすぎない。急発進と急停車は、燃料消費が40%増加するのに対して所要時間は4%しか短縮しません。
3. 運転は気温の低いときに。日中の高温時は運転を避けてください。パワーも燃費も低温の方が効率的です。
4. エアコンの活用。エアコンは時速40マイル以上の時に使用してください。
5. 暖機運転する。厳寒時でも30秒でエンジンは温まります。
6. クルーズコントロールを使う。平坦な高速道路では、クルーズコントロールで燃料を7%節約できます。
7. アクセル操作をスムーズにし、トランスミッション切り換えを最適化し、エアコンのエンジン負担を低減します。
8. 安全な車間距離。他車との安全な距離を心がけてください。車間距離をとることで、車の摩耗も防げます。
9. エコの活用。車とエコ機能があるときは、活用しましょう。アクセル操作をスムーズにし、トランスミッション切り換えを最適化し、エアコンのエンジン負担を低減します。
10. エアコンの活用。車とエコ機能があるときは、活用しましょう。アクセル操作をスムーズにし、トランスミッション切り換えを最適化し、エアコンのエンジン負担を低減します。
11. 車を使わない。車を使わなければ、コスト節約につながります。車を出さずに公共交通、自転車や徒歩、相乗りも検討してみてください。雑用の回数やルートを整理できれば、時間とガソリンの節約につながります。
12. 情報を得る。情報は様々な方法で入手できます。知識に根差した安全運転を心がけましょう。

夜間の運転
衝突事故は主に夜間に発生します。最も危険な時間帯は夜明け前の暗がりと、道が真っ暗な時です。夜間の事故の死亡率は昼間の3〜4倍にもなります。夜の運転は昼間よりも危険です。

危険な理由としては、以下が挙げられます。

- 夜は周囲が見えにくいか。
- 対向車のライトで一時的に目がくらむから。
- 夜間は疲れた運転者や飲酒運転が多いから。

-40-
明るさが不十分なときには、距離の判断を誤りやすく、色を見分けにくくなり、周辺視力も低下します。前方に突然歩行者・自転車・動物などが見えたとき、とっさの安全操作は車の責任ですが、夜間はよく見えないため対応しにくいことがあります。夜は標識や道路標示よりも、歩行者が見えにくくなっています。

夜間に限らずヘッドライト使用は法律で義務付けられています。ヘッドライトを付けることで自分の視界が向上するだけでなく、車が相手からも見やすくなります。ヘッドライトは少なくとも週に一度は拭き掃除してください。ライト拭きは給油時がお勧めです。汚れていると、光度が半減します。

ヘッドライト使用が法律で義務付けられているのは：
- 曇天などで暗く周囲が見えにくいとき、交通量が多く他車から自分の車が見えにくくなっているとき。
- 雨・雪・霧・砂・スモッグなど悪天状態のとき。悪天時は常時ロービームにします。ハイビームでは見えにくくなります。
- 前方 1,000 フィート（300m）の歩行者や路上の車両が見えないとき。
- 日没後、日出まで。
- 工事中の区域。
- 雨天などで間欠・連続ワイパーを使用するとき。

注：デイライト（DRL）のみでは不十分です。テールライトも点灯が必要です。

ヘッドライトや夜間運転に関する追加情報：
- 夜間、対向車が見えたらロービームに切り替えてください。ハイビームは対向車の目をくらませて危険です。ペンシルベニア州法では対向車から 500 フィート（150m）、先行車から 300 フィート（91m）の距離に接近したらロービームに切り替えることが義務付けられています。
- 対向車がハイビームを切り替えないときは、ハイビームを数回点滅して合図します。それでも対向車がまぶしいときは、前方路上の右侧に視線を移します。これにより対向車が通過するまでの間、目がすんで道路から外れることなく進行できるようになります。
- まぶしすぎる対向車にハイビームで仕返しするのはやめましょう。両方の目がぐるむだけです。
- バックミラーの後続車のヘッドライトがまぶしいときは、バックミラーを夜間設定に切り換えます。
- 走行速度はヘッドライトが届く距離以内で危険を回避できるぐらいの速度でなければなりません。ロービームの到達距離は前方 250 フィート（76m）です。時速 55 マイルで止まるまでの距離は、乾いた舗装道路でも 250 フィートです。暗がりでは、ヘッドライトの照射距離を超えないように、夜間は時速 45 マイルで走行してください。

道路の条件
プレーキのかわり方は、道路の状況によって変わってきます。悪条件下でのコントロールを失わないよう、減速してください。路面が滑るときのスピード出しすぎは、特にカーブで危険です。滑りやすい路面では、曲がるときは大きく減速してください。

- 湿れた路面
どんな路面でも濡れると滑りやすくなりますが、特に SLIPPERY WHEN WET（すべりやすい）の警戒標識のある地点では注意してください。雨が降り始めから 10 分後は滑りやすくなっています。雨でアスファルト油が表面に浮いてきています。
特に気温の高いときには、油が表面に上がりやすくなり危険です。冬は木陰や建物の陰になっている路面に注意してください。日陰は凍結しやすく、乾きにくくなっています。

ハイドロプレーニング現象
濡れた路面でスピードを出しすぎるとハイドロプレーニング現象が生じます。ハイドロプレーニング現象とは、タイヤが路面をつかめなくなり、水面をスキーのように滑り出す現象です。濡れた路面では、速度が増すほどタイヤの排水機能が低下します。この現象は時速 35 マイルのとき、0.1 インチ（2.5mm）の水深でも発生します。すり減ったタイヤは特に危険です。ハイドロプレーニング現象は、低速走行で回避することができる。

ハイドロプレーニング現象が起きてしまったら：
1. ハンドルをしっかりと両手でつかみます。
2. アクセルからゆっくり足をはずし、自然減速します。ブレーキを踏んだり、ハンドルを切ると車が横滑ります。
   車が減速するにつれてタイヤの接地面積が増し、再び路面をつかめるようになります。
3. 道路をはみ出さないようにゆっくりと、ハンドルは必要最低限に回します。
4. ブレーキは必要時のみ、軽く踏んでください。（急ブレーキ時における従来型ブレーキとアンチロック・ブレーキの違いについて、本章後方の“急ブレーキをかけるとき”の項を参照してください。）

雪と凍結
雪の中や凍結道路では、あらゆる危険に対応しなければなりません。タイヤの摩擦力が弱まるため、ハンドルやブレーキがよく効かなくなられます。特に雪が積もる稜の 32°（摂氏 0°）の氷点では、氷に水の膜ができる冷結路面よりもさらに滑りやすくなります。
温度が低下して乾いた路面に薄い氷膜が生じるブラックアイス現象に注意してください。路面が塗られているように見えながら、他車のタイヤが水しぶきをあげていないときは、ブラックアイスの危険があります。
2006 年 7 月 10 日施行の法律により、車から落ちた氷雪が原因で負傷事故や死亡事故が生じた場合には、巨額の罰金が科せられることになっています。車上で落ちた雪や氷が他車や歩行者にあたって大怪我や死亡事故になった場合は、その車の運転者がその都度 200〜$1,000 の罰金対象となります。PennDOT では車上の氷雪は、発車前に除去するよう指導しています。

滑りやすい路面では：
- 時速を 5〜10 マイル落とし、前方の車間距離を 5〜6 秒とるようにします。
- 雪や凍結の路面ではさらに減速してください。压雪道路は速度を半減し、凍結道路は徐行します。前の車との車間距離は普段の 10 倍あけるようにします。
- ブレーキは軽めに、滑り出した足を離し、滑りが止まったら再び軽くかけます。（急ブレーキ時における従来型ブレーキとアンチロック・ブレーキについては、本章後方の“急ブレーキをかけるとき”の項を参照してください。）
- 滑りやすい路面でクルーズコントロールは使わないでください。雪・氷・みぞれ・雨はタイヤのスリップの原因となります。スリップしたときは、タイヤの回転力を弱めながら復活を試みます。クルーズコントロール中は、タイヤの回転力を保持するため、スリップを続出させることになります。
- 滑って衝突しないように、冬の木陰や橋の下など凍結しやすい滑りやすい場所では、他車に接近しないよう速度を加減してください。滑って他車にぶつからないようにします。
- 凍結時の交差点では、青信号に変わって前の車が動きだすまで、アクセルを踏まずに対峙させます。停止時のブレーキや始動時のアクセルの作動回数を減らします。上り坂では減速して停止せずに登れるよう、先行車との車間距離を大きくあけておきます。下り坂にかかる方にシフトを低ギアにしておくとコントロールしやすくなります。
視界の状況
夜間のほかに、霧や雪の中でも視界が悪く視程が落ちて、状況に対応しにくくなります。

濃霧の運転は最も危険です。先が見えず、他車からも見えないため衝突しやすくなります。
濃霧で視界が悪いときには、出かけるのをやめてください。運転中に濃霧に遭遇したら、駐車場など車両交通のない安全なところに停止して霧が晴れるのを待ってください。駐車中はハザードランプをつけて他車から見えやすくするほか、シートベルトを着けたままにしてください。

<table>
<thead>
<tr>
<th>濃霧時の運転では、以下の2点に気を付けてください。</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>1. 見える距離内でいつでも止まれるよう、速度を落とします。濃霧時は走行速度を外景から把握しにくいため、スピードの出しすぎの自覚がなくなります。速度計で確認するようにしてください。</td>
</tr>
<tr>
<td>2. ヘッドライトはロービームに。フOGランプ/前部霧灯もあれば点灯。他車から見えやすくするためです。昼も夜も同様です。ハイビームは使わないでください。高めの光は霧に反射して目をくらませるため、かえって前方が見えにくくなります。</td>
</tr>
</tbody>
</table>

降雪時も視界が悪くなります。

<table>
<thead>
<tr>
<th>雪の道では、以下の6点に気を付けてください。</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>1. 走行開始の前に全ての窓ガラス、ボンネット上、トランク上をきれいに除雪しておきます。除雪を怠ると、車上の雪がフロントガラスに飛び散って前方の視界をふさぎ、後続車の視界も遮ります。</td>
</tr>
<tr>
<td>2. ヘッドライト、テールライト、方向指示ライトの氷雪や汚れを除去しておきます。他車から車が見えやすくなるほか、前方が見えやすくなります。ヘッドライトの汚れは、光度を50％以上弱めます。</td>
</tr>
<tr>
<td>3. 走行開始前にエンジンを温めておきます。デフロスターがフロントガラスを温め、取れにくかった霜が解け落ち着ます。</td>
</tr>
<tr>
<td>4. ワイパーでフロントガラスをよくし、ウォッシャー液は凍結防止用のものを充填しておきます。</td>
</tr>
<tr>
<td>5. フロントガラスの霧はデフロスターの風でクリア。最近の車では、デフロスターはエアコン機能の一部です。デフロスターの使い方については車のマニュアルを参照してください。</td>
</tr>
<tr>
<td>6. 日中もロービームを点灯します。他車から見えやすくなります。</td>
</tr>
</tbody>
</table>

ヘッドライトとワイパーに関する法律
2007年1月28日施行の法律により、悪天候における間欠・連続ワイパー使用中はヘッドライトの使用が義務付けられています。デイライト（DRL）のみでは不十分です。テールライトも点灯が必要です。違反の罰金は$25ですが、他の違反と併せて罰金総額が$100近くなる場合もあります。
交通の流れ

- 他車の流れよりも速すぎたり遅すぎたりすると、事故が起きやすくなります。制限速度内で、交通の流れに調整してください。

- 周囲の交通に応じて車間距離をとり、スペースを維持してください。混雑する高速道路では、他車の死角に入ったり、非常時の逃げ場を確保できないと走行し続ける状況もあります。こんな時には時速を2〜3マイル落とせば他車が動いてくれて、周りがあいにくくなります。

- 前方に2つ以上の危険が同時に判明できる時も、交通の流れに速度を合わせます。例えば右側に自転車に見えたら、通常は左寄りに間をあけますが、同時に対向車が接近する時には、右寄りに間をあける方が安全です。こんな時には1つずつ対処して危険を取り除きます。まず速度を落として対向車を通すのを待つと、次に左寄りに自転車との間をとりながら追い越します。

- 事故現場や警察の取り締まり現場、レッカー車が故障車を牽引中の現場では、1線以上離れなければなりません。車線を変更できないときは、安全な速度に減速してください。

危険は1つずつ解消

低速車がいるとき

道路の合流地点で交通の流れに遅れる車は、加速困難の傾向があるため注意してください。大型トラックや農耕機、馬車などがその例です。長く急な上り坂などでは、低速走行トラックが点滅ランプで警告することがあります。

他の車への合図

他車が予測していなかった車の動きが事故の原因となることがよくあります。事故を避けるためには、他車への合図が大切です。

自分の車の存在を知らせ、意図する動きを合図するには以下の方法があります。

- 減速または停止するときは合図する。減速や停止時にはブレーキランプが他車への合図となります。他車が予期していない箇所で止まるときは、軽く素早く3〜4回ブレーキを踏んでください。自動車専用道路で時速40マイル以下の走行をするときは、ハザードランプ（前後）を付けて後続車に警告してください。
第3章 – 車の運転

- 車線変更を合図する。合図で他車に自分の意図を知らせることはできますが、単に合図すればいつでも変更できるわけではありません。ペンシルベニア州の法律では、時速35マイル以下で走行中のときは、100フィート（30m）手前で進路変更を合図することが義務付けられています。時速35マイル以上の場合には、少なくとも300フィート（90m）手前で合図してください。方向指示器が壊れているときは、右図に示す手信号で合図します。

- 非常時に合図する。車が故障したときは、車両交通のない場所まで出てください。方向指示器を出して、道路の外側に出てからハザードランプをつけて他車に合図します。他車の通らない、道路から離れたところに、かつ他車に見えやすい所に停止します。故障中であることが他車にわかるよう、フードを開けておきます。

- ホーンの使い方ホーンは、他者を注意を引くときに鳴らします。他車や歩行者が気づいていないとき、子供が道にびび出そうなとき、他車が衝突しそうになるときに鳴らしてください。車を制御できなくなったときにも、ホーンを鳴らして他車に警告してください。

進路変更、合流、追い越し

進路変更するときは、多くの要素を考慮しなければなりません。一番重要なのは速度です。進路変更時の速度は、車の安全操縦を維持でき、車線をはみ出さずに進路変更でき、しかも不意の状態に応対できる速度でなければなりません。道を曲がるときは、前方の歩行者や交通の流れを確認してください。標識のある箇所も多くあります。車線の進路変更を規制する標識もあります。

安全な曲がり方

1. 曲がる3〜4秒前に方向指示器を出します。
2. 正しい車線に入ります。
3. 速度を調節します。
4. 正しい車線から進路変更を行います。

青少年の交通事故

若年運転者は、道を曲がるときに経験不足で失敗して事故になります。2017年ペンシルベニア州では、459件の事故が17歳運転者の道を曲がるときに起きています。

右左折

2車線二方向交通の道路での左折は、なるべく中央線に近いところから行います。右折は、道のできるだけ右寄りから行います。

複数車線道路での左折は、左側の車線から行います。右折は右の車線から行います。

行先方向の車線が複数ある高速道路に合流するときは、一番近い車線に入ります。左折なら左側、右折なら右側の車線に入ります。

別車線に移るときは、右左折を安全に終えてから車線を変更します。

曲がるときの中央車線

二方向道路で、中間の車線が外側実線と内側破線の2本線で囲まれているときは、その車線は左折用のみです。（第2章の図を参照してください。）左折車は必ずこの車線から左折を開始します。横道から左折で進路に入り、交通の途切れまで合流を待つものこの車線です。

上記の状況には多くの危険があります。

- 左折で私道や横道に入ることは、この左折用中央車線を走行する条件を、私道・横道からの中間車線に左折している車の両方に注意してください。
第3章 - 車の運転

- 私道や横道から左折用中央車線に左折するときは、左から流れてくる直進車と、その中間車線で左折を待つ両方向の車の動きを必ず確認してください。

### 中央車線を使って左折するときは

1. 左折車線に入る3〜4秒前に方向指示器を出します。

2. 左折用の中央車線には、早く入りすぎないでください。中央車線を前進する間は、正面衝突の危険が高くなっています。

3. 中央車線に向かうときは、その車線に完全に入り切ってください。車両の後部が前の車線に残ると、交通妨害となります。

4. 安全な場所を見て曲がります。同じ車線に対向車が接近していないか、直進車の流れに十分な切れ目があるか、を確認してください。横道から中央車線に入ると、直進車の流れを確認して、中間車線から曲がろうとする車に注意してください。

### Uターン

この動きは、他の車をさえぎらない場合に限って許されています。Uターンする場所は、全方向の接近車が少なくとも500フィート（152m）遠方にあり、かつあなたの車が接近車の視界に入ることを確認してください。Uターン禁止の標識のある場所でも禁止されています。

### 赤信号での右折

この標識のない箇所では、赤信号でも車の流れが途切れた右折できます。右折する前に必ず停止して歩行者や対向車に道をゆずってください。NO TURN ON RED（赤信号での右折禁止）の標識がないときは、一旦停止して安全を確認できれば、赤信号でも一方通行から別の一方通行への左折ができます。通常この標識は、交差点の手前側と道路反対側の信号機と共に設置されています。

### 道を横切って渡るとき

道を横切るときは、交通の十分な切れ目を必ず確認してください。安全な切れ目のスペースは、道路の状態、天候、対向車の流れによって変わります。

### 注意:

- 交差点の途中で止まるのは危険です。中央分離帯に専用の中央車線が設けており、車両が完全に入るだけスペースがあれば停止できます。

- 道路を横切るとき、曲がるときは、前方が車や歩行者でふさがっていないことを確認してください。車が走行する交差点の途中で停止する事態にならないようにしてください。

- 行く先に車の停滞があるときは、青信号でも交差点には入れません。交差点に入る前に、渡り切れるだけのスペースがあることを確認しておきましょう。

- 方向指示器を出している対向車の前を横切らないでください。その車は、あなたの後ろにある横道に入ろうとしているかもしれません。

- 坂やカーブで先が見えにくい道を横切るときは、特に注意してください。

- 対向車が動き始めるまで待ってから、発進します。

- 坂やカーブで先が見えにくい道を横切るときは、特に注意してください。
第 3 章 – 車の運転

合流するとき

合流するときにも運転判断が求められます。車線変更するときも、入口ランプから高速道路に進入するときにも、十分なスペースが必要です。

高速道路入口には、加速車線が通常設けられています。加速車線は主要車線の横にあり、加速して主要車線に合流できるだけの距離が設けられています。主要車線を走行する他車からも、合流しようとしている車が見えます。加速車線での追い越しは禁止されています。

加速車線からは、3 ステップで合流します。
1. 方向指示器を出して、車の切れ目ができるのを待ちます。
2. 車の流れに乗れる速度まで加速します。
3. 車の切れ目に入って合流します。

追い越しするとき

追い越し運転の心得は重要です。正しく追い越せなければ重大な事故につながります。以下にそのガイドラインを示します。

追い越しのスペースが前方に十分あっても:
1. 標識や路面標示をよく見て、その地点で追い越しができるのか、禁じられていないかを確認してください。道路の状況判断も必要です。（第 2 章の例を参照してください。）
2. 追い越し先の前方に危険がないか、追い越し中に横道から入ろうとする車がないかどうかを確認します。
3. あなたの車を追い越そうとする車の死角にいっているかどうか、手早くサイドミラーとバックミラーで確認します。
4. 追い越しの前に、追越車線があいていることを確認し、方向指示器を出して車線変更する意図を合図します。意図が他車に伝わるよう、早めに合図を出しておきます。
5. 追い越しを終えたら、もとの車線に戻る合図を方向指示器で出します。
6. 車線に戻す前に、バックミラーに後続車のヘッドライトが見えていることを確認します。

追い越しは、車や歩行者が道に入り得ような箇所には特に気を付けます。交差点やショッピングセンターの出入口などが必要です。道に出ても左側車線に入ろうとする車は、追越し車があるとは思わないで、あなたの車の方向を見ていないことがあります。

2 車線道路では

2 車線道路での追い越しは、対向車線を使わなければならなため、正面衝突を回避する適切な判断が必要となります。時速 45 マイルで安全に追い越しするには、4 分の 1 マイル（402m）の交通の切れ目が必要です。

追い越しを終えたら、もとの車線に戻る合図を方向指示器で出します。

青少年の交通事故

反対車線の走行は、16〜17 歳運転者にはありがちな事故原因です。2013〜2017 年には 384 件の事故で 15 人が死亡しています。

前車よりも時速 10 マイル加速してください、さらにその前にも車がいるとき、複数車の追い越しは可能ですが、一番前に入れるスペースがあるかどうかは、追い越しにかかる前に確認してください。

夜間の追い越しは前方が見えにくく、距離判断を誤りやすいため大変危険です。接近車が見えないとき、そのヘッドライトだけで距離を判断しようとすると、実際よりも遠くに見えることがよくあります。
第3章 - 車の運転

右からの追い越し
右からの追い越しは、一定条件を満たせば可能です。

- 前車が左折を合図しているときは、道路わきまたは路肩から追い越しします。
- 各方向に2車線以上の線が引かれてあるとき。

以下の場合は追い越し禁止です。

- 交通規制で許されていない限り、交差点や踏切から100フィート（30m）以内の地点。
- 橋、高架、トンネルから100フィート（30m）以内の地点。
- カーブや坂道の峠で、対向車の接近が見えない地点。
- 複数車線のある高速道路の路肩にあるとき。

交差点でゆずるとき
法律上、誰にも交差点での先行権は与えられていません。法律では、誰が先に道をゆずるのかのみが規定されています。先行権をゆずるべき車がゆずらなかったときには、衝突を避けるために他の車が道をゆずることが義務付けられています。先行権を主張することはできません。先行権の取り合いは事故につながります。

特に標識や信号機、警察による交通整理のない場所では、

1. 車は歩行者に先行権をゆずります。a）横断歩道の有無に関わらず、信号機のない交差点を歩行者が横断するとき。b）交差路の有無に関わらず、横断歩道を渡るとき。c）私道や裏道を横断する歩行者にゆずるとき。d）車が曲がろうとする角を、信号に従って横断しているときは。白い杖や盲導犬を連れた視力障害者には、必ず車が道をゆずらなければなりません。

2. 左折車は対向車に道をゆずります。

3. ラウンドアバウトへの進入車は、中を循環中の車にゆずります。

4. 同じ交差点に別方向から2台同時に到達したときは、左の車が右の車にゆずります。

5. 裏道や私道、駐車場から公共道路に出るときは、道路走行中の交通が切れるまで待ちます。

6. ストップサイン標識が4方向にある地点では、全車が停止します。最初に交差点に到達した車が最初に通過します。交差点に2台同時に到達したら、左の車が右の車にゆずります。

対向車が同時に到達したときは、相手車が右左折しないかを双方が慎重に確認しながら同時通過します。

交差点への接近
交差点の手前では、標識や路面標示を見てどの車線にどの動きが認められているのかを確認します。交差点でうまく直進・右左折できるよう、余裕をもって正しい車線に入っておいてください。
車線指示の標識と路面標示
多くの道路に特定の車線において車の進行を特定する標識や路面標示が設置されています。直進しようとしているときに、右左折のみの車線に入ってしまったら、指示通りに右左折してください。右左折しようとしているときに、直進のみの車線に入ってしまったら、そのまま直進してください。

右図の交差点の標識と路面標示では、右車線は右折のみ、左車線では左折もしくは直進のいずれかが可能です。

左図の標識と路面標示では、左折車線が2本あります。そのいずれかからも左折できますが、となりの車も同時に左折する可能性があります。左折中に車線を変えようすると、となりの左折中の車に衝突します。となりの左折車が自分の車線に入ってこないかも注意してください。この標識と路面標示では、一番右の車線は必ず右折することになります。一番左の車線は左折のみです。中央車線では左折または直進が可能です。

信号機とストップサイン
交差点では赤黄青の交通信号機に正しく応じ、2方向または4方向ストップサインを順守して安全を確保してください。

一方通行・逆方向・進入禁止の標識
市街地の道路が一方通行になっている都市は多くあります。交差点に一方通行の標識を見つけたら、その道の交通方向を判断してください。道の両側に路上駐車する車が同方向のときも、その道は一方通行です。

分離道路との交差路にはONE WAY（一方通行）、WRONG WAY（逆方向）、DO NOT ENTER（進入禁止）の標識が連立しています。分離道路とは、一方通行が2本ある道路です。ほとんどの場合、両方向の中間には何かの分離帯が置かれています。細長いコンクリート分離壁であったり、広いセメント地面や草地であったりします。通常、交差点の手前にDIVIDED HIGHWAY（分離道路）の標識があります。

分離道路の右折は、通常の交差点における右折と同様です。左からの接近車との十分な距離を確認してから右折してください。分離道路は左折が特に危険です。分離道路になっていることに気づかずに、うっかり分離帯の手前で左折してしまうと左からの車に正面衝突します。DO NOT ENTERとWRONG WAY標識に注意してください。

分離道路で左折するときは、左から来る車の切れ目で1本目の道路を渡り、分離帯の場所を通過してから、2本目の道路を右から来る車の切れ目を待って左折します。

交差点の安全通過
- ストップサインが2方向に設置された交差路は - 時速30ミルの交差路を横切るためには両方向の交通に約6秒、すなわち1市街ブロックの長さの切れ目が必要です。ストップサイン前で左を見て、右の切れ目を待つ。もう一度左を見てから前進します。
- 右折は - 左、前方、右を見た後、左からの接近車をもう一度確認します。左からの接近車があるときには、満の安全間隔をとってください。
- 左折は - 直進する車の前の左を左折できるスペースが十分にあることを確認し、左右の車が停止中であることを見確認します。交通の少ない道から多い道に曲がるときは、右からの接近車とは、満秒の間隔をとってください。
第3章 – 車の運転

左折では、左折してくる対向車に衝突しないように注意します。右図のように、交差点の真ん中にX印があったとします。Xの手前で左折すれば、対向左折車との接触を避けられます。同方向の車線に右折しようとする対向車との接触は、常にセンターラインに最も近い車線に左折すれば回避できます。

重要：安全に左折できるかどうか、通過する全ての車線があいているかどうかが確認できるまで、左折は開始しないでください。

接続道路 - 交通量の多い商業区域には、対向道路を分離壁などで隔離し、交差点の信号機付近にNO LEFT TURN、NO U-TURN、ALL TURNS FROM RIGHT LANE（右左折は右車線から）の標識を併設しています。このような交差点には左折用の接続道路がよくあります。対向車の手前を左折せずに、いったん右側にそれて信号で道を渡り、左折する仕組みです。

ラウンドアバウト - 左回りに流れる環状交差点。交差点の出入りは全て右折です。これにより正面衝突・左折衝突・直角衝突を回避することができます。ラウンドアバウトには、環状交差点と異なる特有の設計と交通規則があります。ここでは、旧式の大型高速環状交差点に代わって、また安全交差点として各地で交通信号機に代わって設置されているラウンドアバウトの使い方について説明します。インターチェンジのランプ終端にラウンドアバウトが設置されている場合もあります。

ラウンドアバウトの入口にはYIELD（ゆずれ）標識が設置されており、この標示は路面にもあります。ラウンドアバウト出口には行き先の標識もよく見られます。

ご存知でしたか？
ラウンドアバウトの衝突事故のほとんどは、入口でゆずらない車が原因です。
環状交差点の使い方

環状交差点の使い方入口と出口
1. ラウンドアバウトに接近したら、横断歩道の歩行者に道をゆずります。
2. ゆずる線の手前まで進み、ラウンドアバウト内を左から接近する車に注意します。循環中の車が優先です。
3. 十分な車の切れ目を見て、ラウンドアバウトに進入します。

ラウンドアバウトの出方:
1. ラウンドアバウトに入ったら、出口まで左回りに進みます。先行権はあなたの車にあります。
2. 出口に近づいたら、右折信号を出します。
3. 横断歩道の歩行者に道をゆずります。
4. ラウンドアバウトを出ます。

注意事項:

緊急車両 - 緊急車両の接近中は、ラウンドアバウトには入らずに、道脇に寄って停止します。
ラウンドアバウト内であれば、すぐ次の出口から出てくる道脇に停止します。ラウンドアバウト内では停止しないでください。

自転車 - ラウンドアバウトでは、自転車には一般車両と歩行者のルールが両方適用します。
一般車両と見なすときには、車と同じ規則に従います。一般車両として通行中の自転車を追い越すことはできません。

歩行者 - ラウンドアバウトの出入りでは、車は歩行者に道を必ずゆずります。歩行者はラウンドアバウトの横断歩道と分離島を使って移動します。
カーブを曲がるとき

カーブを曲がるとき、最も重要な規則は物理の法則です。車両には重量があるため、慣性がかかるです。

カーブでスピードが出していると、車は慣性で直進しようとするため、ハンドルを切っても減速しようとしても、レーンをはみ出す力が働きます。

左折カーブでは道路からはみ出し、右折カーブでは対向車線に入ることになります。

この物理法則は、わずかな速度でも働き、特に雨や凍結などで路面がすべりやすくなっている急カーブでは、大幅に減速するようにしてください。

カーブで車をコントロールできるよう必ず減速してください。

カーブに入る前から減速します。

カーブ手前では黄色ひし形の警戒標識が前方道路の形状を示しています。道路が90°に曲がるときには、黄色の長方形の標識の大きな矢印が曲がる方向を示しています。急カーブ地点には夜間や視界の悪い時にも見やすいように、進行方向を「くの字」で示す標識がカーブごとにあります。カーブの警戒標識については第2章を参照してください。

カーブの安全な曲がり方:

1. 右カーブは車線を中央右寄りに、左カーブは車線の中央を維持します。
2. きついカーブほど、大きく減速します。
3. 対向車に気を付けます。スピードを出しすぎた車があなたの車線に入ってくるかもしれません。
4. ハンドルの切り方の目安として、視線はカーブ前方内側に合わせます。複数カーブがあるときは、各カーブ内側の先を見るようにします。

青少年の交通事故

ペンシルベニア州の16歳の運転事故は、カーブ失敗の単独事故が多発第一位です。2013〜2017年の間に3,291件の事故で20人が死亡しています。
第3章 – 車の運転

高速道路やインターチェンジの走行
高速道路では、交通の流れが速いため、衝突すると大事故になります。
高速道路インターチェンジ付近での車線変更や、渋滞時の思わぬ急減速・急停止が一番危険です。

高速道路に入ると
高速道路入口での最初の運転判断は、間違って出口ランプから進入しないことです。対向車と正面衝突する危険があります。出口ランプには ONE WAY、DO NOT ENTER、WRONG WAY などの警告の標識が連立しています。場所によっては HIGHWAY ENTRANCE （高速道路入口）の標識が設置されていることもあります。正しい方向に進んでいれば、右に白線、左に黄線があります。
入口と出口が近く、その中に短い織り込み車線があるだけの箇所もあります。この織り込み車線は、高速道路を出る車と入る車が共有しています。2 台の車が同じ車間スペースに入ろうとすると、危険です。高速道路に入る車が速くゆずり、出る車が優先となります。高速道路入口には、通常は加速車線が設けられています。

加速車線は主要車線の横にあり、車の流れに乗るための加速に必要な長さのある車線です。

高速道路入口での合流時は、振り向いて車の切れ目を確認し、サイドミラーも確認してください。

高速道路を出るとき
前もって出口車線に入れておきます。出口車線に入ると減速しないようにします。出そびたら、次の出口まで走行します。高速道路では停止・後進はできません。出口直前にあって複数車線を横切らないようにしてください。中央分離帯を横切って方向転換することはできません。これも大変危険な違法行為です。出口ランプには安全速度の警戒標識があります。

高速道路を走行するとき
高速道路の死亡事故の半数はスピードの出しすぎと疲労による道路のはみ出しが原因です。
時速 65 マイルでは、1 秒に 100 フィート（30m）前進します。道路をはみ出すまで 1 秒もかからません。

高速道路で低速車を追い越するのは、1 車線ずつ変更します。車線変更のたびに方向指示器で合図を出し、他車に見えるように時間をかけて変更します。

高速道路の入口で合流しようとする車があるときは、合流しやすいよう車線をゆずる配慮を心がけてください。先行権はあなたの車にありますが、入口で合流する車にゆずることで交通がスムーズに流れるようになります。ただし車線変更は周囲の車間スペースを確認してから行ってください。

高速道路では走行中の催眠現象も危険です。道路前方を長時間見ているうちに車周囲を巡視できなくなります。催眠状態になると前の交通が減速・停止したときに追突しやすくなります。高速道路での死亡事故の約 20％は追突事故です。
その主な原因が運転の不注意と車間距離の不足です。

駐車するとき
縁石のある路上に駐車するときは、縁石から 12 インチ（30cm）以内まで近づいて駐車します。縁石がないときは車両の通行からなるべく離れて駐車します。

車両交通道路上に停車するときは、ハザードランプをつけ、車が通過できるだけのスペースをあけます。
両方向に 500 フィート（152m）先から見える場所を選びます。

必ず進行方向に車を向け駐車します。
車が動き出さないようにしっかり止めてください。
駐車ブレーキをかけ、シフトはオートマチックは P（駐車）に、手動変速は R（バック）または 1 に切り替えおきます。坂で駐車するときは、図のようにタイヤを横に向けておきます。
下り坂で駐車するときは、縁石の有無に関わらず、タイヤが右向きになるようにハンドルを向けます。

坂道の駐車


必ず進行方向に車を向けて駐車します。
車が動き出さないようにしっかり止めてください。
駐車ブレーキをかけ、シフトはオートマチックは P（駐車）に、手動変速は R（バック）または 1 に切り替えおきます。坂で駐車するときは、図のようにタイヤを横に向けておきます。
下り坂で駐車するときは、縁石の有無に関わらず、タイヤが右向きになるようにハンドルを向けます。

坂道の駐車

下り坂の駐車で縁石があるとき

上り坂の駐車で縁石があるとき

上り坂・下り坂で縁石がないとき

-53-
第 3 章 – 車の運転

非常時や警察官の指示を受けない限り、下記の場所には決して一時停止・停車・駐車しないでください。

- 路上駐車中の車の隣の通行路上（ダブルキング）
- 歩道
- 交差点
- 横断歩道
- 道路工事の工事側・向かい側、作業区域
- 橋や高架道路、高速道路のトンネル内
- 線路上
- 分離道路の中間部、連絡道路も含む
- 踏切の線路から 50 フィート（15m）以内
- 駐車禁止標識のある場所
- 停車禁止標識のある場所
- 公有地・私有地の通路前
- 消火栓から 15 フィート（4.5m）以内
- 交差点の横断歩道から 20 フィート（6m）以内
- 点滅信号、ストップサイン、ゆずれ標識その他の道路標識から 30 フィート（9m）以内
- 消防署入口から 20 フィート（6m）以内
- 路面電車の通行を妨げる場所
- 自動車専用道路で、駐車を許可する標識のないところ

縦列駐車の方法

<table>
<thead>
<tr>
<th>右側に駐車するときのステップ</th>
<th>画面１</th>
<th>画面２</th>
<th>画面３</th>
<th>画面４</th>
<th>画面５</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>1. 前の車と同列に、2 フィート（60cm）離れたところに停止します。</td>
<td>前の車をクリアできたらハンドルを右に大きく切り、ゆっくりとバックします。</td>
<td>ハンドルを右に大きく切りながら、スペースの真ん中に車を置きます。</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>2. ハンドルを大きく右に切り、ゆっくりと後ろの車に近づきます。</td>
<td>自分の前のドアが前車の後バンパーを過ぎたらハンドルをまっすぐにし、そのままバックします。</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>3. 自分の前のドアが前車の後バンパーを過ぎたらハンドルをまっすぐにし、そのままバックします。</td>
<td>前車の後バンパーを過ぎたらハンドルをまっすぐにし、そのままバックします。</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
</tbody>
</table>

縦列の駐車のときは、その 12 インチ（30cm）以内に近づけて駐車します。
縦列がないときは、車両交通からならないように遠ざけて駐車します。
車を降ろすときはエンジンを切り、キーを外してドアをロックします。後ろの接近車を確認しながら車を出す。

PennDOT の縦列駐車（Parallel Parking）講習ビデオを参照してください。

https://www.youtube.com/watch?v=iZs-q6PmC7E
第3章 – 車の運転

特殊な状況と緊急事態

このページからは、工事中の道路、線路の踏切、歩行者や自転車、トラック、バス、緊急車両、無謀運転に遭遇するなどの特殊な状況における事故の回避と安全運転について説明します。

イベントの開催日時や非常事態について事前に知ることで、車での出かけの予定を立てることができます。

出発する前に、交通渋滞や危険な道路状況などをwww.511PA.comなどのメディアで確認することをおすすめします。

工事区域

建設工事や修理工事、公共設備工事の作業現場区域では、オレンジ色の安全コーンなどの交通誘導が一時的に設置されています。蛍光色の安全服を着用した交通誘導員がいる場合もあります。工事区域では手前200フィート（61m）の地点から警戒標識や警告車両、各種掲示板などが置かれています。最初の標識を見た時点から、道路状況や車両、機械、作業員との遭遇を警戒してください。ペンシルベニア州警察の警備のある工事区域もあります。

路面の塗装車や舗装修理車、除草車などは、后续車に合図しながら作業員の安全を確保する車が追従しているときもあります。追越を指示されない限り、移動作業車を追い越してはなりません。

ACTIVE WORK ZONE（現在工事中）とは、作業員のある工事区域です。

工事作業員には常に注意しながら、狭い車線、でこぼこ道、不均等な車線、車線の突如切り換えなどに備えてください。

工事区域では、車は作業員や作業用車に道をゆずってください。工事区域の通過時は、ディライト点灯だけではなく、ヘッドライトも必ず点灯してください。

作業員のいる工事区域でヘッドライトを点灯していない違反には罰金が科せられます。スピード違反のように工事区域では罰金が2倍になる違反もあります。違反内容によっては、運転免許停止となるものもあります。

工事区域の安全運転研修ビデオがJust Drive Paウェブサイトから公開予定となっており、近日に生徒の運転教育でも利用できるようになります。

www.justdrivepa.org

工事区域の付近では以下の点に注意しながら低速車や通行止めに備えてください。

- 出かける前にルートを調べます。工事による遅延は区域を通らなければ回避できます。
- 工事区域ではクルーズコントロールをオフにします。
- 車間距離は通常の2倍にあけます。工事区域では追突事故が最多発です。
- 車線減少の標識を見たら、早めに車線を変更します。
- 工事区域の白実線は超えられません。走行車線を維持してください。
- 工事区域は一定の安全速度で慎重に通過してください。減速・停止やわき見はしないでください。
- 工事区域で車を止めて、作業員に道をきくなどはしないでください。
- 通常の標識や信号機よりも交通誘導員の指示に従ってください。

要注意：工事区域の交通誘導員は、スピード違反や危険・乱暴な車を警察に通報して検挙を要請することがあります。
第 3 章 – 車の運転
PA 運転マニュアル

踏切を渡るとき
踏切のほとんどは、警戒標識と鉄道標識があるだけです。遮断機のない踏切がほとんどです。線路に接近するときは特に注意してください。
めったに列車の来ない、通り慣れた踏切が一番危険です。通過列車のない踏切を日頃よく渡っていると、列車は来ないものと思い込んでしまいます。この思い込みが危険です。

踏切では、以下を覚えておいてください。

踏切に近づくときは常に左・右・左を確認します。信号点滅がなく、他車が通過中ときでも、信号機が故障しているだけの可能性があります。
線路が 2 本以上の踏切では列車通過の直後に渡らないようにします。両方向を確認してから、線路横断を始めます。
单線の踏切でも、列車の通過後に別の列車が接近していないか確認してから渡ります。
踏切内での車追い越しは厳禁です。
前車に続いて線路を見ずのままに渡らないでください。前車に続くときは、自分の車が完全に渡り切られるだけのスペースがあいてから踏切に入ります。
前車が減速したら、その車が渡り切るまで踏切の手前で待ちます。踏切内で閉じ込めないように。
間違って踏切内に閉じ込められてしまったら、急いで車を降りて線路からできるだけ遠ざかってください。

ご存知でしたか？
列車と車・歩行者の衝突事故は、全米で 1 時間半ごとに発生しています。車と車の事故よりも、列車との事故の方が死亡確率は 40 倍高くなります。

歩行者、自転車
自動二輪車、モペッドの付近では
車の運転者として歩行者や自転車を尊重してください。事故の被害を受けやすい弱者にも、公共の道路を使用する権利は平等にあります。
特に以下の点に気を付けます。

歩行者

・ 交差点や横断歩道では歩行者に道をゆずってください。
・ 赤信号での右折は、まず停止して全方向を確認してから、安全であれば曲がります。
・ 行者に気を付けて、横断歩道が空ままで十分に待ちます。
・ 必ず減速して、子供のいる付近では特に注意してください。危険を知らずに車の前に飛び出してくることがあります。
・ スクールゾーンでは制限速度を守り、スクールバスの赤ランプが点滅しているときは停止して待ちます。
・ スクールゾーンやスクールバスの停留所には子供が集まっています。
・ 老人や障害者の歩行者には寛容になりましょう。横断には特に時間がかかります。
・ パックする前に、必ず歩行者がいないか確認してください。
・ 白い杖、盲導犬、介助者のいる視力障害の歩行者には、先行権をゆずってください。
・ 前方に停止車があるときは減速し、歩行者の横断待ちでないことを確かめてから追い越すようにします。
・ 横断歩道のない場所や市街ブロックの中間部では、歩行者があなたの方を向いたときでも、合図して渡らせるのは危険です。
第 3 章 – 車の運転

自転車

安全注意事項（詳細は第 5 章をご参照ください。）

- 自転車に接近するとき、追い越すときは安全速度まで減速します。
- 追い越した後で急に減速したり急停止しないでください。自転車が追突することがあります。
- 自転車には、緊急時にホーンを鳴らさないでください。
詳細はペンシルベニア自転車運転マニュアル（PUB 380）をご参照ください。
http://www.dot.state.pa.us/public/pubsforms/Publications/Pub%20380.pdf

自動二輪車、モペッド

- 自動二輪車やモペッドのためには、車は必ず 1 車線をあけることが法律で義務付けられています。
- 自動二輪車やモペッド事故のほとんどは交差点で生じています。道をゆずるはずの左折車が、自動二輪車の前を横切ったときに多発しています。
- 自動二輪車やモペッドが方向指示器を出していても、その方向に曲がるとは限りません。自動二輪車やモペッドの方向指示器は一般車両のように自動消灯しないことがあります。前を横切らず、自動二輪車やモペッドの右左折を動かして確かめてから進むようにしてください。
- 車には気づかずにこうなった状況も、自動二輪車やモペッド事故につながります。走行中の自動二輪車やモペッドはこうした危険回避するため、緊急時に速度を変えることがあります。
- 一般車両同様に 4 秒以上の車間距離をとります。路面や天候状況が悪いときは、自動二輪車やモペッドのとの車間をさらにあけるようにします。

自動二輪車の安全（Motorcycle Safety）に関する PennDOT の講習ビデオを参照してください。
https://www.youtube.com/watch?v=SZjHD9lIz-o

大型トラックやバスの付近では

トラック、バスその他の大型車両が走行しているときは、交通規則に従って道路マナーを守り、安全に運転してください。トラックやバスの付近を走行するときに特に留意すべき点について、以下に説明します。交通安全の最重要ポイントは、トラックやバスの死角です。大型車の死角は最も危険な事故多発スペースです。

トラックを追い越すとき

平坦道路でトラックを追い越す時間は、一般車両の追い越すほど 3〜5 秒長いかたです。上り坂のトラックは減速するため一般車両よりも追い越しやすくなります。下り坂のトラックは重量で加速しやすく、追い越し速度を加速する必要があります。

追い越しで十分な車間距離を置かずに前に入った車が急減速すると、急則トラックに対応が追われるため危険です。

トラックの死角を走行しているときに追い越し車線の先行車とのスペースを十分に確保しておかないと、トラックがその車線に戻ってきたときに追い越しで危険が伴います。

死角を走行しないよう注意することから追い越しを控えなおしてください。乱気流に備えてハンドルを両手で握ってください。追い越し車線では左寄りに風をよけます。追い越し車線は右行車左から並行車追い越しを完了します。バックミラーにトラックが見えているとき、まとの車線に戻ります。追い越しの後は、一定速度を維持します。ミスや事故の起きやすいカーブ地点での追い越しは危険です。

留意点：トラックを追い越すときは、余裕のタイミングで行ってください。高速道路速度でトラックを追い越すのが安全に完了するまで最大 30 秒を計測します。いったん追い越しを開始したら着実に完了します。トラック横で並走しないこと。トラックの死角に入っています。追い越しを終えると、トラックのヘッドライトやフロント部がバックミラーに映るのを確認してから、車線を変更します。
トラックに追越されるとき
トラックに追い越されるときは、トラックとの間をあけるように車線の向こう側へ寄ってあげてください。やや減速したスピードを維持すれば、トラックが追い越やすくなります。トレッドに追い越される間は、決して加速しないでください。大型車の死角は一般車両の死角よりも大きくしています。大型車の死角に入っている間、あなたの車はトラックから見えていません。死角の走行中にその死角が自分の車線に寄ってきたり、まず落ち着いて、トラックの運転手から見たときに、あなたの車がどこにあるかを判断します。事故を回避するためには、加速すべきか減速すべきかを決めてください。路肩に逃げるのも案です。

対向トラックとすれ違うときには、接触事故にならないように、車とトラックの間に乱気流が生じないように離れます。トラックの乱気流は車体を突き放します。吸い込みの逆です。先行車との車間距離を十分に維持してください。

トラックの後ろを走るとき
大型トラックは普通車よりも停止距離が長く必要です。その逆に大型トラックに接近したとき、後続車は、追突する可能性があります。トラック後方の死角から出た位置で走行してください。トラック運転手がサイドミラーであなたの車が見えるところまで下がってください。道路前方が見えやすくなるほか、トラックが曲がったり停止するときの合図に対応する時間を確保できます。安全対応・安全停止できる時間をとるようにしてください。トラックやバスの後ろを走行するとき、そのサイドミラーに運転手が見えないときは、あなたの車も運転手から見えません。

坂で停止するときは、トラックとの車間距離を大きくしてください。ブレーキをはらしたときに、トラックが下がることがあります。夜間はトラックに限らず、どの車の後ろでもヘッドライトの光度を下げてください。後続車のヘッドライトがまぶしすぎると、トラックのサイドミラーに反射して運転手の目がくらみます。

留意点：トラック後方の死角に入らないためには、少なくとも4秒の間隔をとります。車間距離の簡単な測定法は、前のトラックが路上の目印を通過したら、そこで秒読みをしてください。例えば「1百、2百、」などとリズムをとって数えます。あなたの車がその目印にちょうど「4百」のところで目印に到達するように、車の速度を調整します。
4秒かからず通過したときは、トラックに近づきすぎです。

曲がるとき
トラックの右左折信号に気を付けてください。トラックが後部全体、後ろのトレーラーまで角を曲がるためには、大回りになります。場所によってはなり車線に入らなければならない状況もあれば、曲がろうとするトラックは追い越さないでください。
方向指示器の合図に注意してください。（下の例を参照してください。）

留意点：トラックは大きく曲がります。右折の途中であっても直接しているように見えたり、左折するように見えたりすることがあります。このようなトラックの曲がり方の特徴は、トレーラーの牽引や、大型車の死角が広い特徴とも相まって、衝突の危険性を倍増しています。
トラックと道の間にはされた車は、トラック運転手には見えません。かなり後方で待機して、トラックが曲がるだけのスペースをあけるようにしてください。

右折しようとするトラックの動き

大型トラックからの見え難しい領域（死角）
第 3 章 – 車の運転

大型積載物
大型積載車は、誘導車にエスコートされています。大型積載車とトレーラー車は同じ規則が適用されます。大型積載車には通行車線が指定されていますが、路肩上の突起などで白線・黄線をはみ出す場面があります。

大型積載車や低速車には、他車に注意を呼びかける誘導車が法律で義務付けられています。誘導車には規定の標識やライトが設置されており、識別しやすくなっています。誘導車を見かけたら大型積載車の接近を予測してください。特に注意が必要です。

バックの衝突
トラックがバックを始めたら、その後ろを横切らないでください。トラックが道路から倉庫入口にバックで入るとき、一時的に道路をふさぐ場合があります。このとき、バックできるまでの数秒を惜しんでトラックの後ろを急いで渡ろうとする歩行者や車がいます。大型車の後方死角に入った車や歩行者は危険です。

停止ブレーキ
一般車の油圧ブレーキとは異なり、トラックやバスのエアブレーキは停止まで長距離を要します。積載重量のあるトラックは、路面が乾いており視界良好で、タイヤとブレーキが正常なときにでも時速65 マイルで完全停止するまでの距離は、（一般車両であれば 400 フィートのところが）600 フィート（183m）必要となります。大型車の前には入らないようにします。道路に入るのは大型車の直前は回避して、道路を出るときも大型車の直前の急な車線変更は危険です。

避難ランプ
長い下坂では、大型車トラック専用の避難路が設けられているところもあります。ブレーキ故障で止まなくなった大型車が避難するためのランプです。このランプ付近には決して駐停車しないでください。

バス
バスにも、一般車両よりも広い走行スペースをあけてください。路上では、バスもトラックと同様に対応してください。

スクールバス
ペンシルベニア州では、スクールバス付近を運転する車に対して特別の規則が設けられています。子供と交通の安全のための規則です。
スクールバスは、停止前にオレンジ色のランプを点滅させます。バス停止で赤ランプを点滅させて STOP 標識板を開いたら、その道路上の車は両方向でバスから 10 フィート（3m）離れたところで、またはバスが停止中の交差路手前で、必ず停止してください。赤信号の点滅が終わり、STOP 標識板を閉じて、子供たちが安全に渡り終えるまで停止してください。（下図参照。）

スクールバスは全てストップ！
スクールバスの赤ランプ点滅時、STOP 板の標示中に停止しなかった車は、運転免許60 日停止、運転記録に違反5点のほか罰金の対象となります。

スクールバス停止時の規則には、唯一の例外があります。分離道路（コンクリート壁・金属壁やガードレール、街路樹・岩石・川・草地などの分離があるとき）の対向車線にある車は、対向車線のスクールバスが赤ランプ点滅で STOP 板で停止中でも、停止する必要はありません。減速しながら慎重に走行してください。

ペンシルベニア州のスクールバスに関する交通規則をイラストで学べます。
https://www.penndot.gov/TravelInPA/Safety/TrafficSafetyAndDriverTopics/Pages/School-Bus-Safety.aspx
緊急車両と非常事態への対応

サイレンや赤点ランプ、または赤青点滅ランプを装備しているのは、交通を切り抜けて非常事態に対応するための緊急車両です。消防車、警察車両、救急車、輸血輸送車のほか、救助隊の車両などがあります。注意を払ってください。

サイレンが聞こえたり、赤ランプ・赤青ランプ点滅車両が接近してきたなら:
- 道路わきに車を停止させます。
- 緑にできるだけ沿います。
- 一方通行では、道路わきに近づいて停止します。
- 緊急車両の通過後は、500フィート（152m）以上離れてから、走行を再開します。
- 別の緊急車両が接近してきていないうちにも注意します。
- 交差点からはできるだけ遠ざかります。

非常事態では、制服の警察官、保安官、火災捜査官などの指示に必ず従ってください。

サイレンが聞こえたら、必ず救急車・消防車・警察車両に道をあけてください。将来あなたや家族が救助を要することがあるかもしれません。

緊急妨害禁止令

2006年9月8日施行の緊急妨害禁止令は、緊急区域の隣接車線に車が入ることを禁じています。緊急区域とは、警察・保安官・検死官・監察医・消防員・火災調査官・消防保安官・救助隊・救急医療士・レッカー車と作業員・危険物対応員・道路建設員などが作業中の道路その付近です。道路の事情により、道路わきに停車できないときは、必ず減速しなければなりません。警察官がいない現場では、道路作業員や救助員による違反車の通報が法律で認められています。違反者はこの通報に基づいて警察が発行する告知書の対象となります。道路わきで停止・減速しなかった運転車の罰金は、初回違反$250、2回目$500、3回目以降$1000となります。さらに工事区域での交通違反は罰金が2倍になります。この法律違反が原因で人を負傷・死亡させる重大事故が生じた場合は、90日間の運転免許停止と$1,000以下の罰金となります。この法律違反が原因で道路作業員または救助隊員を負傷・死亡させる重大事故が生じた場合は、1年間の運転免許停止と$10,000以下の罰金となります。

馬車と馬上通行者

馬車や馬上の人が通る道の運転に重要な注意事項がいくつかあります。馬車は暗色のため暗がりや夜間は見えにくくなっています。馬車の後ろを走行・停止中のときは、十分な距離をあけるようにします。馬車は停止してから後ろ移動することがあり、馬車に近づきすぎた車両は、御者から見えにくくなります。また、車間距離をとっておくと、追い越しやすいです。馬車・馬上の人の追い越すときは、馬を驚かさないように、ホーンを鳴らさないでください。追い越し後の距離も十分にあけてから車線に戻るようにし、馬を驚かさないようにします。道路通行の権利は平等にあることを忘れないでください。

トラック荷台上に人が乗るとき

覆いのない小型トラック・トラック荷台に人を乗せるときは、時速35マイル以上では走行できません。18歳未満の未成年者が荷台に乗っているトラックは走行が禁じられています。

ただし以下の場合は例外です。

- 農地所有者または農作業員が自分の子供を乗せて所有農地または作業農地の間を移動するとき。
- 農地所有者または農作業員が雇用する子供を乗せて所有農地または作業農地の間を移動するとき。
- 有効な狩猟許可証を有する子供を乗せて、狩猟期間中に狩猟地の間を移動するとき。
- 公式認定パレード中、公式にパレードに参加している子供を乗せて、パレードしているとき。
除雪車
冬の除雪作業車のミラーは周囲が見えにくくなっています。除雪機は頻繁に方向転換することがありながら、後方はよく見えません。安全な距離を置いて走行してください。車損傷の原因となる塩化物や凍結防止液、滑り止め材の散布を受けないよう、除雪機からは離れてください。
両側に長く広がるドーザーを付けた除雪車もあります。夜間や悪天候時はドーザーが走行中から見えにくくなっており、側面衝突事故の原因となります。安全のため、除雪作業車は右からも左からも追い越さないでください。

あおり運転への対処法
車で怒りやストレス発散しないでください。運転者の間の些細な思い違いが、あおり運転にエスカレートすることがあります。単なる運転ミスが、非礼な挑戦として受けとられてしまうケースです。
気に入らないことがあるので、復讐する必要はありません。別の車を競争相手として意識し始めると、本来の運転がおろそかになり、標識や信号、交通の流れ、歩行者などに注意が向かなくなるため、危険を回避できなくなります。
相手が間違っても、それを指摘する必要はありません。自分の正しさを立証する必要はありません。命を落としてまで証明する価値はないからです。
あおり運転にあたっては、以下に気を付けて安全を維持してください。

危険な状況への対処法
交通事故は前もって練習できるものではありません。とはいえ、緊急操作の知識は役立ちます。いざというときの無操作や間違いはかえって事故の危険を高めます。

ハンズフリー電話が使えるときは、非常ダイヤル911番または警察に通報します。または同乗者に通報してもらいます。
相手に追われているときは、自宅に向かわないでください。警察署やコンビニ店など、目撃者に助けてもらう場所に向かってください。

危険の接近は、急ブレーキで回避するか、ハンドルで回避するか。一般には、時速25マイル以上の走行中はハンドル操作で回避する方が安全です。なぜならブレーキを踏むよりも手がハンドルを操作する反応の方が速いからです。ただし緊急事態を回避するには、それだけのハンドル操作の能力が不可欠です。
基本的にはハンドルは両手で持ってください。危険回避のハンドル操作は、まずハンドルを素早く半回転し、危険を通過した直後に逆方向にほぼ全1回転しなければならないからです。それからハンドルをまっすぐ戻し、走行方向を維持します。高速走行では、少しハンドルを切るだけで左右に大きく移動してしまいます。
第 3 章 – 車の運転

普段からハンドルは右図のように持つように習慣を付けましょう。ハンドルを時計に見立てたとき、両手は9時と3時、または8時と4時に構えます。持ちやすい方で構いません。

親指はハンドル内側まで握りこまずに、外側から添えます。

この持ち方をしておけば、
• 急ハンドルを切るときも、切りすぎによる車の暴走を防げます。
• 衝突事故でエアバッグが作動しても、はねた手が顔を打っての骨折などを予防できます。
• 長時間運転でも疲れにくいハンドル姿勢です。

10時と2時の位置でも問題はありませんが、エアバッグで負傷しやすくなります。ハンドルの切り方には2種類あります。まず上から片手を伸ばし、基本の位置の反対側をつかみ、そのまま頂点を通じて引き戻す操作の繰り返します。もう一つの操作では、片手がハンドルを押し上げながら、別の手が頂点まですべり上がって引き下ろす操作の繰り返します。

衝突を回避できないときのために：衝突しても負傷を最小限にするために、シートベルトを正しく着用して、ヘッドレストの高さを調節しておき、エアバッグから10インチ（25cm）以上身体を離しておきます。

急ブレーキをかけるとき
急ブレーキの安全なかけ方は、ブレーキが旧式かそれともアンチロック式（ABS）かによって異なります。

• 旧式ブレーキでは、少しずつ踏んでは離す動作を繰り返します。細かく踏み続けることにより、車のコントロールを維持しながら減速できます。ブレーキを大きく踏み込むと、タイヤがロックして車体が路面上で滑走します。
• ABSブレーキでは、しっかり踏み続けながら踏み込むと車体が滑走することはありません。細かく踏んで離すペダル操作を繰り返さないでください。ブレーキを踏んだ時の音や振動は特に問題はありません。

運転車のブレーキが上記いずれに該当するのかは、車のマニュアルで確認してください。急ブレーキを踏む事態に遭遇する前に調べておくべきです。非常時のブレーキの使い方を知っておくことで、命が助かるかもしれません。

車体が滑走したときは
濡れた路面や凍結路面で車体が滑走したときは、進行すべき方向に視点を定めます。車体後部が左に滑っているときは、ハンドルを左に向けます。車体後部が右に滑っているときは、ハンドルを右に向けます。滑走を止めるハンドル操作で、反対向きの滑走が多少生じますが、最初の滑走ほどではありません。新たに生じた滑走も、車の後部が左の方向にハンドルを向けて相殺します。

冠水道路
冠水道路では、6インチ（15cm）の深さでも普通車やトラックはコントロールが効かなくなり、小型車は浮きはじめます。2フィート（61cm）の深さになると、SUVを含むほとんどの車が流されます。浮いて流された車は深みにあり、人を閉じ込めたまま転覆したり水没します。

道路の冠水が流れているときは、ルート変更が無難です。

冠水道路
冠水道路では、6インチ（15cm）の深さでも普通車やトラックはコントロールが効かなくなり、小型車は浮きはじめます。2フィート（61cm）の深さになると、SUVを含むほとんどの車が流されます。浮いて流された車は深みにあり、人を閉じ込めたまま転覆したり水没します。

道路の冠水が流れているときは、ルート変更が無難です。

注：危険地点の通行止め標識をよけたり、無視する通過は違法行為です。違法行為の処罰については、第5章を参照してください。
第3章 – 車の運転

アクセルが戻らなくなったとき
アクセル（加速ペダル）が踏んだまま戻らなくなったときは、車が加速し続けて危険です。

このときは:
1. 道の進行方向から目をそらさないでください。軽踏みを何度か繰り返してペダルが戻るか試してみます。つま先で引き上げられることもあります。手ではずそうとして下にもぐることは絶対に避けてください。
2. ペダルが戻らないときは、シフトをニュートラル（N）に切り替え、ブレーキをかけます。エンジンがうなりますが、タイヤの回転力を取ります。
3. 安全に減速して、車両交通のない場所に停止できるまでハンドル操作で前進を続けます。停止できたらエンジンを切り、ハザードランプを点滅してください。

注: イグニッション（エンジンキー）をOFFにするよりも速く停止できます。ただしLOCK位置まで回すとハンドルがきかなくなるので危険です。それからブレーキを踏みます。イグニッションを切ると、ハンドルもブレーキも操作しにくくなります。

ブレーキが利かなくなったとき
最近の車は2系統ブレーキを採用しており、ブレーキの完全故障は少なくなってきています。ブレーキ警告灯が出たときは、4輪のうち2輪、おそらく前1輪と後1輪にブレーキが作動しています。そのまま車両交通のない場所に停止するか、または次のガソリンスタンドまで走行できます。ブレーキの利きが悪いため、ペダルを強く踏まなければ减速しにくくなります。停止までの距離が長くなるため、前方に注意してください。

ブレーキを低速に切り替え、減速しやすくになります。

旧式の車でブレーキが利かなくなったときには

| 1. 低速ギアに切り替えて、停止できる場所をさがします。 | 4. 前方に視線を合わせて、安全に停止できる場所を見つけます。広いスペースか上り坂の方にハンドル操作で入り込みます。 |
| 2. ブレーキを軽く数回踏みます。これでほとんどの車は停止できます。 | 5. それでも車が止まらず衝突しそうなときは、エンジンキーをOFFにします。エンジンキーはLOCKには回さないでください。ハンドルが操作できなくなるです。その後、シフトを最低速に切り換えます。この操作手順はトランスミッションを痛めるため、衝突前の緊急手段です。 |
| 3. ブレーキペダルで止まらないときは、駐車ブレーキを使います。ブレーキのレバーから手を離さず、後輪がロックして滑走を防げたまちにすぐに緩めます。 |

車を停止できたら、ロードサービスに連絡します。その車はもう発車させないでください。

タイヤの破損
パンクの前兆でバタバタ音がすることもありますが、通常はパンクに気づく前兆はありません。破損を防止するため、日常的にタイヤを整備して適正空圧を確認してください。

前軸タイヤが破損すると、ハンドルが乱れて車が一方向に引き寄せられます。後軸タイヤが破損すると、車の角が急に下がって車後部が揺れます。

タイヤがパンクしたときは:
1. ハンドルをしっかりつかみます。
2. ブレーキを踏んでありません！パンクでブレーキを踏むと車が滑走し、操縦できません。
3. アクセルからゆっくり足を離します。
4. 急ハンドルを切らずに、向き合う方向に徐々にハンドルをかかわせます。
タイヤを交換する

タイヤ交換用の工具は常に車に搭載しておいてください。スペアタイヤ、レンチ（ラグレンチ、ボックスレンチ）、ジャッキ、ドライバー、懐中電灯、発煙筒、三角表示板、車止め、タイヤ修理キット、軍手などです。

1. パンク車は他車の来ない、道路から離れた平地に停車させます。
2. 駐車ブレーキをかけ、正常タイヤのそれぞれ前後に石・木片・ブロックなどで車止めをしておきます。
3. 破裂タイヤがホイールカバーやハブキャップで覆われているときは、マイナードライバーまたはラグレンチ先端で外します。
4. ジャッキを入れる前にレンチでラグナットを緩ませます。ただしナットは外してしまわず、ボルトにつけたままにしておきます。
5. ジャッキで車体フレームまたはサスペンション部を支えるよう、固い地面にしっかりと置きます。正しいジャッキの当て方については車のマニュアルを参照してください。ジャッキで車を約6インチ（15cm）持ち上げます。
6. ラグナットを完全に取り外し、無くさないように集めておきます。（ホイールカバーやハブキャップに入れるなど。）破裂タイヤを両手で真っすぐにボルトから抜き取ります。
7. スペアタイヤをボルトに装着し、ラグナットをボルトに手でめ込まれます。ナットがボルトにかかったら、レンチでボルトに入れ込みます。締めすぎないように、緩めて加減しながらレンチをかげます。
8. ゆっくりジャッキを下ろします。ジャッキは同じ位置に置いておきます。
9. ナット締め付けの手順とトルク荷重をマニュアルで確認してから、レンチでナットを締めます。
10. ジャッキを外し、古タイヤ・工具類と共に車のトランクに収納します。

道をはずれて路肩に迷い込んだとき
路面よりも段差の低い路肩で車が路肩落ちになったとき、ハンドル回復の正しい操作を知っておくなければ重大な事故につながりかねません。路肩落ちになるのは走行中に道路の端に近づきすぎたり、カーブのスピード出すぎで前輪が道を踏み外したときです。

過ぎた部の道路はあらがいます。舗装工事中の道路でも、路肩に段差が生じることがあります。
路肩落ちから回復するコツを知らなければ緊急事態につながります。まずは急ハンドル・急ブレーキは厳禁です。急ハンドルを切って道路に戻ろうすると車が横はねて対向車線に衝突します。2車輪が路上にあり、2車輪が路肩にある状態で急ブレーキをかけると車が滑走しやすくなり、コントロールを失います。
道路をはみ出たときの回復操作は

<p>| | |</p>
<table>
<thead>
<tr>
<th></th>
<th></th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>1.</td>
<td>二輪とも路肩に入ったときには、徐々にアクセルを緩めて自然減速します。急ブレーキをかけないように。路肩前方に障害物があって停止を要するときは、タイヤがロックしないよう慎重にブレーキしてください。</td>
</tr>
<tr>
<td>2.</td>
<td>ハンドルをしっかり握り、二輪が路上または路肩にかかったまで（路肩をまたいだ状態で）道路にそって進行します。アスファルトの端でタイヤをこすらないよう注意します。落ち着いてハンドルを安定させます。崩れやすい路肩や濡れた路肩は車を右に引き寄せます。急ハンドルで道路に戻ろうとはしないでください。</td>
</tr>
<tr>
<td>3.</td>
<td>そのまま減速を続け、時速25マイル以下、10マイルに近づくまで、車を制御できる安全速度まで徐行します</td>
</tr>
</tbody>
</table>
| 4. | 道路に合流する前に後続車の接近を確認してください。左折の合図を出します。
| 5. | ハンドルをゆっくり左向きにして、右タイヤを道路に戻します。両輪とも路上に戻ったら、ハンドルを進行方向にゆっくり戻します。
| 6. | 路上で車をコントロールできるようになってから、交通の流れに合うスピードに回復します。

対向車が車線に入ってきたとき
まずホーンで警告します。対向車が応じて戻らないときには、できれば右側に回避します。左に回避すると、後で対向車が車線に戻ったときに衝突します。衝突を回避できないときは、ブレーキをしっかり踏み込みます。衝突時の速度が低いほど被害は軽減します。

葬儀の車列
葬儀の車列には道をゆずってください。先頭車が交差点に入ったら、後続車も並んで入ってくる場合、他車は必ず道をゆずらなければなりません。車列が通過するのを待ちます。警察または葬儀責任者・担当者の交通誘導がない限り、車列を横切ることはできません。

葬儀の車列はヘッドライトとハザードランプのほか、旗などのシンボルを掲げて行列中であることを示すよう義務付けられています。葬儀の車列が進行中は、車上に紫ランプが点滅・回転している場合もあります。

葬儀の車列は先頭車が青信号で交差点に入ったときは、信号が変わっても後続車もその交差点を通ることが許されています。ストップサインでは、先頭車は完全停止してから交差点を通過します。葬儀の車列であっても、緊急車両には道をゆずらなければならないません。

-65-
第 3 章の復習

1. 二十歳未満の青年が事故を最も起こしやすい状況は:
   A. ペットを乗せて運転するとき
   B. 大人が同乗して運転するとき
   C. 未成年が同乗して運転するとき
   D. 同乗者なしで運転するとき

2. 運転中に飲食すると:
   A. 運転ミスにならない
   B. 徐行運転できない
   C. 空腹で運転しないので安全
   D. うまく車を制御できない

3. 運転中にタバコに点火するときは:
   A. 特に運転に支障はない
   B. 意識がさえて運転がよくできる
   C. 運転に集中していない
   D. 不注意運転にはならない

4. ペンシルベニアの16歳運転の多発事故第1位は:
   A. 単独事故や、道路のはみ出し
   B. 高速道路での側面接触
   C. 小道のバック運転
   D. 道路の路肩運転

5. 自転車を追い越すときは:
   A. ホーンをならして自転車に警告する
   B. 可能な限り左寄りを走行する
   C. 緑線の中央を維持する
   D. ハザードランプをつける

6. 子供の遊び場付近での運転注意事項は:
   A. 子供は交差点の安全横断についてよく知っている
   B. 子供は交差点では立ち止まってから道を渡る
   C. 子供は車を見ずに飛び出す
   D. 子供は必ず大人と一緒に横断する

7. 自動二輪車の後ろを走るときは、必ず:
   A. 自動二輪車に1車線の全幅をとらせる
   B. 自動二輪車の横の路肩を走る
   C. 自動二輪車に車線の半分をあける
   D. 自動二輪車が走行中の車線を越えないように追い越す

8. 自動二輪車の後ろを走るときは:
   A. 車2台分の車間距離をあけるようにする
   B. 2秒間の車間距離をあけるようにする
   C. 4秒間の車間距離をあけるようにする
   D. 自動二輪車4台分の車間距離をあけるようにする
9. 白い杖の歩行者に注意しなければならない理由は:
   A. ろうあ者だから
   B. 精神障害者だから
   C. 視覚障害者だから
   D. 足腰が弱いから

10. 白い杖または盲導犬に導かれた視覚障害の歩行者がいるときには:
   A. 車を停止できるように減速する
   B. 車に先行権があるので進行する
   C. 車をそのまま前進させる
   D. 素早く通り去る

11. 信号機のない交差点で曲がる車と横断者があるとき、道をゆずらなければならないのは:
   A. 交差点に後から到達した方
   B. 車
   C. 速度が遅い方
   D. 歩行者

12. 後ろに三角オレンジ表示板を付けた車両は:
   A. 放射能物質を輸送中
   B. 大きく曲がる
   C. 一般車両よりも低速
   D. 頻繁に停止する

13. 夜間に最も見えにくいのは:
   A. 道路の標識
   B. 歩行者
   C. 他の車
   D. 道の照明灯

14. 後ろのトラックに追い越されようとするとき、あなたは車の速度を:
   A. 維持または下げる
   B. 車線を変える
   C. 変える
   D. 上げる

15. トラックの付近を走るときに知っておくべき事項は:
   A. トラックの停止距離は一般車よりも長い
   B. 下り坂では一般車よりも速く追い越しかな
   C. 一般車よりも小回りに曲がれる
   D. 上り坂では一般車よりも速く追い越しかな

16. 複数の線路がある踏切の前で停止したら:
   A. 列車の通過を目で左右確認できるまで待つ
   B. 線路上まで進んで、別の列車が来るかどうかを確認する
   C. 通過中の列車が通り過ぎたら急いで渡る
   D. 線路が 1 本あいたり
17. 交差点で右折しようとするトラックが左に寄ったとき、特に危険なのは：
A. トラックの右に入って右折すること
B. トラックが右折を終えるまでブレーキを踏み続けること
C. 車間距離の4秒ルールに違反すること
D. トラックにホーンを鳴らすこと

18. スクールバスの赤ランプが点滅中でSTOP標示板が閉いているとき、停止が義務付けられていない唯一の状況は：
A. 分離道路の対向車線を走行中のとき
B. バスの後方にいるとき
C. 子供が見えないとき
D. 安全に左から追い越しができるとき

19. スクールバスがランプを点滅してSTOP標示板を開いたときには、必ず：
A. バスから10フィート離れて停止する
B. 子供が降りてからバスを追い越す
C. バスが分離帯の反対側にいるときは停止する
D. ゆっくりとバスの横を走行する

20. 列車が通り過ぎたら：
A. 別の列車が接近してこないことを確認してから慎重に進む
B. 青信号に変わるまで待つ
C. 複数の線路を渡る
D. ホーンを鳴らして渡る

21. 他車が予期しない状況で、車を減速・停止しようとするときは：
A. ブレーキを軽く数回踏む
B. 非常（駐車）ブレーキをかける
C. 振り返って死角に車がないかを確認する
D. ホーンを鳴らす準備をする

22. 曲がるときに方向指示器の合図が義務付けられているのは：
A. 後ろに車があるときのみ
B. 自分の車の前部が交差点にはいったとき
C. 交差点にさしかかる3〜4秒前
D. 交差点の手前、車2台分の距離で

23. 別の車を追い越すときは：
A. ヘッドライトを点滅させ、その車に合図する
B. ハザードランプをつけてその車に合図する
C. 方向指示器で車線変更を合図する
D. ホーンを鳴らしてその車に警告する

24. 道路上の死角とは：
A. 振り向かなければ、運転席からは見えない箇所
B. 車の直後の箇所
C. バックミラーで見える箇所
D. サイドミラーで見える箇所
25. 追越しするときの合図は：
   A. 車線を変更する直前に出す
   B. いつでも出せる
   C. 車線を変更した後に出す
   D. 他車にその意図が伝わるよう、早めに出す

26. 複数車線の道路で車線を変更するときは：
   A. ホーンを鳴らす
   B. ヘッドライトをつける
   C. 速度を落とす
   D. ミラーと死角を確認す

27. 車の通る道路上に駐車するときは：
   A. ハザードランプをつける
   B. 斜めに駐車する
   C. 方向指示器をつけたままにする
   D. ライトをつける

28. バックする前には：
   A. ミラーだけを見て安全を確認する
   B. ライト点滅する
   C. ドアを開いて安全を確認する
   D. 振り返って後ろの窓から安全を確認する

29. 衝突をさけるためには：
   A. 行中の他車に合図する
   B. 行中の他車を無視する
   C. 側道や小道を通る
   D. 渋滞時は運転を避ける

30. この車は：
   A. 減速または停止する
   B. 左折する
   C. 右折する
   D. ドアを開けようとしている

31. 方向指示器が壊れたら、曲がるときは______ で合図する。
   A. ホーン
   B. ヘッドライト
   C. 手信号
   D. ハザードランプ

32. 幹線道路を時速 40 マイル以下で走行するときは：
   A. 路肩を走行する
   B. ハイパーパームをつける
   C. ホーンで他車に警告する
   D. ハザードランプ
第3章 – 車の運転

33. ホーンを鳴らすべき状況は:
   A. 交差点を通過するとき
   B. 自転車を追い越すとき
   C. 子供が道路に飛び出してきたとき
   D. 縦列駐車するとき

34. ______フィート先の車が見えなければ、ヘッドライトをつけるようにする。
   A. 1000
   B. 1500
   C. 1800
   D. 1200

35. ハイビームの車が接近してきたら:
   A. 自分の車もハイビームにする
   B. ヘッドライトを消す
   C. ホーンを鳴らす
   D. ハイビームを点滅する

36. ハイビームの車が接近してきたら、道路の______側に視線を向けるようにする。
   A. 左右どちらか
   B. 中央
   C. 右側
   D. 左側

37. ホーンを鳴らす状況は:
   A. 急停止するとき
   B. 別の車を追い越すとき
   C. 車をコントロールできなくなったとき
   D. 自転車を追い越すとき

38. ブレーキランプがついた車は:
   A. 曲がろうとしている
   B. 非常ブレーキをかけている
   C. 車線を変えようとしている
   D. 減速または停止しようとしている

39. 曲がる前にすべきことは:
   A. 方向指示器を出す
   B. ハンドルを切る
   C. 速度を上げる
   D. 車線を変更する

40. この車は:
   A. 左折する
   B. 減速する
   C. 停止する
   D. 右折する
第 3 章 - 車の運転

41. この車は：
   A. 左折する
   B. 停止する
   C. 減速する
   D. 右折する

42. 相手の車と衝突しそうになったら：
   A. ホーンを鳴らす
   B. 手を振る
   C. 非常ランプをつける
   D. ヘッドライトを点滅する

43. 運転中に眠くなったなら：
   A. コーヒーを買いに行く
   B. 窓を開ける
   C. 運転をやめる
   D. ラジオをつける

44. 運転能力に睡眠不足と同じ影響を及ぼすのは：
   A. アルコールの作用
   B. アンフェタミンの作用
   C. 怒りの状態
   D. 未成年者が同乗する状況

45. 居眠り事故にならないよう、青少年に必要な睡眠時間は：
   A. 7 時間
   B. 6 時間
   C. 8 時間
   D. 9 時間

46. 別の車に割り込みされたときは：
   A. その車と横並びになって、大声でどなる
   B. その運転者を無視する
   C. ハイビームをその運転者に点滅する
   D. その車の前に割り込んで仕返しする

47. 後ろの車があおてくるときは：
   A. 邪魔にならないよう、その車をよける
   B. 追い越されるとときに運転者をにらみつける
   C. 追い越されるとときに加速する
   D. 追い越し車線をふさぐ

48. アルコール 1 杯分が身体で分解される平均時間は何分？
   A. 15
   B. 60
   C. 90
   D. 30
49. 集中力、感知力、判断力、記憶力を低下させるのは？
   A. 血中アルコールが法定数値を超えるとき
   B. アルコールではない
   C. 微量たるもアルコール
   D. 血中アルコール濃度が.05を超えるとき

50. アルコールと薬物を併用すると：
   A. 事故の確率が高まる
   B. アルコールだけの時と同じ
   C. 運転能力へのアルコールの影響を低減する効果がある
   D. 運転には影響ない

51. 血中アルコール濃度が高まると：
   A. 反応が遅くなる
   B. 自信を失う
   C. 体内分解作用が加速する
   D. 運転ミスが減る

52. 血中アルコール濃度が.04のときは：
   A. 事故発生率が飲酒していない人の2〜7倍になる
   B. 法の制限値を超えているが運転はできる
   C. 安全への自信をもって運転できる
   D. 運転前に大量のコーヒーを飲んでおくようにする

53. 消防車のサイレンが聞こえたら：
   A. 横を通り過ぎるまで減速走行する
   B. ハザードランプを点滅しながら走行する
   C. 道路わきに寄って停止する
   D. 加速して次の出口を出す

54. タイヤが破裂したら：
   A. ハンドルの動くままにまかせる
   B. 完全停止するまで減速させる
   C. 整備ステーションまで走行を続ける
   D. 急ブレーキですぐに止まる

55. 路上で車が故障したら：
   A. 車の外に出ず、援助してもらうまで待つ
   B. ハザードランプをつけて他車に警告する
   C. 通過車にホーンで合図する
   D. 対向車にヘッドライトを点滅

56. 緊急車両がライトを点減していたら：
   A. 減速して走行車線を維持する
   B. 車線を維持して走行する
   C. 道路わきに停止する
   D. その場で停止する
57. 一方通行で緊急車両が後ろからライトを点滅してきたら:
   A. ハザードランプを点滅しながら走行する
   B. 道のわきに近づいて停止する
   C. 加速して次の出口を出る
   D. 減速して追い越しさせる

58. サイレンをつけた緊急車両が通り過ぎたら:
   A. 警察車両の近くを走行する
   B. 警察車両と同じ速度で走行する
   C. 緊急車両から500フィート以上近づかないように走行する
   D. 道路

59. 工事区域の事故で最も大きな原因は:
   A. タイヤの破裂
   B. 路上の散水によるハイドロプレーニング現象
   C. ペンキ塗りたての路面によるハンドルの不自由
   D. 不注意運転と速度の出しすぎ

60. 工事区域を走行するときは:
   A. 前の車に接近して、停滞しないようにする
   B. 車間距離を通常の約半分に縮小する
   C. クルーズコントロールをつけ
   D. 車間距離を通常の約２倍とる

61. 2車線二方向交通の道路での左折は:
   A. 中央線に近いところから始める
   B. 外側線に近いところから始める
   C. 車線の中央から始める
   D. 車線内ならどこからでもよい

62. 複数車線道路での左折は:
   A. 交差点の真ん中から始める
   B. 右車線から始める
   C. 左車線から始める
   D. どの車線からでもよい

63. 右からの追越が許されるのは:
   A. 1車線の入口ランプのとき
   B. 前の車が制限速度よりも低速に走行中のとき
   C. 常に禁止されている
   D. 前の車が左折を合図しているとき

64. 2車線道路で低速車を追い越すときは:
   A. センターラインを越えてはならない
   B. 対向車にライトを点滅する
   C. 路肩を使う
   D. 対向車線を使う
第3章 - 車の運転

65. この路面標示の先の交差点では：
A. 中央の車線は直行または左折できる
B. 中央の車線は右折しかできない
C. 中央の車線は別の車線に合流する
D. 中央の車線は左折しかできない

66. ブを曲がる速度で一番重要のは：
A. 制限速度でカーブに入り、カーブ頂点で減速すること
B. カーブに入る前に減速すること
C. カーブに入る前に加速すること
D. カーブの前・中・後とも制限速度を一定に守ること

67. ラウンドアバウトや循環交差点に入ろうとする車は：
A. 入る前に必ず一時停止する
B. ラウンドアバウトや循環交差点を通過中の車に道をゆずる
C. 最初に到達した方に先行権がある
D. 2車線あるところでは先行権がある

68. 交差点での先行権は、法律上は：
A. 誰にもない
B. 左折車にある
C. 直進車にある
D. 右折車にある

69. 交差点にストップサインがあるとき、一時停止したら：
A. 後ろの接近車をバックミラーで確認する
B. 前の車が動いたら、続いて前進する
C. 右を見て、左を見て、右を見る
D. 左を見て、右をみて、左を見る

70. 高速道路に入口ランプから入るときは：
A. 交通の流れよりも速く合流して前に出る
B. 他の車を避けてゆっくりと入る
C. 一時停止してから交通の流れに入れる
D. 交通の流れする速度に加速する

71. 高速道路を出るときに、減速するタイミングは：
A. 高速道路の出口車線に入る前
B. 料金所が見えるところ
C. 出口車線に入ってから
D. 最初の出口標識が見えたところ

72. 高速道路の入口で、交通の流れに確認する方法は：
A. バックミラーだけを見るようにする
B. サイドミラーだけを見るようにする
C. バックミラーとサイドミラーを両方見る
D. 複数のミラーを見て、さらに振り返って見る
第 3 章 – 車の運転

73. 高速道路の出口を出そびれたら：
A. 次の出口まで進行して、そこから高速道路を出る
B. 中央分離帯を通ってUターンする
C. 路肩に入り、出口までバックして戻る
D. 通りかかった警察車に合図して、出口までのバックをエスコートしてもらう

74. 複数車線の交差点で左折を待っているとき、対向車に前方をふさがれて見えにくいときは：
A. 渡ろうとする最初の車線が空いたときに、急いで加速する
B. 渡ろうとする全ての車線が空くまで待つ
C. 対向車が合図して、交差点を渡らせてくれるまで待つ
D. 対向車線が1本ずつ空くごとに、その車線に入る

75. 標識も信号機も警察による交通整理もない交差点では、法律上：
A. 右の車が左の車にゆずる
B. 誰がゆずるかは規定されていない
C. 交差路の直進車は左折車にゆずる
D. 交差路の左折車は直進車にゆずる

76. 高速道路催眠現象が生じるのは：
A. ⻑時間同じ道路を⾒あきるとき
B. トイレ休憩を頻繁にとるとき
C. 前⽇に寝すぎたとき
D. ⾼速道路を短時間だけ⾛行する

77. 複数車線の高速道路で追い越すときは：
A. 追い越し⽤⾞線が空いていることを確認する
B. 必ず右から追い越す
C. 対向車に注意する
D. 合図する必要はない

78. 4秒間ルールが適用されるのは：
A. 対向車にゆずるとき
B. ストップサインで一時停⽌するとき
C. 前⾞の後ろを⾛行するとき
D. 交差路を通過するとき

79. 車間スペースを確保するのは：
A. 車の後方のみ
B. 車の左右のみ
C. 車の前方のみ
D. 車の周囲全て

80. 車間スペースが必要な理由は：
A. 他⾞に気を取られないようにするため
B. 状況に対応する時間を確保するため
C. 交通の安全な流れのため
D. 他⾞の注意を喚起するため
第3章 – 車の運転

81. 停止するとき余分な車間スペースが必要となるのは:
   A. 上り坂で
   B. 交差点で
   C. ストップサインで
   D. 料金所で

82. 曲がるとき、速度は______:
   A. 上げる
   B. 維持する
   C. 変える
   D. 下げる

83. 車の多い道路で安全に運転するためには:
   A. 緊張を持続させるため、速度を上下させる
   B. 交通の流れよりも速めに走行する
   C. 交通の流れよりも遅めに走行する
   D. 交通の流れに乗って走行する

84. ペンシルベニア州の最大制限速度は時速何マイル______:
   A. 55
   B. 50
   C. 60
   D. 70

85. 制限速度よりも低速にするのは:
   A. 道路の状況が思わしくないとき
   B. 他車が制限速度以下で走行しているとき
   C. 高速道路で合流するとき
   D. 道路が4車線のとき

86. 道を横切るとき、交通の切れ目の判断は:
   A. 道路事情や天候、交通量次第
   B. ストップサインの有無次第
   C. 方向指示器の使い方が次第
   D. 後ろの車次第

87. 車が安全に停止できるかどうかは:
   A. 信号機が影響する
   B. 車の他車が影響する
   C. 時間帯が影響する
   D. 道路の状況が影響する

88. 車の走行速度に関する正しい考え方は:
   A. 状況によって安全速度は違ってくる
   B. 低速度の方が常に安全
   C. 制限速度は常に安全
   D. 加速は常に危険
第3章 – 車の運転

89. 前方の状況変化に対応できるよう：
   A. 道路と道路わき全体を常に巡視する
   B. 常に真っすぐ前を見る
   C. 左足を軽くブレーキペダルに乗せて運転する
   D. 前方中央に焦点を維持する

90. 乾いた路面の高速道路で安全な車間距離は：
   A. 前車の3秒後を走行する
   B. 前車の2秒後を走行する
   C. 前車の4秒後を走行する
   D. 前車から車2台分のスペースをあける

91. 交通量の多い道路で急ブレーキを回避する方法は：
   A. ホーンをなして他車に警告する
   B. 前方を見ながら安全な車間距離を維持する
   C. 右車線だけを走行する
   D. 車の流れよりも低速に走行する

92. 前方左に対向車があり、前方右に自転車があるときは：
   A. 路肩に出る
   B. 左右の中间を走る
   C. 対向車を通過させてから、自転車を追い越す
   D. 素早く自転車を追い越す

93. 対向車が自分の車線に入ってきたときは：
   A. 右に寄り、ホーンを鳴らし、加速する
   B. 左に寄り、ホーンを鳴らし、ブレーキをかける
   C. 右に寄り、ホーンを鳴らし、ブレーキをかける
   D. 車線中央を維持し、ホーンを鳴らし、ブレーキをかける

94. 車の後部が左に滑走したときは：
   A. ハンドルを左に向ける
   B. ブレーキを強く踏む
   C. 加速する
   D. ハンドルを右に向ける

95. 衝突事故での負傷を最小限にする最善策は：
   A. シートベルトを着用する
   B. 週日以外は運転しない
   C. 複数車線の高速道路では右車線を走行する
   D. 午後3時〜6時以外は運転しない

96. すべりやすい路面では：
   A. ゆっくり曲がる
   B. 素早く車線変更する
   C. 素早く加速する
   D. ブレーキを強くかける
第 3 章 – 車の運転
PA 運転マニュアル

97. 滅れた路面を走行するときは：
A. 速度が上がるとほど、タイヤの摩擦力が落ちる
B. タイヤの状態さえ良ければ雨の影響はない
C. 冠水は深めの方が安全
D. 減速するとすべりやすくなる

98. 路面がすべりやすいときは：
A. 別の道路に迂回する
B. 乾いた路面と同様に走行する
C. 前車との距離を大きくあける
D. 橋や交差路は渡らないようにする

99. 滅れた路面では：
A. 制限速度で走行する
B. 制限速度よりも速めに走行する
C. 制限速度を 5〜10 マイル下回って走行する
D. 前の車に接近して走行する

100. 滅れた路面では：
A. 車間距離を 5〜6 秒にあける
B. 車間距離を 2 秒に縮める
C. 車間距離は気にせずともよい
D. 車間距離 4 秒ルールを維持する

101. 面が凍結しやすくなるのは：
A. 平坦な道
B. 曲がった道
C. 日の当たる道
D. 日陰の道

102. 路面が一番すべりやすいのは：
A. 雨が 1 時間以上降っているとき
B. 雨の翌日
C. 本降りの 10〜15 分後
D. 雨があがった直後

103. ハイドロプレーニング現象で滑走しやすいのは：
A. 頻繁に止まったとき
B. 急に停止したとき
C. 急に曲がったとき
D. スピードを出しすぎたとき

104. ハイドロプレーニング現象になったときは：
A. 冠水の浅瀬を走行する
B. 加速する
C. 減速する
D. 冠水の深みを走行する
第3章 - 車の運転

105. 霧の中を走行するときは_______を使う：
   A. ヘッドライトのロービーム
   B. ヘッドライトのハイビーム
   C. 駐車灯
   D. ハザードランプ

106. 昼間の運転に比べて、夜間の運転は：
   A. より安全
   B. 同様に危険
   C. より危険
   D. 見えやすい

107. 衝突事故になりやすいのは_____：
   A. 道路から目を離したとき
   B. ハンドルから手を離さなければならないとき
   C. 運転以外のことに注意が向いたとき
   D. 上記の全て

108. 運転中に操作すると不注意事故になりやすいのは：
   A. CDプレーヤー
   B. ラジオ
   C. 携帯電話
   D. 上記の全て

109. 道路の前方に信号も遮断機もない踏切があるときは：
   A. 車に先行権があるので、列車の接近を確認する必要はない
   B. 踏切を渡る低速車を追い越してもよい
   C. 止まらずに渡り切れるだけの空きを確認するまで踏切に入らない
   D. 上記の全て

110. スクールバスがランプを点滅してSTOP標示板を開いたときには、必ず：
   A. バスから5フィート離れて停止する
   B. 子供がいるときだけ停止する
   C. 停止して、安全を確認できたら進行する
   D. 停止して、赤ランプ点滅が消えてSTOP標識板が閉じた後、進行する
第 3 章 - 車の運転

<p>| | | | | |</p>
<table>
<thead>
<tr>
<th></th>
<th></th>
<th></th>
<th></th>
<th></th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>1.</td>
<td>C</td>
<td>41.</td>
<td>A</td>
<td>81.</td>
</tr>
<tr>
<td>2.</td>
<td>D</td>
<td>42.</td>
<td>A</td>
<td>82.</td>
</tr>
<tr>
<td>3.</td>
<td>C</td>
<td>43.</td>
<td>C</td>
<td>83.</td>
</tr>
<tr>
<td>4.</td>
<td>A</td>
<td>44.</td>
<td>A</td>
<td>84.</td>
</tr>
<tr>
<td>5.</td>
<td>B</td>
<td>45.</td>
<td>C</td>
<td>85.</td>
</tr>
<tr>
<td>6.</td>
<td>C</td>
<td>46.</td>
<td>B</td>
<td>86.</td>
</tr>
<tr>
<td>7.</td>
<td>A</td>
<td>47.</td>
<td>A</td>
<td>87.</td>
</tr>
<tr>
<td>9.</td>
<td>C</td>
<td>49.</td>
<td>C</td>
<td>89.</td>
</tr>
<tr>
<td>10.</td>
<td>A</td>
<td>50.</td>
<td>A</td>
<td>90.</td>
</tr>
<tr>
<td>12.</td>
<td>C</td>
<td>52.</td>
<td>A</td>
<td>92.</td>
</tr>
<tr>
<td>15.</td>
<td>A</td>
<td>55.</td>
<td>B</td>
<td>95.</td>
</tr>
<tr>
<td>16.</td>
<td>A</td>
<td>56.</td>
<td>C</td>
<td>96.</td>
</tr>
<tr>
<td>17.</td>
<td>A</td>
<td>57.</td>
<td>B</td>
<td>97.</td>
</tr>
<tr>
<td>18.</td>
<td>A</td>
<td>58.</td>
<td>C</td>
<td>98.</td>
</tr>
<tr>
<td>20.</td>
<td>A</td>
<td>60.</td>
<td>D</td>
<td>100.</td>
</tr>
<tr>
<td>23.</td>
<td>C</td>
<td>63.</td>
<td>D</td>
<td>103.</td>
</tr>
<tr>
<td>24.</td>
<td>A</td>
<td>64.</td>
<td>D</td>
<td>104.</td>
</tr>
<tr>
<td>25.</td>
<td>D</td>
<td>65.</td>
<td>A</td>
<td>105.</td>
</tr>
<tr>
<td>30.</td>
<td>A</td>
<td>70.</td>
<td>D</td>
<td>110.</td>
</tr>
<tr>
<td>31.</td>
<td>C</td>
<td>71.</td>
<td>C</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>32.</td>
<td>D</td>
<td>72.</td>
<td>D</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>33.</td>
<td>C</td>
<td>73.</td>
<td>A</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>34.</td>
<td>A</td>
<td>74.</td>
<td>B</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>35.</td>
<td>D</td>
<td>75.</td>
<td>D</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>36.</td>
<td>C</td>
<td>76.</td>
<td>A</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>37.</td>
<td>C</td>
<td>77.</td>
<td>A</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>38.</td>
<td>D</td>
<td>78.</td>
<td>C</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>39.</td>
<td>A</td>
<td>79.</td>
<td>D</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>40.</td>
<td>D</td>
<td>80.</td>
<td>B</td>
<td></td>
</tr>
</tbody>
</table>
違反ポイントシステムのねらいは運転の悪癖を改善し、安全運転をめざすことです。特定の違反項目に関して有罪判決を受けると、その人の運転記録に違反点が加わります。運転記録の違反点が6点以上になると、PennDOTにおける是正措置の手続きが開始します。

6点以上に初めて達した運転者には、1点減数できる筆記試験を受けるよう書面通知が送達されます。6点以下になった後、再度6点を超えた運転者は、省の審理を受けなければなりません。さらに6点以上が加算されると、新たな審理に加えて免許停止の対象にもなります。18未満の運転者は上記のほか、6点以上の違反または26マイル以上超過の制限速度違反で有罪となると免許停止処分となります。初回処分者の免許停止は90日間、2度目以降の停止期間は120日間です。

各项目的違反点数はwww.dmv.pa.govのThe Pennsylvania Point Systemページに掲載されています。

安全運転でポイント軽減
免許停止・取消を受けていない状態であれば、点数の加算、免許停止・取消の対象となるような違反を犯さない限り、連続12か月ごとに3点ずつ違反点が軽減されます。違反点が0に戻った後、連続12か月間に違反点の追加がなければ、それ以降の違反は初回扱いとなります。

免許停止と免許取消
以下の交通違反を犯すと、運転免許は停止または取消となります。（以下は一部リストです。）

- アルコールや薬物の影響下での運転
- 運転の結果として受けた重罪判決
- 死亡事故
- 無謀運転
- 道路上の競走
- 警察官からの逃走
- 運転免許停止・取消中の運転
- 逃避の目的、識別を回避するための消灯運転
- 衝突後の無停止運転（当て逃げ）
- 5年間に2回以上の無免許運転
- スクールバスの赤点滅やSTOP標示板を示す時の無停止（60日間免許停止）
- 線路の遮断機無視（30日間免許停止）

運転免許が停止・取消または失格（処罰）になると、その処分開始日を記載する通知が送達されます。運転免許・仮免許仮免許・カメラカードは必ず期日までに運転免許局まで返却しなければ、州警察および自治体警察に対してその運転免許証を没収する通告が発せられます。
第4章-法律関連事項

運転免許や承認書を返却した日付に関わらず、停止・取消・失格（処罰）の発効は、処罰通知の記載日からとなります。記載日以前に返却しても、処分の日程が繰り上がることはあります。運転免許証・承認書の返却は法律で義務付けられています。制裁への異議申し立てはCourt of Common Pleas（民事手続で行ってください。この申立手続は省当局の通知発送日から30日以内に開始してください。運転の特権は、処罰の規、定に従い、必要条件を全て満足させなければ回復できません。

運転免許の回復後は、免許停止前の違反点数に関わらず、新たに5点が運転記録に残ります。ただし以下の場合は例外となります。

- 2度目の6点積算で行われた審理の結果、15日の停止処分となった場合。
- 出廷通知を無視して免許停止となった場合。

無保険運転

- ペンシルベニア州法では、自動車賠償保険への常時加入が義務付けられています。
- PennDOTの調べにより31日以上の無保険期間が発覚した場合には、その車の登録は3か月停止処分となります。さらに無保険の車両を運転したり、人に運転させた場合には、あなたの運転免許が3か月の停止処分となります。
- 運転免許と自動車登録の停止処分を回復するためには、以下を提出してください。
  - 現在有効な自動車保険証書
  - 所定の停止処分回復手数料

警察の取り締まりを受けたとき

ペンシルベニア交通法で違反の告発を受けたときには、法執行機関の担当員による交通違反通知書の交付を受けます。取り締まり警察官の指示に従わなければ逮捕の対象となります。警察車両の上部の赤青ランプが点滅した場合、警察官による車の停止を命令しています。場合によっては覆面パトカーが赤ランプを点滅することもあります。

警察では後方の警察車両から停止指示を受けたときのために、以下の安全事項を指導しています。

- 方向指示器を出して、できるだけ通行路から離れた安全な道路右わきに停車・駐車します。
- エンジンとラジオを止め、警察官と話ができるように窓ガラスを下ろしてください。
- 夜間は車の停止と同時に、警察官が近づく前に車内灯を点灯してください。
- 車内では運転者も同乗者も静かにして、大きく身体を動かさないでください。車内の物を探さないようにしてください。
- 車内に銃器類があるときは、まず警察官に知らせておいてください。
- 両手はハンドルに置き、同乗者にも両手を見せるよう指示してください。
- 警察官が接近する前に、ドアは閉じたままにしてけてください。
第4章-法律関連事項

パトカーの点滅灯は赤青の場合と、赤点滅の覆面車の場合とあります。点滅白灯が上記に加わる場合もあります。青点滅のみの場合は警察ではありません。赤青または赤ランプを点滅して停止を命じる車両が、正規の警察かどうかが疑わしいときは、停止命令に応じていることを合図するためハザードランプをつけ、減速した状態で、明るく人目のある地点まで近距離移動してください。取締官の身分証明IDを見せてもらうこともできます。特に私服の取締官や覆面車に停止を命じられたときは、必ず呈示を要請してください。覆面パトカーの警察官は、ほぼ例外なく制服を着用しています。警察官は常に写真付IDカードとバッジを所持しています。

事故現場
事故当事者でない限り、または救急車を待つ間を除き、事故現場の路上には車を止めないようにします。運転中は注意をそらさず、そのまま進行してください。路上や周囲に人がいないか警戒します。警察・消防・救急・牽引車などの救助活動を妨げないようにしてください。

事故の当事者になった場合は：
1. 事故現場またはその付近で止まります。なるべく交通を遮らないよう、車の通らない場所に止めてください。後続事故は事故現場で減速・停止するときに多発します。
2. 負傷・死亡者があるときは警察を呼びます。運転者が負傷・死亡のため警察を呼べないときは、現場近くの目撃者が必ず警察に通報してください。
3. 牽引撤去を要する車両があるときは警察を呼びます。
4. 事故の相手方運転者の情報をもらいます。
   - 氏名と住所
   - 電話番号
   - 自動車登録番号
   - 自動車保険の会社名と口座番号
5. その他の事故当事者の氏名と住所、目撃者の氏名と住所ももらいます。
6. 駐車中の車両や建物・所有物を損傷した場合には、直ちに停車して所有者を見つけます。所有者が見つからないときは、見やすい場所に連絡先のメモを置き、警官に通報します。そのメモには事故の日時・あなたの氏名と電話番号を書いておきます。
7. 負傷・死亡事故や牽引撤去を要する事故で警察の取り調べを受けなかった場合には、事故報告書を5日以内に交通事故報告書 (AA-600：Driver’s Accident Report Form) を下記まで郵送してください。
   PA Department of Transportation
   Bureau of Highway Safety & Traffic Engineering
   P.O. Box 2047
   Harrisburg, PA 17105-2047

ひき逃げ・取調べの回避
毎年450件の衝突事故が警察からの逃走によって生じており、ペンシルベニアの道路で大けが・死亡する人は40〜50人にもおよびます。警察から逃走しようとした加害者には1年間の免許停止、罰金$500、司法手続き手数料のほか拘禁の処罰もあります。

アルコール・薬物の影響下での運転
飲酒運転（DUI）の基準は?
酒醉い薬物酔い運転には重大な処罰があります。ペンシルベニアでは飲酒を許された成人者（21歳以上）は、0.08以上の血中アルコール濃度で飲酒運転と見なされます。ただし異常運転（高速走行、高速走行、車線をまたぐ走行、大回りなターン、規定外の停止、信号、標識の無視など）で事故取調べを受けた場合には、規定未満の濃度でも飲酒運転の処罰を受ける場合があります。
ペンシルベニア州法に基づく検査（酒・薬物）同意の義務
運転者には検査同意が法律で義務付けられています。ペンシルベニア州法では、運転免許を有する人は既に化学検査を受けることに同意したものと見なされます。飲酒・薬酔い運転で逮捕されながら血液または呼気検査を1回でも拒否すると運転免許は自動的に1年間の停止処分となります。この免許停止期間は、飲酒・薬酔い運転の有罪判決または早期復帰措置（ARD）で科せられた停止期間に加算されます。

有罪判決に至らなかった場合にも、(1) 検査拒否するだけで1年間の免許停止となります。検査を拒否して飲酒・薬酔い運転で有罪となった場合、逮捕時のアルコール濃度によっては免許停止期間は2年半となる場合もあります。飲酒運転で有罪または検査拒否の前科があり、新たに検査を拒否した場合の停止期間は18か月、さらに有罪判決を受けた場合には18か月、合計3年間の免許停止となります。

化学検査拒否に伴う再交付手数料
化学検査を拒否した運転者には再交付手数料が科せられます。初回手数料は$500、2回目は$1,000、3回目は$2,000です。化学検査拒否再交付手数料は、ペンシルベニア州道路交通法の第75条1960項に規定されている通常の再交付手数料に加算されます。化学検査拒否再交付手数料の支払い方法は支払保証小切手または郵便為替のみとなります。

刑の引き上げ
刑の引き上げには、血中アルコール濃度、飲酒運転事故の負傷・物損被害の程度、飲酒運転の犯歴の3要素が関係します。

飲酒運転の程度によって異なる刑罰を以下の3表に示します。表に示す刑罰に加えて、初回と2回目の飲酒運転ではその程度に関わらず飲酒運転安全講座の受講が義務付けられています。高濃度の血中アルコール検出または化学検査拒否で免許停止となった飲酒運転者は、その再犯回数を問わずアルコール・インターロックの設置を義務付けられます。インターロック設置を義務付けられ、かつ運転免許の復活を申請する運転者は、制限免許の交付条件としてその期間中に運転しようとする全ての車に装置を取り付けなければならない。所有車・登録車・運転対象車が本人にない場合は、PennDOTの規定にあてはめて証書が必要となります。さらに醉いの程度と再犯回数に関わらず、アルコール依存症検査と治療を裁判所に命じられる場合もあります。加えて150時間の社会奉仕を判事に命じられることもあります。

21歳未満で飲酒運転に有罪（血中濃度0.02以上）となった場合は、濃度に関わらず表2「高レベルの違反」の処罰が適用されます。

負傷・死亡事故や物損事故の加害者は、表2の血中濃度より低かった場合でも表2レベルの処罰が適用されます。
麻薬等運転や化学検査拒否には、表3「超高レベルの違反」の処罰が適用されます。
初犯で「高」または「超高」処罰の対象となった場合は、早期復帰措置（ARD）プログラムへの参加を認められる場合もあります。

表1 - 一般レベルの違反：血中濃度.08〜.099
（注：飲酒年齢に達した成人運転者を対象とする。）

<table>
<thead>
<tr>
<th>処罰</th>
<th>初犯</th>
<th>2 回目</th>
<th>3 回目</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>刑期</td>
<td>保護観察 6 か月</td>
<td>拘禁 5 日〜6 か月</td>
<td>拘禁 10 日〜2 年</td>
</tr>
<tr>
<td>罰金</td>
<td>$300</td>
<td>$300〜$2,500</td>
<td>$500〜$5,000</td>
</tr>
<tr>
<td>運転免許</td>
<td>そのまま</td>
<td>停止 12 か月およびインターロック装置 1 年</td>
<td>停止 12 か月およびインターロック装置 1 年</td>
</tr>
</tbody>
</table>

表2 - 高レベルの違反：血中濃度.10〜.159
（注：この表は、血中濃度.02 以上の 21 歳の未満運転者、.04 以上の業務用車両運転者、.02 以上のスクールバス運転者、.08〜.099 の重傷・死亡事故や物損事故の当事者にも適用する。）

<table>
<thead>
<tr>
<th>処罰</th>
<th>初犯</th>
<th>2 回目</th>
<th>3 回目</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>刑期</td>
<td>拘禁 2 日〜6 か月</td>
<td>拘禁 30 日〜6 か月</td>
<td>拘禁 90 日〜5 年</td>
</tr>
<tr>
<td>罰金</td>
<td>$500〜$5,000</td>
<td>$750〜$5,000</td>
<td>$1,500〜$10,000</td>
</tr>
<tr>
<td>運転免許</td>
<td>停止 12 か月およびインターロック装置 1 年</td>
<td>停止 12 か月およびインターロック装置 1 年</td>
<td>停止 18 か月およびインターロック装置 1 年</td>
</tr>
</tbody>
</table>

表3 - 超高レベルの違反：血中濃度.16 以上
（注：この表は、血中濃度にかかわらず化学検査を拒否した者、処方のスケジュール I・II・III 薬物影響下の運転者、アルコールと吸入薬等の併用運転者にも適用する。）

<table>
<thead>
<tr>
<th>処罰</th>
<th>初犯</th>
<th>2 回目</th>
<th>3 回目</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>刑期</td>
<td>拘禁 3 日〜6 か月</td>
<td>拘禁 90 日〜5 年</td>
<td>拘禁 1 年〜5 年</td>
</tr>
<tr>
<td>罰金</td>
<td>$1,000〜$5,000</td>
<td>$1,500</td>
<td>$2,500 以上</td>
</tr>
<tr>
<td>運転免許</td>
<td>停止 12 か月およびインターロック装置 1 年</td>
<td>停止 18 か月およびインターロック装置 1 年</td>
<td>停止 18 か月およびインターロック装置 1 年</td>
</tr>
</tbody>
</table>

飲酒運転で保護観察または拘禁 6 か月までの刑期（レベルを問わず初犯、または一般・高レベルの犯歴 2 回）を受けた場合は、犯罪区分が無等級の軽罪として扱われます。無等級の軽罪においては、無罪を主張しても陪審員裁判はありません。

高・超高レベルでも初犯者であれば早期復帰措置（ARD）プログラムに参加できる場合があります。

早期復帰措置（ARD）プログラムに参加すると：
- プログラム参加により、免許停止期間が 90 日以下に短縮。
- 裁判所の監督下の期間は 6 か月間。
- 罰金は、各種手数料・費用に加えて $300〜$5,000。
- アルコール・薬物依存検査の受診が義務付けに。
- 必要と判断された場合は、アルコール・薬物依存症の治療に参加。
- 12.5 時間の飲酒運転安全講座の受講が義務付けに。
未成年者飲酒運転禁止法（21 歳未満の違反）

未成年者飲酒運転禁止法（ゼロ・トレランス法）により、21 歳未満にはわずかでもアルコールが血中に検出された場合には厳罰が設けられています。この法律をもって未成年者（21 歳未満）の飲酒運転の基準となる血中アルコールの許容濃度は、.08 から.02 にまで引き下げられています。

ゼロ・トレランス法の根拠は？
交通事故は、全米における青少年の死因の第一位です。
車の運転には、状況変化に即座に反応する能力が求められています。安全運転には、周囲の状況を随時判断しながらの車を操作できなければならない、油断は禁物です。アルコールはこうした様な実行能力を鈍化させます。

21 歳未満で飲酒運転の初犯となった場合、2 日〜6 か月の拘禁と 1 年の免許停止、さらに$500〜$5,000 の罰金を科せられます。

未成年者の飲酒
21 歳未満の青少年がアルコールを買う・飲む・所持する・運転車に積載することは法律違反となります。未成年逮捕者に対する血液・呼気・尿検査の実施には保護者の同意は不要ですが、逮捕の詳細は警察から保護者に通知されます。未成年者の飲酒には$500 以上の罰金と司法手数料が科せられます。

アルコール依存度の診断や依存症に関する講習・指導・カウンセリングを法廷に命じられることもあります。

重要ポイント：21 歳未満の青少年がお酒を飲むこと・持ちこと・運ぶことは法律で禁じられています。

違反の結果は重大です。
未成年にお酒を与える大人には初犯で$1,000 以上、2 回目からは$2,500 の罰金に加えて 1 年までの拘禁の処罰もあります。大人が自宅で自分の子供以外の未成年にお酒を与えることも違法です。例えば未成年者 17 人があなたの家でお酒を飲んだ時、その罰金は最大$41,000 となる可能性があります。
1 人目が$1,000、残りの 16 人に各$2,500 の計算です。

運転免許の州間協定（DLC）

他州やコンピア特別区との協定により、全米的な法執行活動が実施されています。参加各州に共通する主な執行項目は：

- 運転免許の再申請制度により、州外からの転居者が運転免許を申請するとき、以前の居住州の免許証は回収されます。
- 運転記録の再申請制度により、居住州ならびに他の管轄区域における運転資格の判断基準となる運転記録は、居住州が一括管理を行います。
- 居住州以外の州で生じた違反の有罪判決や運転免許の停止・取消処分などの情報は、居住州の当局に通知されます。
- 他州で犯した違反にも、居住州の違反と同様に扱われるよう、処罰の一貫性が保たれています。

以下の違反が他州で生じた場合にはペンシルベニア州内の違反と同様に扱われ、ペンシルベニア道路交通法に基づいて措置が講じられます。

- 危険運転致死罪または自動車運転過失致死罪（同法第 3732 項）
- 酒・麻薬・薬物醉いによる危険運転（同法第 3802 項）
- 自動車事故現場での無停止・無援助の結果、死傷者が出てきた場合（同法第 3742 項）
- 自動車運転の結果として生じた重罪（刑法および危険薬物取締法違反）

他州発行の通知書に無応答の場合は、当該通知書に記載の当局に応答するまでペンシルベニア運転免許が無期限失効となります。
第 4 章の復習

1. 州の飲酒年齢は______ 歳から。
   - A. 9
   - B. 20
   - C. 21
   - D. 18

2. 16 歳未満が ID カードを偽ってお酒を購入すると：
   - A. 16 歳の誕生日から運転免許が停止となる
   - B. 21 歳の誕生日まで運転試験を受けられなくなる
   - C. 21 歳の誕生日から運転免許が停止となる
   - D. 飲酒運転安全講座の受講が義務付けられる

3. 運転していない 21 歳未満の青少年が飲酒したとき、それが初犯であれば：
   - A. 運転免許停止 90 日と罰金$500 以下
   - B. 保護観察 6 か月
   - C. 刑務所に送られる
   - D. 運転記録に違反点が付く

4. 呼気検査・血液検査・尿検査を受けるための保護者の同意は：
   - A. 必要なし
   - B. 保護者 1 人の同意が必要
   - C. 16 歳未満には必要
   - D. 両親の同意が必要

5. 21 歳未満の青少年が______ することは法律で禁じられている。
   - A. お酒の広告のある服を着る
   - B. お酒のある場所に居る
   - C. お酒を飲む
   - D. お酒を注ぐ

6. 21 歳未満の青少年が______ することは法律で禁じられている。
   - A. お酒の広告のある服装を着る
   - B. お酒を所持する
   - C. お酒を注ぐ
   - D. お酒のある場所に居る

7. 21 歳未満の青少年が______ することは法律で禁じられている。
   - A. お酒を注ぐ
   - B. お酒の広告のある服装を着る
   - C. お酒のある場所に居る
   - D. お酒を運ぶ・移動する

8. 飲酒運転で有罪になると：
   - A. 運転免許 5 年停止
   - B. 罰金$100.00
   - C. 飲酒運転安全講座の受講
   - D. 拘留 12 時間
9. 飲酒運転で逮捕されたとき、血液検査を拒否すると：
   A. 薬物カウンセリングを受けるよう命じられる
   B. 1日拘留される
   C. 運転免許停止となる
   D. 罰金$300.00

10. 警察官に血液・呼気・尿検査を命じられたら：
   A. 受けたい検査を本人が選べる
   B. 同意書に署名しなければならない
   C. 未成年は拒否できる
   D. 検査を受ける。拒否すれば運転免許停止となる

11. 飲酒運転で有罪判決を受けたとき、それが初犯であれば血中アルコール濃度に関わらず：
   A. 運転免許が5年間失効する
   B. 飲酒運転の危険について講習を受けなければならない
   C. 制限付きの業務車運転免許で運転しなければならない
   D. $300以上の罰金となる

12. 飲酒運転と見なされる血中アルコール濃度は、21歳未満の青少年では：
   A. .08％以上
   B. .10％以上
   C. .05％以上
   D. .02％以上

13. 21歳未満の青少年が酒運転で有罪となったとき、それが初犯であれば運転免許の失効期間は______。
   A. 60日
   B. 30日
   C. 6か月
   D. 1年

14. 21歳未満の青少年が偽造IDカード所持で有罪判決を受けたとき、罰金$500のほかに運転免許が90日失効するのは：
   A. 血中アルコール濃度が.02％以上あったとき
   B. 運転時でなくても
   C. 運転時に取り締まりを受けたとき
   D. 運転時に取り締まりを受け、血中アルコール濃度が.02％以上あったとき

15. 未成年者飲酒運転禁止法により、未成年者の血中アルコール濃度は.08％から______に引き下げられた。
   A. 02％
   B. 05％
   C. .07％
   D. .00％

16. 運転中に警察官から停止を命じられた：
   A. シートベルトを外して窓を下ろす
   B. 警察官が接近する前に書類を出しておく
   C. 両手をハンドルに置いたまま車を出ず、警察官が接近するまで待つ
   D. 車を降りて警察車両に向かって歩く
<table>
<thead>
<tr>
<th>番号</th>
<th>答え</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>1</td>
<td>C</td>
</tr>
<tr>
<td>2</td>
<td>A</td>
</tr>
<tr>
<td>3</td>
<td>A</td>
</tr>
<tr>
<td>4</td>
<td>A</td>
</tr>
<tr>
<td>5</td>
<td>C</td>
</tr>
<tr>
<td>6</td>
<td>B</td>
</tr>
<tr>
<td>7</td>
<td>D</td>
</tr>
<tr>
<td>8</td>
<td>C</td>
</tr>
<tr>
<td>9</td>
<td>C</td>
</tr>
<tr>
<td>10</td>
<td>D</td>
</tr>
<tr>
<td>11</td>
<td>D</td>
</tr>
<tr>
<td>12</td>
<td>D</td>
</tr>
<tr>
<td>13</td>
<td>D</td>
</tr>
<tr>
<td>14</td>
<td>B</td>
</tr>
<tr>
<td>15</td>
<td>A</td>
</tr>
<tr>
<td>16</td>
<td>C</td>
</tr>
</tbody>
</table>
住所変更と氏名変更の届出
氏名または住所を変更したときには、州外に転居する場合も含めてその変更から15日以内に、PennDOTまでペンシルベニア州道路交通法の第1515項に規定に基づく届出を行ってください。住所変更届はウェブサイトwww.dmv.pa.govまたは電話窓口717-412-5300で受け付けられています。ペンシルベニア住民以外に運転免許を発行することはペンシルベニア州道路交通法で禁じられています。ペンシルベニアの有権者であれば、この届出により選挙区の有権者管理名簿にも当局から通知するよう法律で定められています。普通自動車免許の変更/修正/交換申請書(DL-80:Non-Commercial Driver's License Application for Change/Correction/Replacement)を使って氏名の変更を届け出ることもできます。この様式はウェブサイトからダウンロードできます。届出の変更を記載した運転免許更新カードが交付されます。このカードは必ず運転免許と共に携帯してください。この更新は、普通自動車免許の保持者には無料です。

シートベルトの法律
ペンシルベニア州道路交通法第4581項により、以下が定められています。

- 車・軽トラック・モーターホームの運転席と前部座席ではシートベルト着用が義務付けられています。
- 8歳以上18未満の未成年には、車内のどの座席でも必ずシートベルトを着用させてください。
- 運転者が18未満の車の最大乗員数は、シートベルト設置数です。

シートベルト着用は法律で義務付けられています。シートベルトは安全に役立ちます。衝突時の衝撃は、手や足で支えればいいと思っている人がよくありますが、それは間違いです。衝突時にストップするのは車体だけで、人体は走行速度そのままカーペンターやフロントガラスに激突します。多くの場合、車内で人体が何かにぶつかる衝撃力は数トンあります。どんなに強い手足でも、これだけの力にはなりません。時速30マイル時でも3階建てのビルの頂上からの落下の衝撃に匹敵します。両手でも支えきれません。シートベルトなしの状態では、わずか時速12マイルでも死亡事故になることがあります。

シートベルトがあれば車内にとどまることができます。車外に放出されると、死亡率は25%高まります。フロントガラスを破って完全放出されると、外の障害物に激突します。衝撃力によっては150フィート(46m)まで飛躍します。縦にねじれ10台を飛び越す勢いです。路上にころがると、横たわっているうちに車にひかれる危険もあります。車外完全放出死者5人のうち4人は、シートベルトさえ着用していれば命をとりとめています。

シートベルトとエアバッグは命を守ります。ただし全員がシートベルトを着用し、子供が正しく後部チャイルドシートに固定されていたければその効果を得ることはできません。
チャイルドシートに関する法律

合衆国における子供の死因は交通事故が第一位です。ペンシルベニアでは毎年約7,000人の5歳未満の子供が交通事故にあります。

自動車児童保護法第229号の規定

<table>
<thead>
<tr>
<th>4歳未満の子供は連邦政府認定の乳幼児用チャイルドシートに座らせうえで、前後座席のいずれであれ、車のシートベルト（新型車ではラッチ機能）でさらに固定してください。</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>4歳以上8歳未満の子供は、連邦政府認定のジュニアシートを、前後座席のいずれであれ、車のシートベルトで固定してください。ジュニアシートには、必ず腰ベルトと肩ベルトの両方を着用します。</td>
</tr>
<tr>
<td>8歳以上18歳未満の未成年は前後のいずれの座席であれシートベルトを着用してください。</td>
</tr>
<tr>
<td>安全認定シートに子供を固定させ、18歳未満の未成年に対してシートベルトを着用させるのは、運転者の責任です。違反者には罰金のほかに司法手続き費用の請求もあります。</td>
</tr>
</tbody>
</table>

2歳未満の乳幼児は、身長と体重がメーカー仕様基準に達するまで、後向きチャイルドシートに固定してください。ただしエアバッグがあるときは、後向きシートを前部の座席や助手席に配置することは絶対にしないでください。事故時に作動したエアバッグがチャイルドシートの後ろから開いて子供の頭を打つ、深刻な負傷・死亡事故となります。

8歳未満の子供を車に乗せるときは、連邦政府認定のチャイルドシート・ジュニアシートを車に正しく装備し、子供の安全を確保できるよう、所定のマニュアルをよく確認してください。

子供とペットの安全注意事項

車内放置の熱中症

気温が上がると、車内の子供やペットの命にかかわる熱中症の危険も高まります。車内温度は急上昇します。外気温度が約80°F（27°C）のとき、窓を数センチ開けた状態でも、車内温度は10分以内で危険域に達します。

熱中症の予防法

- 窓を一部開けた状態でも、子供やペットは車内に絶対に放置しないでください。
- 子供だけで車の中で遊ばせないでください。
- かばん・ブリーフケース・携帯電話などの必需品は後部座席に置くようにして、子供がいることに気づきやすくなります。
- チャイルドシートが空席のときは、できるだけぬいぐるみなどを載せておきます。子供を車に乗せるときには、ぬいぐるみを前部座席に置かれれば、子供がいる目印になります。
- 熱中症のさらに詳しい予防法はhttps://www.safercar.gov/parents/InandAroundtheCar/heatstroke.htmをご覧ください。

冬の上着とチャイルドシート

冬になると上着が厚手になりますが、子供の上着のかさばりはチャイルドシートの安全性を損ねます。どんな上着も衝突時には影響を生じますが、冬の上着は固定ベルトの隙間を緩めるため特に危険です。チャイルドシートのベルトは子供の身体にぴったり合わせて安全を確保してください。

冬の子供の安全情報については、PennDOTウェブサイトhttp://www.penndot.govをご覧ください。
エアバッグの注意事項

- エアバッグは補助的な安全装置です。腰ベルトと肩ベルトは必ず着用してください。シートベルトは腰の前にぴったりと、肩ベルトは首に当たらないように胸の上で調整します。
- 運転席と前部助手席はなるべく後方に固定します。特に身長の低い人ほど後ろにしてください。足にペダルが届き、パネル装置やハンドルが操作できる範囲で、エアバッグからはできるだけ離れて座るようにします。エアバッグの作動に備えて、ハンドルからは少なくとも10インチ（25cm）離れておいてください。
- ハンドルを持つ手は9時と3時、または8時と4時の位置に構えます。これにより、エアバッグ作動時に手首や腕で顔を打つ負傷を防ぐことができます。親指はハンドル内側まで握りこまないように、外側から添えます。
- 後向きベビーシートの乳児は、絶対にエアバッグ装備の助手席には乗せないでください。
- 12歳未満の子供は、なるべく後部座席に乗せるようにしてください。この理由は2つあります。まず自動車事故は前方衝突がほとんどなので、後部座席の方が安全です。さらに子供が動きまわってエアバッグの前に乗り出したときにエアバッグが作動すると大変危険だからです。

アメリカ障害者法（ADA）

PennDOTの運転免許センターと免許証写真センターの各施設は1990年のアメリカ障害者法に準拠しており、全ての施設が障害者にも利用可能です。聴覚障害者・視覚障害者向けの知識試験・運転実技試験の受験支援サービスも提供しています。

聴覚障害者のための手話通訳

PennDOT運転免許局（Bureau of Driver Licensing）では、聴覚障害のある希望者には手話通訳を提供しています。

運転免許取得のための知識試験・運転実技試験、あるいは違反ポイント試験の受験希望者へのサービスです。

希望者は受験予定日の少なくとも2週間前にPennDOTまで問い合わせてください。PennDOTではご希望の手話通訳の手配を試みます。

障害者用サービスの申し込み方法

1. 手話通訳と受験の予約は717-412-5300までご連絡ください。TDD機器の番号は711です。

2. 予約時に希望する手話の種類を指定してください。以下の手話を選べます：
   - アメリカ手話（ASL）
   - 英語対応手話（SEE）
   - ビジン手話（PSE）
   - 読話通訳（英語）
その他の受験法
失読症・識字障害のため知識試験の受験が困難なときには、口頭で朗読してもらいながらの受験も可能です。受験時の朗読サービスは州各地の運転免許センターで希望に応じて実施しています。

障害者専用の駐車スペース
ペンシルベニアの法律では、障害者専用の駐車スペースに合法的に車を止めるためには、2つの条件を満たす必要があります。
1. 車には障害者・障害退役軍人の登録票/ブラッドカードを必ず表示すること
2. 障害者または重症障害退役軍人が運転する、または同乗する車であること
障害者専用スペースに違法駐車した車は撤去される場合があり、その返還には手数料がかかります。この駐車違反は略式起訴で有罪となります。違反の罰金は$50〜$200です。

ポイ捨て禁止の法律
車から公共・民間の水域に紙屑・掃きくず・灰・家庭廃棄物・ガラス・金属・ゴミ、または危険物・迷惑物を（所有者の許可を得ずに）捨てる・落とす・放置するなどの行為は、州の法律で禁じられています。運転者・同乗者の行為に関わらず、この違反で有罪となった場合は、当該車の運転者に対して$300の罰金となります。

車両の安全・排ガス点検
車の点検は、必ず認定整備所で12か月ごとに受けてください。次の点検期限は車のステッカーに記載してあります。次の期日の90日前から点検が有効です。警察に整備の不具合を指摘されたときは、5日以内に修理しなければ通知書発行の対象となります。郡によっては安全点検の一環として乗用車・バン・軽トラック（1975年型以降）に排ガス装置システムの点検が義務付けられているところも多くあります。排ガス点検はPennDOT認定の民間整備所で受けてください。お住まいの郡の排出ガス点検要件については1-800-265-0921までお問合せください。

法律上の安全な追い越し
1. 自転車を追い越す時は、必ずその安全を判断してから追い越してください。対向車の接近を確認します。
2. 自転車を安全に追い越すためには最低4フィート（1.2m）が車と自転車との間に必要です。
3. 各方向1車線の道路では、駐停車中の車などの危険を回避するためには、自転車は路上のどこを走行することも許されています。
4. 車は、自転車が道路や路肩を走行中のときは、自転車の前を横切って右左折することは禁じられています。
5. 車が自転車を過ぎるときはその安全を確認します。これに違反は刑事起訴の対象となります。
6. 自転車には一般車両と同じ交通規制が適用されます。ただし低速走行が交通妨害と見なされるのはありません。

詳細はペンシルベニア自転車運転マニュアル（PUB 380：Pennsylvania Bicycle Driver's Manual）をご参照ください。
http://www.dot.state.pa.us/public/pubsforms/Publications/Pub%20380.pdf
携帯メール・SMS・テキスト禁止の法律
2012年3月8日の施行により、同法への違反だけでも警察取り締まりの対象となり、略式起訴での有罪罰金は$50となります。

法律上の規定
• 無線通話通信装置（Interactive Wireless Communication Device： IWCD）とは、携帯電話・携帯デジタル機器・スマートフォン・ポータブル/モバイル機器などのテキスト・チャット・メール・ネット閲覧対応の装置であると定義しています。
• テキストとは、無線通話通信装置を用いて送受信するところの文字メッセージ・インスタントメッセージ・メールなどであると定義しています。
• 各自治体に無線通信装置に関する交通規制が現存する場合であっても、同法が優先となります。

同法は、無線通話通信装置の没収権を当局に認めるものではありません。GPS装置・車載型もしくは車両にデジタル接続する機器・公共交通機関のバスやスクールバスで用いる通信機器は、同法の適用外となります。

危険警戒時の交通規制遵守法
2012年9月6日の施行により、道路冠水など危険回避のための標識等の交通規制を無視したり通過する行為が違法となっています。同法違反の有罪判決は、運転記録に2点追加かつ最高$250の罰金となります。さらに違反行為により緊急救助の動員が必要となった場合には罰金が$500に引き上げられるほか、救助費用の請求の対象となります。
第6章: 参考情報

この章では情報源・申請書・各種書類について簡単に説明します。

電話窓口

車の運転と自動車登録に関する電話情報は24時間体制でご利用いただけます。
電話でのお問い合わせは月〜金の午前8時〜午後5時の時間帯で相談員が受け付けています。

祝祭日以外の直通電話は: 717-412-5300 TDD: 711

運転実技試験と点数試験の予約方法
ポイント
試験と普通自動車運転実技試験の受験には予約が必要です。運転実技試験または点数試験を受ける準備ができたら、ウェブサイトwww.dmv.pa.govのDriver and Vehicle Servicesページから予約を依頼してください。ウェブサイトを利用できないときは、祝祭日を除く月曜〜金曜の午前8時〜午後5時の時間帯にフリーダイヤル1-800-423-5542電話窓口をご利用ください。

注: 18歳未満の未成年者は、仮免許取得日から6か月が経過し、かつ運転練習65時間を満足しなければ運転実技試験は受けられません。

普通運転免許の認定民間試験プログラム
PennDOTでは、有料で運転実技試験を行う民間業者の認定を行っています。PennDOT認可代行業者の試験官による試験は、PennDOT運転免許センターで行う試験と同じです。認定業者リストはwww.dmv.pa.govに掲載されています。

各種申込書と情報のオンライン版
運転免許と交通に関する各種案内・申込書・パンフレット・情報は、PennDOTウェブサイトwww.dmv.pa.govのDriver and Vehicle Servicesの欄に掲載されています。

州マップ・郡マップ
地図に関するお問い合わせは祝祭日を除く月曜〜金曜の午前8時〜午後4時の時間帯に電話1-717-787-6746で受け付けています。

自動車安全情報ホットライン
合衆国運輸省の交通安全ホットラインは1-800-424-9393またはwww.nhtsa.dot.govです。

511PA
511PAは渋滞情報や天気予報、地域の観光地、交通状況、主要空港などの情報を24時間体制で提供する無料サービスです。携帯電話または固定電話から511にダイヤルするか、またはwww.511PA.comをご利用ください。511PA交通情報サービスはペンシルベニア・ターンパイクなどの州間幹線道路全1,759マイルのほかパースバー、フィラデルフィア、ピッツバーグ各都市の主要道路も網羅しています。事故情報・建設工事・冬季道路情報などの交通ニュースを主に提供しています。主要幹線道路と都市部の平均走行速度の情報もあります。ウェブサイトにユーザー登録するとメールやテキストによる最新交通情報も入手できます。ただしPennDOTでは運転中に511PAを使用することは推奨していません。サービス利用の際には道路わきに安全に停止するか、または出かける前に交通情報をチェックしておいてください。
一酸化炭素中毒
無臭の有毒ガス一酸化炭素は、全種のガソリン駆動車の排気パイプから放出されます。一酸化炭素には臭いがありません。眠気や吐き気を催したときは、一酸化炭素中毒の症状かもしれません。

一酸化炭素中毒の症状
- 疲労・倦怠感
- めまい
- 頭痛
- 吐き気・嘔吐
- 心拍数の増加
- 呼吸困難
- 思考混乱、意識障害
- せき
- 胸痛

車内での一酸化炭素中毒の防止
- 車内の一酸化炭素中毒の予防には、車の排気システムやマフラーの定期的な点検が最も効果的です。排気システムの穴などに気づいたら、ただちにプロに点検してもらってください。
- ガレージのドアを閉じたままや半開きのままで車を温めないでください。ガレージ内でエンジンをかけるときは、ドアを完全に開放してください。
- キーレス車を同棟ガレージに入れるときは、必ずエンジン停止を忘れないようにしてください。
- 雪の日は排気パイプに詰まった雪や氷を必ず除去してください。
- 洪滞などでアイドリング停止中のは、窓を少しでも開けるようにしてください。
- バッテリー式の一酸化炭素濃度センサーを車内に取り付けて、毎年春秋のサマータイム切り換え時にバッテリー交換することをお勧めします。
- 車内で一酸化炭素中毒が気になったときは、ただちに車外出て新鮮な空気を吸い、救急医療サービスに通報してください。
### 索引

#### 合図のしかた:
- 減速・停止時の合図 ........................................ 44
- 非常時の合図 ............................................... 45
- 方向変更の合図 ......................................... 45

- あおり運転、対処法 ........................................ 61
- アクセルの引っ掛かり、故障 .............................. 63
- アメリカ障害者法（ADA） ................................. 92
- アルコールと運転 .......................................... 34

#### 安全の人的要素:
- 飲酒運転 .................................................. 34
- 健康状態 .................................................. 34
- 疾患と体調の影響 ......................................... 34
- 視力 .......................................................... 34
- 睡眠不足 .................................................. 33
- ながら運転 .................................................. 33
- 不注意 ...................................................... 33
- 耳の慣れ .................................................. 34
- 薬物と運転 .................................................. 35

#### 案内標識:
- 一酸化炭素中毒 ........................................... 96

#### 違法薬物:
- 飲酒運転（DUI） ......................................... 83
- 飲酒運転（DUI） ......................................... 83, 35
- インターネットのアドレス .................................. 93

#### 運転記録とは ........................................ 81

#### 運転試験:
- 実技試験 .................................................. 5
- 知識試験 .................................................. 5
- 合格したら .................................................. 6
- 不合格のとき ............................................... 6
- その他の受験法 ........................................... 93

#### 運転免許/仮免許:
- いつ、誰に必要か ........................................... 3
- 運転免許クラスの選び方 .................................. 4
- クラス別運転免許 ......................................... 4
- 若年者の仮免許 ............................................ 3
- ジュニア運転免許 ......................................... 3

#### 運転免許の州間協定（DLC） ................................ 86

#### 運転免許のクラス分け .................................. 4

#### 運転免許の停止と取消 .................................. 4

#### エアバッグの安全 .......................................... 92

#### 追い越し:
- 2車線道路での追い越し .................................. 47
- 追い越しをするとき ....................................... 47
- 禁止 ....................................................... 48
- 右からの追い越し ......................................... 48

#### 外国の運転免許 .......................................... 3

#### 滑走したら ............................................... 62

#### 仮免許:
- 仮免許の申請 ............................................. 1
- 若年者の仮免許 ............................................ 3
- ジュニア運転免許 ......................................... 3

#### 冠水道路 .................................................. 62

#### 危険な通路運転 ........................................... 35

#### 危険な状況への対処法:
- 合図のしかた ............................................... 45
- アクセルの引っ掛かり ..................................... 63
- 滑走したら ............................................... 62
- 冠水道路 .................................................. 62
- 急停止するときは ......................................... 62
- すべりやすい道路状況 ..................................... 41
- 対向車の緊急回避 ......................................... 65
- タイヤのパンク ............................................ 63
- トラックのブレーキ ......................................... 59
- ぬれた路面 ............................................... 41
- ハイドロプレーニング現象 ................................... 42
- ハンドルの切り方 ......................................... 61
- ブレーキの故障 ............................................. 63
- ホーンの使い方 ............................................. 45
- 補装を踏み外したら ....................................... 64
- 雪と凍結 ................................................... 42

#### 規制標識 ................................................... 10
- 霧の中 ..................................................... 43
- 緊急車両 ................................................... 60
- 緊急妨害禁止令 ............................................ 60

#### 車の運転のしかた ........................................ 32

#### 車の走行:
- 危険の回避は1つずつ ...................................... 41, 42, 43
- 車の流れ .................................................. 44
- 循環交差点、ラウンドアバウト .......................... 50
- 低速車 .................................................... 44
- 車の点検、運転準備 ....................................... 32

#### 警戒標識 ................................................... 13

#### 警察の取り締まりを受けたとき ............................ 82

#### 警察の取り締まりを受けたとき ............................ 82

#### 警察取調への回避、ひき逃げ ............................ 83

#### 警察取調への回避、ひき逃げ ............................ 83

#### 交差点:
- 右折する .................................................. 49
- 左折する .................................................. 49
- 交差点への接近 .......................................... 48
- 接続道路 .................................................. 50
- 通路する .................................................. 49
- 標識と路面標示、車線の48信号機とストップサイン ....... 49
<table>
<thead>
<tr>
<th>キーワード</th>
<th>ページ</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>道をゆずる順番</td>
<td>48</td>
</tr>
<tr>
<td>交差点でゆずるとき</td>
<td>48</td>
</tr>
<tr>
<td>工事区域</td>
<td>18, 55</td>
</tr>
<tr>
<td>安全コーン</td>
<td>19</td>
</tr>
<tr>
<td>工事中標識</td>
<td>18</td>
</tr>
<tr>
<td>高速道路やインターチェンジの走行：</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>高速道路に入ること</td>
<td>53</td>
</tr>
<tr>
<td>高速道路を出るとき</td>
<td>53</td>
</tr>
<tr>
<td>高速道路を走行するとき</td>
<td>53</td>
</tr>
<tr>
<td>交通信号機:</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>車線規制</td>
<td>8</td>
</tr>
<tr>
<td>信号機が故障中のとき</td>
<td>8</td>
</tr>
<tr>
<td>信号点灯と矢印信号</td>
<td>7</td>
</tr>
<tr>
<td>スクールゾーン</td>
<td>9</td>
</tr>
<tr>
<td>点滅</td>
<td>8</td>
</tr>
<tr>
<td>路切</td>
<td>9</td>
</tr>
<tr>
<td>歩行者</td>
<td>9</td>
</tr>
<tr>
<td>ランプ進入規制</td>
<td>8</td>
</tr>
<tr>
<td>申請書、各種情報案内、省当局発行</td>
<td>95</td>
</tr>
<tr>
<td>身体の健康状態</td>
<td>34</td>
</tr>
<tr>
<td>進路変更、合流、追い越し：</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>赤信号での右折</td>
<td>46</td>
</tr>
<tr>
<td>右左折</td>
<td>45</td>
</tr>
<tr>
<td>追い越しするとき</td>
<td>47</td>
</tr>
<tr>
<td>合流するとき</td>
<td>47</td>
</tr>
<tr>
<td>曲がるときの中央車線</td>
<td>45</td>
</tr>
<tr>
<td>道を横切る</td>
<td>46</td>
</tr>
<tr>
<td>Uターン</td>
<td>46</td>
</tr>
<tr>
<td>スクールバス</td>
<td>59</td>
</tr>
<tr>
<td>スピード:</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>管理</td>
<td>39</td>
</tr>
<tr>
<td>スピードの調整</td>
<td>39</td>
</tr>
<tr>
<td>制限速度</td>
<td>39</td>
</tr>
<tr>
<td>スペースの確保</td>
<td>36</td>
</tr>
<tr>
<td>すべすべやすい路面</td>
<td>41, 42</td>
</tr>
<tr>
<td>線路踏切の信号</td>
<td>9</td>
</tr>
<tr>
<td>電気寄付支援信託基金（ODTF）</td>
<td>2</td>
</tr>
<tr>
<td>葬儀の車列</td>
<td>65</td>
</tr>
<tr>
<td>ソーシャル・セキュリティー番号</td>
<td>6</td>
</tr>
<tr>
<td>その他の受験法</td>
<td>93</td>
</tr>
<tr>
<td>電気寄付者マーク</td>
<td>2</td>
</tr>
<tr>
<td>退役軍人がマーク</td>
<td>2</td>
</tr>
<tr>
<td>タイプ:</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>破裂</td>
<td>63, 64</td>
</tr>
<tr>
<td>他車への合図</td>
<td>44</td>
</tr>
<tr>
<td>他的車から見えるようにする</td>
<td>38</td>
</tr>
<tr>
<td>チャイルドシートの法律</td>
<td>91</td>
</tr>
<tr>
<td>駐車</td>
<td>53</td>
</tr>
<tr>
<td>総列駐車</td>
<td>6, 53, 54</td>
</tr>
<tr>
<td>障害者専用の駐車スペース</td>
<td>93</td>
</tr>
<tr>
<td>通訳サービス、ろうあ者・聾聴者向け</td>
<td>92</td>
</tr>
<tr>
<td>低速車がいるとき</td>
<td>44</td>
</tr>
</tbody>
</table>

索引 PA 運転マニュアル
<table>
<thead>
<tr>
<th>キーワード</th>
<th>ページ</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>点検、車の安全、排ガス</td>
<td>93</td>
</tr>
<tr>
<td>電話窓口</td>
<td>95</td>
</tr>
<tr>
<td>道路の状況：</td>
<td>62</td>
</tr>
<tr>
<td>冠水道路</td>
<td>62</td>
</tr>
<tr>
<td>すべりやすい路面</td>
<td>41, 42</td>
</tr>
<tr>
<td>ぬれた路面</td>
<td>41</td>
</tr>
<tr>
<td>ハイドロプレーニング現象</td>
<td>42</td>
</tr>
<tr>
<td>雪と凍結</td>
<td>42</td>
</tr>
<tr>
<td>トラック：</td>
<td>58</td>
</tr>
<tr>
<td>トラックの後ろを走るとき</td>
<td>58</td>
</tr>
<tr>
<td>大型積載車</td>
<td>59</td>
</tr>
<tr>
<td>トラックに追越されるとき</td>
<td>58</td>
</tr>
<tr>
<td>バックの衝突</td>
<td>59</td>
</tr>
<tr>
<td>避難ランプ</td>
<td>59</td>
</tr>
<tr>
<td>トラックのブレーキ</td>
<td>59</td>
</tr>
<tr>
<td>トラックが曲がるとき</td>
<td>58</td>
</tr>
<tr>
<td>トラックを追い越すとき</td>
<td>57</td>
</tr>
<tr>
<td>溼れた路面を滑る現象</td>
<td>42</td>
</tr>
<tr>
<td>溼れた路面</td>
<td>41, 42</td>
</tr>
<tr>
<td>排ガス点検、車の安全点検</td>
<td>93</td>
</tr>
<tr>
<td>馬車と馬上通行者</td>
<td>60</td>
</tr>
<tr>
<td>バス：</td>
<td>57</td>
</tr>
<tr>
<td>スクールバス</td>
<td>59</td>
</tr>
<tr>
<td>バックする</td>
<td>39</td>
</tr>
<tr>
<td>ハンドルの切り方</td>
<td>61</td>
</tr>
<tr>
<td>不注意（運転中はどうなるか）</td>
<td>33</td>
</tr>
<tr>
<td>踏切</td>
<td>56</td>
</tr>
<tr>
<td>踏切の標識</td>
<td>10</td>
</tr>
<tr>
<td>冬の路面、すべりやすい</td>
<td>42</td>
</tr>
<tr>
<td>ブレーキの故障</td>
<td>63</td>
</tr>
<tr>
<td>ブレーキ停止</td>
<td>59, 61</td>
</tr>
<tr>
<td>軍車の勤務者</td>
<td>3</td>
</tr>
<tr>
<td>ヘッドライド</td>
<td>40, 41</td>
</tr>
<tr>
<td>ヘッドライドとワイパーに関する法律</td>
<td>43</td>
</tr>
<tr>
<td>ヘッドレスト（後頭部）の調節</td>
<td>33</td>
</tr>
<tr>
<td>ポイントシステム、ベンシャルベニアの</td>
<td>81</td>
</tr>
<tr>
<td>ポイント軽減、安全運転による</td>
<td>81</td>
</tr>
<tr>
<td>法律：</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>アメリカ障害者法（ADA）</td>
<td>92</td>
</tr>
<tr>
<td>アルコールまたは</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>運転免許の州間協定（DLC）</td>
<td>86</td>
</tr>
<tr>
<td>危険警戒時</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>検査に同意する義務</td>
<td>84</td>
</tr>
<tr>
<td>検査に同意する義務（アルコールと薬物）</td>
<td>84</td>
</tr>
<tr>
<td>交通規制遵守法</td>
<td>94</td>
</tr>
<tr>
<td>子供とペットの安全注意事項</td>
<td>91</td>
</tr>
<tr>
<td>シートベルト</td>
<td>90</td>
</tr>
<tr>
<td>自転車の法律</td>
<td>93</td>
</tr>
<tr>
<td>自動車保険、無保険運転</td>
<td>82</td>
</tr>
<tr>
<td>氏名と住所</td>
<td>90</td>
</tr>
<tr>
<td>障害者専用の駐車スペース</td>
<td>93</td>
</tr>
<tr>
<td>ゼロ・トレランス（21 歳未満の飲酒運転）</td>
<td>86</td>
</tr>
<tr>
<td>チャイルドシートの法律</td>
<td>91</td>
</tr>
<tr>
<td>通知の義務、氏名変更または住所変更</td>
<td>90</td>
</tr>
<tr>
<td>テキスト送信</td>
<td>94</td>
</tr>
<tr>
<td>トラック荷台に人が乗るとき</td>
<td>60</td>
</tr>
<tr>
<td>ヘッドライドとワイパーに関する法律</td>
<td>43</td>
</tr>
<tr>
<td>ポイント軽減、安全運転による</td>
<td>93</td>
</tr>
<tr>
<td>妨害禁止</td>
<td>80</td>
</tr>
<tr>
<td>麻薬等運転</td>
<td>83</td>
</tr>
<tr>
<td>未成年の飲酒</td>
<td>86</td>
</tr>
<tr>
<td>雪かき、除雪</td>
<td>42</td>
</tr>
<tr>
<td>ホーンを鳴らす</td>
<td>45</td>
</tr>
<tr>
<td>保険、無保険運転</td>
<td>82</td>
</tr>
<tr>
<td>歩行者</td>
<td>9</td>
</tr>
<tr>
<td>視覚障害者</td>
<td>9</td>
</tr>
<tr>
<td>信号</td>
<td>9</td>
</tr>
<tr>
<td>歩行者</td>
<td>56</td>
</tr>
<tr>
<td>補装道路：</td>
<td>64</td>
</tr>
<tr>
<td>タイヤを踏み外したら</td>
<td>22</td>
</tr>
<tr>
<td>路面標示</td>
<td>22</td>
</tr>
<tr>
<td>補足資料</td>
<td>95</td>
</tr>
<tr>
<td>曲がるとき、カーブ</td>
<td>52</td>
</tr>
<tr>
<td>未成年者飲酒運転禁止法（21 歳未満の違反）</td>
<td>86</td>
</tr>
<tr>
<td>未成年の飲酒</td>
<td>86</td>
</tr>
<tr>
<td>道を横切って渡るとき</td>
<td>46</td>
</tr>
<tr>
<td>ミラー</td>
<td>32</td>
</tr>
<tr>
<td>目で周囲を確認する：</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>後方</td>
<td>39</td>
</tr>
<tr>
<td>左右</td>
<td>39</td>
</tr>
<tr>
<td>前方</td>
<td>38</td>
</tr>
<tr>
<td>夜間の運転</td>
<td>40</td>
</tr>
<tr>
<td>薬物と運転</td>
<td>35, 83</td>
</tr>
<tr>
<td>予約方法：</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>運転実技試験</td>
<td>5, 95</td>
</tr>
<tr>
<td>点数試験</td>
<td>95</td>
</tr>
<tr>
<td>4 秒ルール</td>
<td>36</td>
</tr>
<tr>
<td>ラウンドアバウト</td>
<td>50</td>
</tr>
<tr>
<td>ろう者、難聴者への通訳サービス</td>
<td>92</td>
</tr>
<tr>
<td>路線番号（州間幹線道路）</td>
<td>20</td>
</tr>
</tbody>
</table>
あの日の後悔を
忘れるな。

子供たちをパーティーに招いたトンプソン夫妻にとっても、決して忘れられない惨事です。

パーティー帰り道の事故で死亡した5人の若者達。大人が21歳未満の青少年に飲酒を許すことは、それがビールであれワインであれ、ワインクーラーであれ法律でかたく禁じられています。
その罰金は、1年までの拘禁に加えて1人目の未成年に$1,000、2人目からは各未成年につき$2,500が加算されます。

自分の子供であっても酒類を飲ませることは違法です。重大な過ちを犯す前に“The Responsible Parent”（親の責任）パンフレットをお読みください。

PDF版は:
http://www.lcb.state.pa.us/webapp/Education/Materials/Materials_Order_form.asp
からダウンロードできます。
忘れない実話です。
運転免許カードのこのマーク

臓器寄付者マーク

免許証には大切なマークが記されています

生体移植を待つ何千人もの人々にとって、このマークは命の綱となるかもしれません。角膜移植で視力を戻す、皮膚移植で火傷から回復する、骨の移植で歩行の痛みが解消するなどの希望をもたらすマークです。

命を救う臓器・組織寄付への賛同者の運転免許証にはこのマークが入ります。Donor card（臓器寄付者カード）にもぜひ署名をお願いします。人のためになる将来への決意です。あなたの家族や親しい人にも早めに伝えてください。

臓器組織移植に関するミニ知識

- 1人の寄付者は8人の命を救い、75人の回復に役立ちます。
- 臓器組織寄付への同意は年齢や持病の有無に関わらず可能です。
- 臓器組織移植は、多くの宗教でも人生最後の人助けとしての価値が認められています。
- 臓器組織寄付者には、本人に家族にも金銭的負担は一切ありません。
- 詳細はdonatelifepa.orgをご覧ください。

臓器組織寄付カードに関するお問い合わせ:

ペンシルベニア東部地域:
命のギフト寄付プログラム………………1-888-DONORS-1

ペンシルベニア西部地域:
臓器移植＆教育センター（CORE）…1-800-DONORS-7

臓器と組織の寄付に関する詳細の窓口:
PA保険省……………………………1-877-PAHEALTH